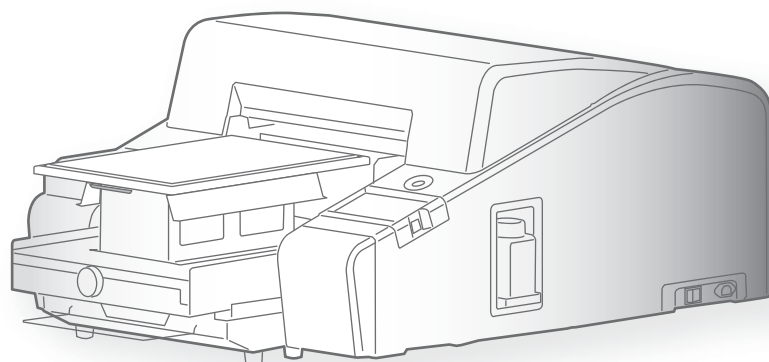


VJ-404GT/405GT

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



-
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本マニュアルでのタッチパネルおよび各ソフトウェアの画面について

タッチパネルの画面および各ソフトウェア（アプリケーション、プリンタードライバー）は、機種により表示される画面や機能が異なる場合があります。このマニュアルでは特に断りのない場合は、VJ-405GT で表示される画面を使用しています。

第1章 基本的な使い方

はじめに	8
各部の名称	8
Layout and Print Tool の起動方法	14
プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法	15
ヘルプの表示方法	16
ご使用上のお願い	17
電源のオンオフ	19
電源をオンする	19
電源をオフする	19
スリープモード	21
スリープモードの開始と終了	21
印刷する	23
本製品の印刷エリア	23
プリンタードライバーの印刷時の色について	23
ノズルチェックとクリーニング	24
Tシャツへの印刷	31
印刷中にインクがなくなったとき	54
印刷の一時停止／再開／キャンセル	56

第2章 応用的な使い方

凹凸のあるメディアへの印刷	58
Layout and Print Tool から変更する場合	58
プリンタードライバーから変更する場合	59
ホワイト下地のはみ出しをなくす	60
簡易コスト計算を行う	61
インク濃度の調整	63
Layout and Print Tool から変更する場合	63
プリンタードライバーから変更する場合	68
文字を入れる	71
再印刷を行う	72

カスタムプラテンを自作する	73
可能な印刷エリア、厚み、重量	73
テーブルの外形寸法とねじ穴位置	74
プラテンサイズの指定	75

第3章 設定と調整の機能

設定の変更・確認	78
ネットワーク設定の変更	78
障害物センサーの設定	80
シリアル番号の表示	81
表示言語の変更	82
ソフトウェアバージョンの表示	83
画質調整	84
テーブル送り補正	84
ヘッド調整	87
印刷位置調整	89
調整初期化	91

第4章 メンテナンス

メンテナンスについて	94
ホワイトのインクカートリッジをかくはんする (VJ-405GT)	95
ホワイトのインクカートリッジをかくはんする (VJ-405GT)	95
廃液ボトルを空にする	97
廃液ボトルを空にする	97
各部のクリーニング	101
クリーニングワイパーとキャップの清掃	101
プリントヘッド外周の清掃	107
エンコーダスケールの清掃	110
シャフトの清掃とグリスアップ	113
消耗品の交換	116
フラッシングボックスの交換とカウンターの初期化	116
ミストフィルターの交換	121
輸送と長期保存	122
輸送の手順	122
初期充電の方法	127
長期保存するとき	130

5 色設定から 4 色設定に切り替える (VJ-405GT) 131

「White のみ」洗浄を行う (VJ-405GT) 131

「White のみ」充てんを行う (VJ-405GT) 133

第 5 章 付録

困ったときは 138

警告メッセージ 138

通常使用時に発生するエラーメッセージと対処方法 139

通常のご使用では発生しないエラー 141

メッセージが出ないトラブル 142

お問い合わせ先 143

本製品の仕様 144

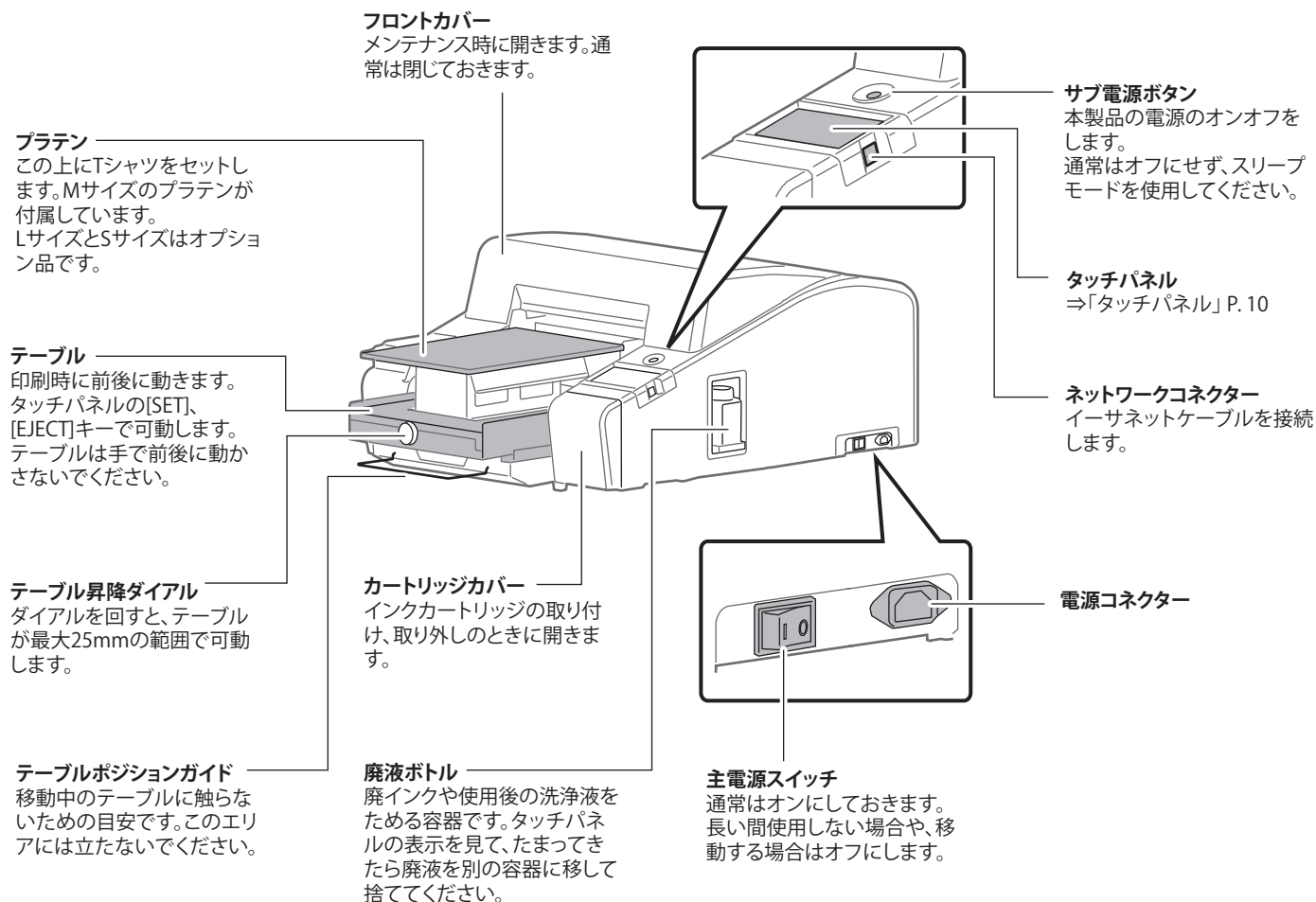
仕様一覧 144

第 1 章 基本的な使い方

はじめに	8
各部の名称.....	8
Layout and Print Tool の起動方法	14
プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法	15
ヘルプの表示方法	16
ご使用上のお願い	17
 電源のオンオフ.....	19
電源をオンする	19
電源をオフする	19
 スリープモード.....	21
スリープモードの開始と終了	21
 印刷する	23
本製品の印刷エリア	23
プリンタードライバーの印刷時の色について.....	23
ノズルチェックとクリーニング	24
T シャツへの印刷.....	31
印刷中にインクがなくなったとき.....	54
印刷の一時停止／再開／キャンセル.....	56

各部の名称

プリンター正面



プリンター内部

シャフト

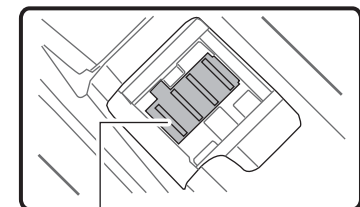
キャリッジを支える金属製の棒です。インクやホコリがつくと動作不良の原因となるため、定期的な清掃とグリスアップが必要です。

エンコーダースケール

黒っぽい半透明のフィルムです。キャリッジの動作に必要な部品です。インクやホコリがつくと動作不良の原因となるため、定期的な清掃が必要です。

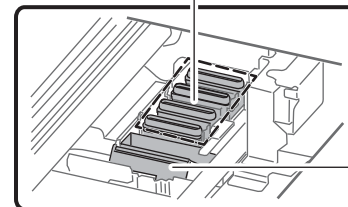
ヘッドキャップ

プリントヘッドの乾燥を防止するための部品です。VJ-405GTでは、毎日のメンテナンスが必要です。



フラッシングボックス

フラッシング動作で排出されたインクをためる部品です。メッセージが表示されたら交換してください。



ワイパー

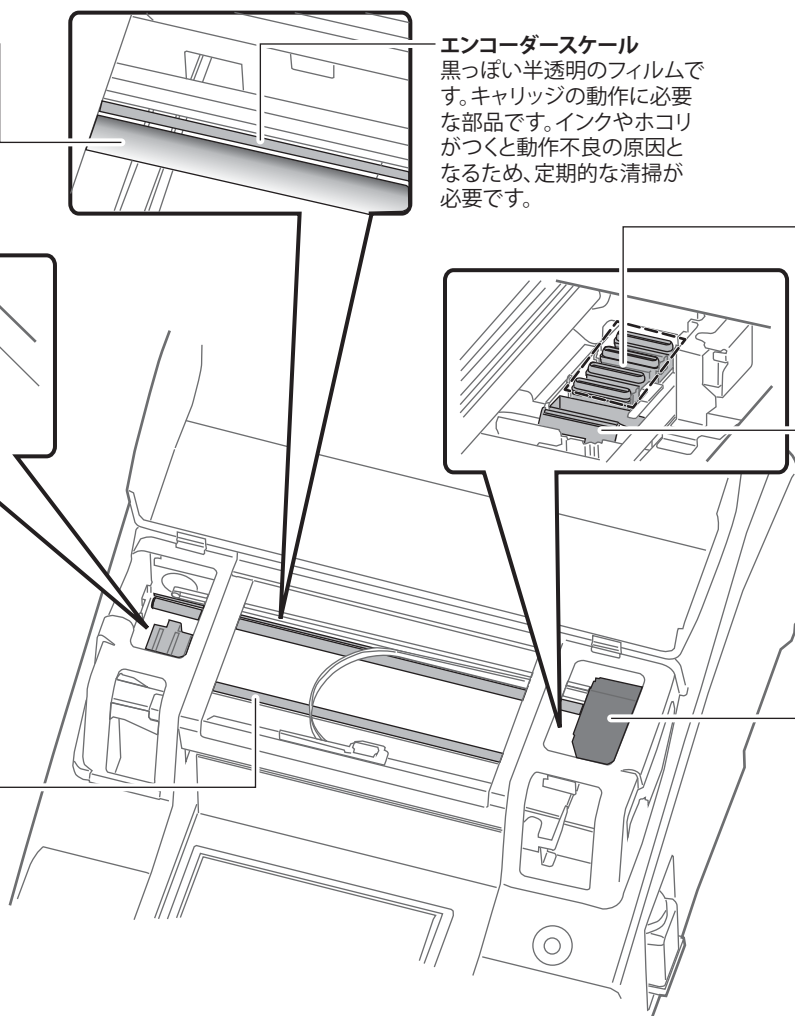
プリントヘッドのヘッドノズルについたインクをふき取るためのゴム製の板です。VJ-405GTでは、毎日のメンテナンスが必要です。

シャフト

キャリッジを支える金属製の棒です。インクやホコリがつくと動作不良の原因となるため、定期的な清掃とグリスアップが必要です。

キャリッジ

下部にプリントヘッドとヘッドノズルがあります。印刷時に左右に動きます。定期的な清掃が必要です。



MAIN メニュー



1: SET button (up arrow)

2: EJECT button (down arrow)

3: Printer status display area

4: MAIN menu button

5: Waste ink bottle icon

6: Ink level / waste ink display area

7: STOP button

8: Nozzle Check button

9: Cleaning button

1  テーブルを印刷開始位置へ移動します。
移動中の場合は、移動を停止します。

2  テーブルを取り出し位置へ移動します。
移動中の場合は、移動を停止します。

3 【プリンタの状態】 プリンターの状態を表示します。

4 [MAIN] メニュー [MAIN] メニューを表示します。

5  廃液ボトルの廃インク量を表示します。

 廃液ボトル
満タン

6  インクカートリッジの残量を表示します。

 インク残量
なし

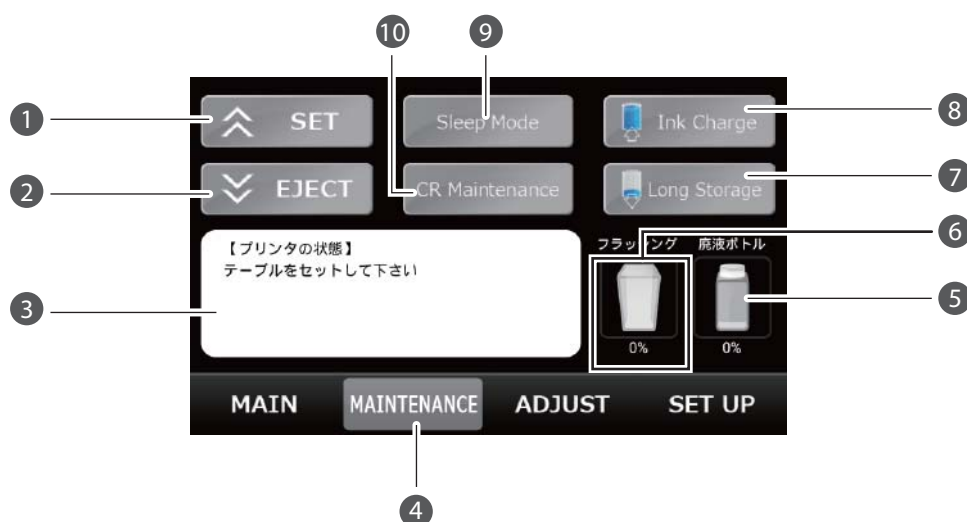
 カートリッジ
未挿入

7  テーブル移動中の場合は、移動を停止します。
印刷中の場合は、以下のとおりです。
・ 押すと印刷を一時停止します。
・ 2 秒以上押すと、印刷をキャンセルします。

8  ノズルチェックを実行します。

9  ヘッドクリーニングを行います。

MAINTENANCE メニュー









- ①  テーブルを印刷開始位置へ移動します。
移動中の場合は、移動を停止します。
- ②  テーブルを取り出し位置へ移動します。
移動中の場合は、移動を停止します。
- ③ 【プリンタの状態】 プリンターの状態を表示します。
- ④ [MAINTENANCE] メニュー [MAINTENANCE] メニューを表示します。
- ⑤  ・廃液ボトルの残量を表示します。
・アイコンを押すと廃液ボトルのカウンターを初期化します。

 廃液ボトル
満タン
- ⑥  ・フラッシングボックスの廃インク量を表示します。
・アイコンを押すとフラッシングボックスのカウンターを初期化します。

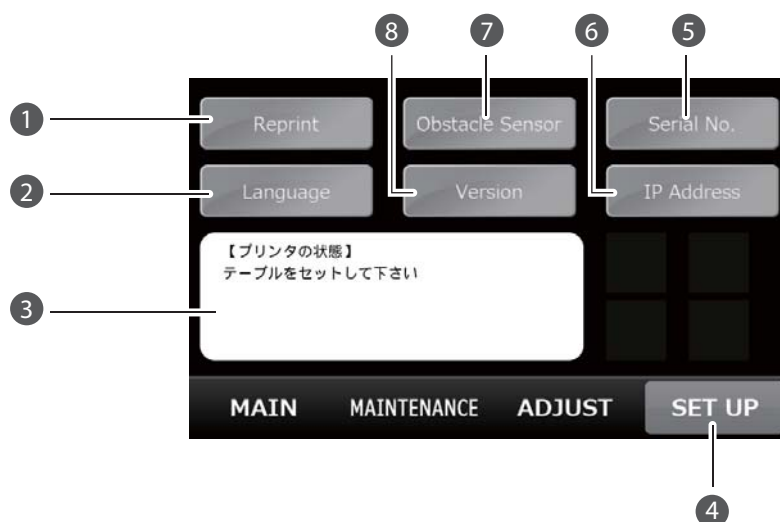
 フラッシングボックス
満タン
- ⑦  洗浄液を充てんします。長時間使用しない場合や、輸送前に行います。
- ⑧  インクの初期充てんを行います。
- ⑨  プリンターをスリープモードにします。プリンターを使わないときは、通常この状態にしてください。
- ⑩  プリンターを CR メンテナンス状態にします。清掃時や消耗品交換時に行います。

ADJUST メニュー



- | | | |
|---|---|---|
| ① |  | テーブルを印刷開始位置へ移動します。
移動中の場合は、移動を停止します。 |
| ② |  | テーブルを取り出し位置へ移動します。
移動中の場合は、移動を停止します。 |
| ③ | 【プリンタの状態】 | プリンターの状態を表示します。 |
| ④ | [ADJUST] メニュー | [ADJUST] メニューを表示します。 |
| ⑤ |  | 画質調整値を初期化します。
初期化後は画質調整が必要になります。 |
| ⑥ |  | 送り補正を行います。 |
| ⑦ |  | 印刷位置調整を行います。 |
| ⑧ |  | ヘッド調整を行います。 |

SETUP メニュー



- | | | |
|---|---|-----------------------|
| ① |  | 前回印刷したデータを再印刷します。 |
| ② |  | 言語の設定を行います。 |
| ③ | 【プリンタの状態】 | プリンタの状態を表示します。 |
| ④ | [SET UP] メニュー | [SET UP] メニューを表示します。 |
| ⑤ |  | プリンタのシリアル番号を表示します。 |
| ⑥ |  | ネットワークアドレスの各種設定を行います。 |
| ⑦ |  | 障害物センサーのオン、オフを設定します。 |
| ⑧ |  | 内部ソフトウェアのバージョンを表示します。 |

Layout and Print Tool の起動方法

[1]



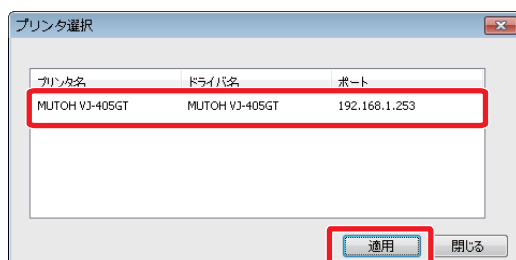
Windows 8 / Windows 8.1

- ・ [スタート] 画面で、[デスクトップ] をクリックします。
- ・ デスクトップの Layout And Print Tool アイコンをダブルクリックします。

Windows 10 / 7 / Vista

デスクトップの Layout And Print Tool アイコンをダブルクリックします。

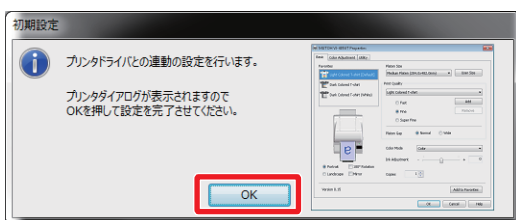
[2]



初回起動時は、プリンタードライバーの選択画面が開きます。

- ・ プリンタードライバーをクリックして選択し、[適用] をクリックします。
- ・ プリンタードライバーの設定を一度も実行していない場合のみ、手順3の確認画面が表示されます。

[3]



確認画面で [OK] をクリックします。

- ・ プリンターのプロパティ画面が開きます。

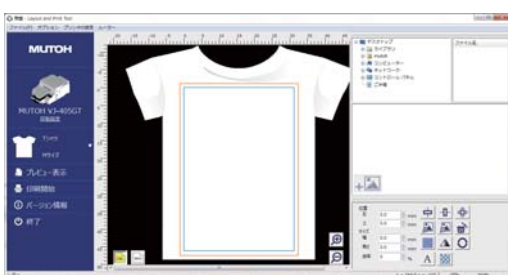
[4]



[OK] をクリックします。

- ・ Layout and Print Tool が開きます。

[5]



画像を配置し、印刷します。

- ・ 操作方法は以下をご覧ください。
👉 [「Layout and Print Tool から画像データを印刷する」P.45](#)
または、
👉 [Layout and Print Tool 取扱説明書](#)

プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法

[1] Windows 10

[スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順にクリックします。
開いた画面で [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8 / Windows 8.1

デスクトップ上でチャームバーを表示し、[設定] をクリックします。
[コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリックします。

Windows 7

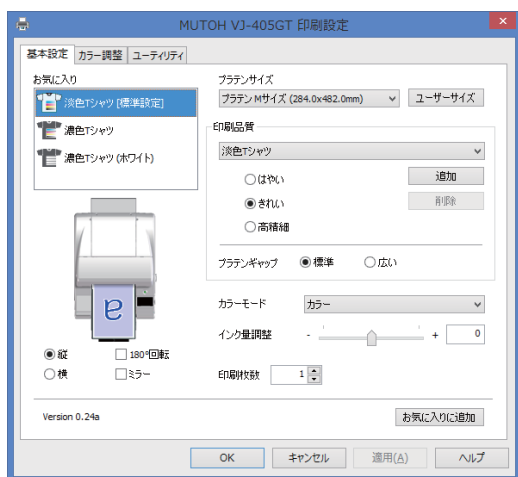
[スタート] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。

Windows Vista

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリックします。

[2]

本製品のアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。
・プリンタードライバーの印刷設定画面が開きます。



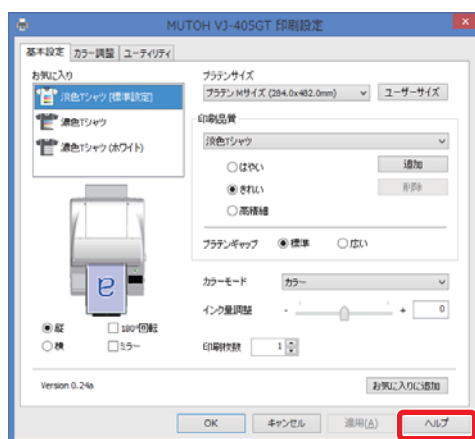
印刷設定画面 (VJ-405GT)

ヘルプの表示方法

プリンタードライバーはヘルプをご利用いただけます。

プリンタードライバー

プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、[ヘルプ] をクリックします。



ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにすると、本製品は定期的に本体内部のインクを循環し、ヘッドクリーニングを自動で行います。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

Important!

本製品をご使用中、およびスリープモード中に電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。
本製品の故障や破損の原因となる恐れがあります。

インクカートリッジをかくはんしてください

インクカートリッジはプリンターにセットする前に、本書の手順に従ってかくはんしてください。
セットした後も、ホワイトのインクカートリッジは定期的にかくはんする必要があります。毎日の作業前および操作パネルにメッセージが出たとき（12 時間に 1 度）に、専用インク注意シートまたは取扱説明書の手順に従ってインクカートリッジをかくはんしてください。
放置するとカートリッジ内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。「日常のメンテナンス」シートまたは取扱説明書をよく読んでかならず行ってください。

日常的にメンテナンスが行われないと、機械の寿命が短くなったり故障の原因となります。

	VJ-405GT	VJ-404GT
クリーニングワイパーとキャップ	毎日	1 週間に 1 度
プリントヘッド周辺	1 週間に 1 度	1 週間に 1 度
シャフトとエンコーダースケール	2 週間に 1 度	2 週間に 1 度
廃液ボトル	操作パネルにメッセージが出ましたら、空にしてください。	

Note

- ・シャフトは清掃後、グリスアップしてください。
- ・シャフトとエンコーダースケールのメンテナンスは、「プラテンギャップ」設定を「広い」で使用する時は 1 週間に 1 度行ってください。

定期的に交換が必要な部品があります

- ・ 交換が必要な部品

フラッシングボックス	操作パネルにメッセージが出たら交換してください。
ミストフィルター	2 か月ごと

Note

- ・ 交換用のフラッシングボックスが 1 個付属しています。
- ・ 定期交換部品は、必要に応じてオプション品をご注文ください。
- ・ 定期交換部品は、使用環境や使用頻度により交換までの日数が変化する場合があります。

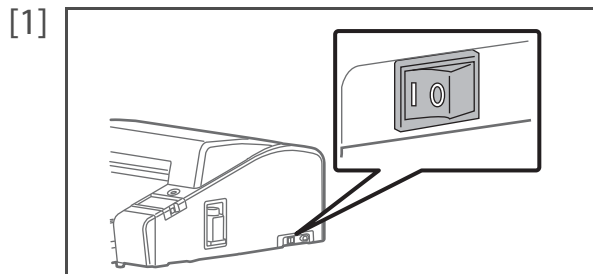
定期的に使用してください

- ・ 本製品は 1 週間に 1 度は使用してください。長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。
- ・ 製品を長期間（1 週間以上）使わないときは洗浄液を充てんして保存してください。
- ・ 長期保存後にふたたびご使用になる際は、初期充てんを行ってください。

 [「輸送と長期保存」P. 122](#)

電源のオンオフ

電源をオンする

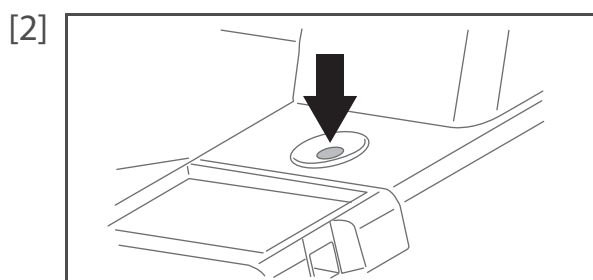


主電源スイッチをオンします。



Note

- ・主電源スイッチの I マークはオンを意味します。
- ・主電源スイッチの O マークはオフを意味します。



サブ電源ボタンを 1 秒以上押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

電源をオフする



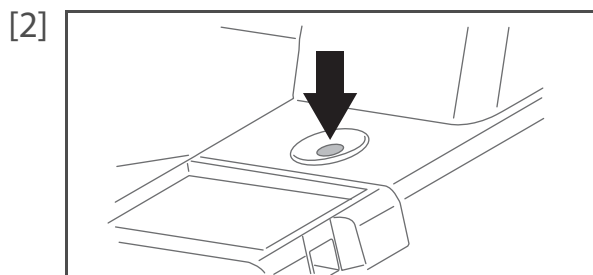
Important!

本製品は、主電源スイッチとサブ電源ボタンを常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。
スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

サブ電源ボタンのみオフする

本製品を一時的に電源オフする場合は、以下の手順で行ってください。

[1] 印刷が終わっていることを確認します。



サブ電源ボタンを 3 秒以上押します。

- ・青色のランプが消灯します。
- ・本製品が電源オフ動作を開始します。

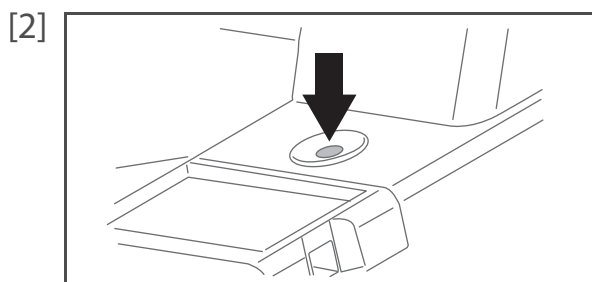
主電源スイッチまでオフする

本製品を輸送する場合や長い間使用しない場合は、「[長期保存するとき](#)」P.130 の手順を行ってから主電源スイッチまでオフしてください。



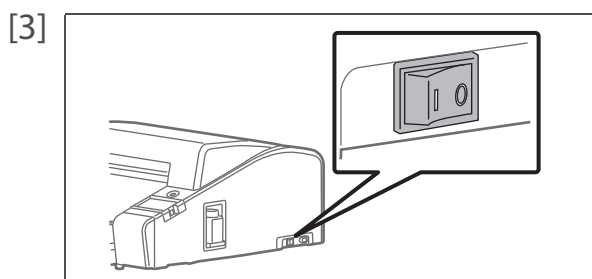
サブ電源ボタンをオフせずに主電源スイッチをオフしないでください。故障の原因となります。

[1] 印刷が終わっていることを確認します。



サブ電源ボタンを 3 秒以上押します。

- 青色のランプが消灯します。
- 本製品が電源オフ動作を開始します。



主電源スイッチをオフします。

スリープモード

本製品を使わない場合は、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- ・一定時間が経過すると、自動でヘッドクリーニングを行う。
- ・一定時間ごと、経路内のホワイトインクを循環する。

Important!

- ・スリープモードを継続する場合は、下記を行ってください。
 - ・ホワイトのインクカートリッジをかくはんしてください（1日に1回）。
週末などでインクカートリッジをかくはんできない場合は、次の作業開始前に、インクカートリッジをかくはんしてください。
 - ・インクの残量を確認し、「インク残りわずか（インク色名）」が表示されていたらインクを交換してください。
 - ・クリーニングワイパーとキャップ、プリントヘッド周辺を清掃してください（1週間に1度）。
- ・本製品は1週間に1度は使用してください。長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。
- ・製品を長期間（1週間以上）使わないときは洗浄液を充てんして保存してください。

👉 「輸送と長期保存」P.122

スリープモードの開始と終了

- [1] 製品の動作状態について以下を確認します。
- ・フロントカバー、カートリッジカバーが閉じていること。
 - ・インクカートリッジの残量が十分にあること。
 - ・廃液ボトルの空き容量が十分にあること。

Important!

スリープモードを継続する場合は、まず廃液ボトルを空にしてください。空にしたら廃液カウンターをリセットしてください。

[2]



[MAINTENANCE] メニューを押します。

Note

タッチパネルはしっかりと押してください。感圧式のため、軽く触れるだけでは反応しないことがあります。

[3]



[Sleep Mode] キーを押します。

- 確認メッセージが表示されます。

[4]



[はい] を押します。

- テーブルが取り出し位置に移動します。
- スリープモードを開始します。
- スリープモードから復帰する場合は、サブ電源ボタンを押します。

Note

- スリープモード中はサブ電源ボタンがゆっくりと点滅します。
- スリープモード中にサブ電源ボタンを 3 秒以上押し続けると、電源を OFF します。

Important!

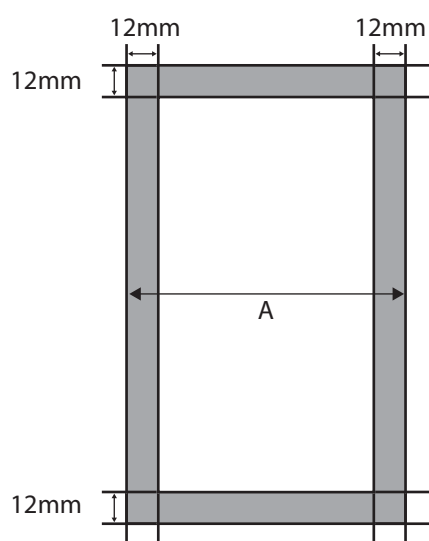
- スリープモード中にエラーが発生した場合、サブ電源ボタンが高速で点滅します。以下を参照して、対処をしてください。
[👉 「通常使用時に発生するエラーメッセージと対処方法」 P.139](#)
- スリープモードから復帰したときに、操作パネルにメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってインクカートリッジをかくはんしてください。

本製品の印刷エリア

標準品のプラテンを使用する場合

印刷できない領域

- ・プラテンの前後左右 12mm が余白となります。



A：プラテン幅

印刷可能領域

種類	可能領域
プラテン L サイズ	W 380 x D 560mm
プラテン M サイズ	W 310 x D 460mm
プラテン S サイズ	W 230 x D 330mm

プリンタードライバーの印刷時の色について

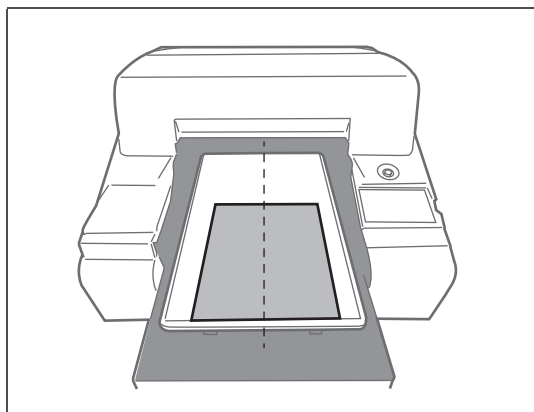
VJ-404GT/405GT プリンタードライバーのバージョン 1.01 以降では印刷品質が改良されています。その結果、バージョン 1.00 のプリンタードライバーで印刷した画像と比べたときに、印刷結果の色合いが異なる場合があります。

ノズルチェックとクリーニング

Tシャツに印刷する前にノズルチェックをかならず行ってください。ノズル抜けがあれば、なくなるまでヘッドクリーニングを行ってください。

1. メディアをプラテンに置く

[1]



プラテンにメディアを置きます。

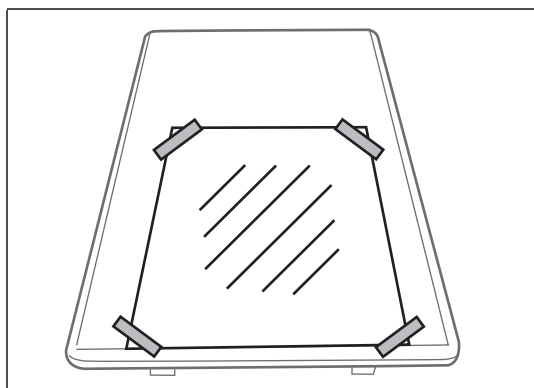
- A4 サイズ（210mm x 297mm）のメディアを縦にしてセットしてください。
- メディア前端がプラテン前端と一致するように配置します。
- メディアの中央がプラテンの中央と一致するように配置します。
- プラテン前端の中央部に溝がありますので、セット位置の目安にしてください。



Note

VJ-405GT はホワイトインクを使用しますので、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

[2]



メディアの一部が浮いている場合は、メディアの四隅をテープで固定してください。



Note

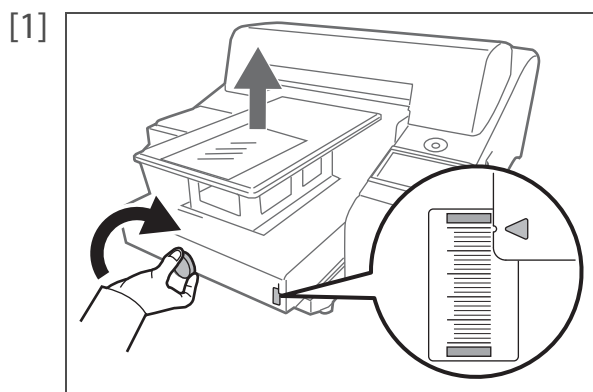
メディアに浮いている部分があると、エラーの原因になります。

2. テーブル高さを調整する

適切なテーブルの高さにするには、一番上までプラテンを上げて障害物エラーを出し、エラーが出ない高さまで徐々に下げていく方法で行います。きれいに印刷するために、メディアとプリントヘッドの距離（プラテンギャップ）をできるだけ近づけてください。

Important!

- ・プリンター動作中は、テーブル、プラテンなど可動部に触らないでください。
- ・製品寿命を長くするために適正なプラテンギャップで使用してください。
プラテンギャップが広い状態で印刷を続けると、微細なインク飛沫によって機体内が汚れることでエラーが発生する場合があります。



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルを一番上まで上げます。

Important!

- ・テーブルを一番上まで上げた後、さらにテーブル昇降ダイヤルを回し続けると破損する恐れがありますので、それ以上回さないでください。
- ・一番下まで下げた場合も同様です。



[MAIN] メニューを押します。



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。
- ・障害物エラーへの対処は以下をご覧ください。

👉 「印刷前に障害物エラーが発生したとき」P. 26

3. 印刷前に障害物エラーが発生したとき

テーブルの高さが高すぎたり、プラテン上に障害物があったり、メディアの一部が浮いていたりすると、障害物エラーになります。エラー検出中は、サブ電源ボタンが点滅します。

以下の手順でエラーの原因を取り除いてください。

[1]



[OK] を押します。

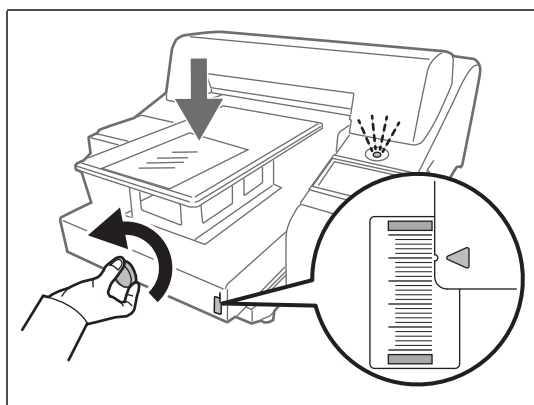
[2]

プラテン上に異物や、メディアの浮きがあるかを目視で確認します。

- ・異物やメディアの浮きがない場合は、手順3へ進みます。
- ・異物やメディアの浮きがある場合は、以下をご覧ください。

👉 「異物やメディアの浮きがある場合」P.27

[3]



異物やメディアの浮きがない場合は、テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルの高さを下げます。

- ・テーブルの右端の目盛りを見ながら、プリントヘッドとメディアの距離が開きすぎないように、少しずつ下げてください。
- ・サブ電源ボタンの点滅が止まるまで下げてください。

Note

- ・目盛りは1目盛り1mmです。
- ・プリントヘッドとメディアの距離が大きくなると、印刷品質が低下します。プリントヘッドとメディアの距離はギリギリまで近づけてください。

[4]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。

Important!

テーブルが印刷開始位置に移動した後は、テーブルの高さを絶対に上げないでください。テーブルとプリントヘッドが接触して、プリントヘッドが破損する恐れがあります。

異物やメディアの浮きがある場合



障害物検出時は、装置が停止していることを十分に確認してから、障害物を取り除いてください。

[1]



[EJECT] キーを押します。

- ・テーブルが取り出し位置に移動します。

[2]

プラテン上の異物を取り除きます。メディアの一部が浮いていれば、平らにします。

[3]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。

4. ノズルチェックの手順

ノズルチェックを行い、ノズル抜けがあるときはクリーニングをしてください。

Important!

印刷中、クリーニング中にカートリッジカバーを開閉しないでください。
正しくインク残量のカウントがされない場合や、インク残量が0となる場合があります。

- [1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

👉 「メディアをプラテンに置く」P.24

- [2]



[MAIN] メニューを押します。

- [3]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷位置に移動します。

- [4]



[Nozzle Check] キーを押します。

- ・確認画面を表示します。

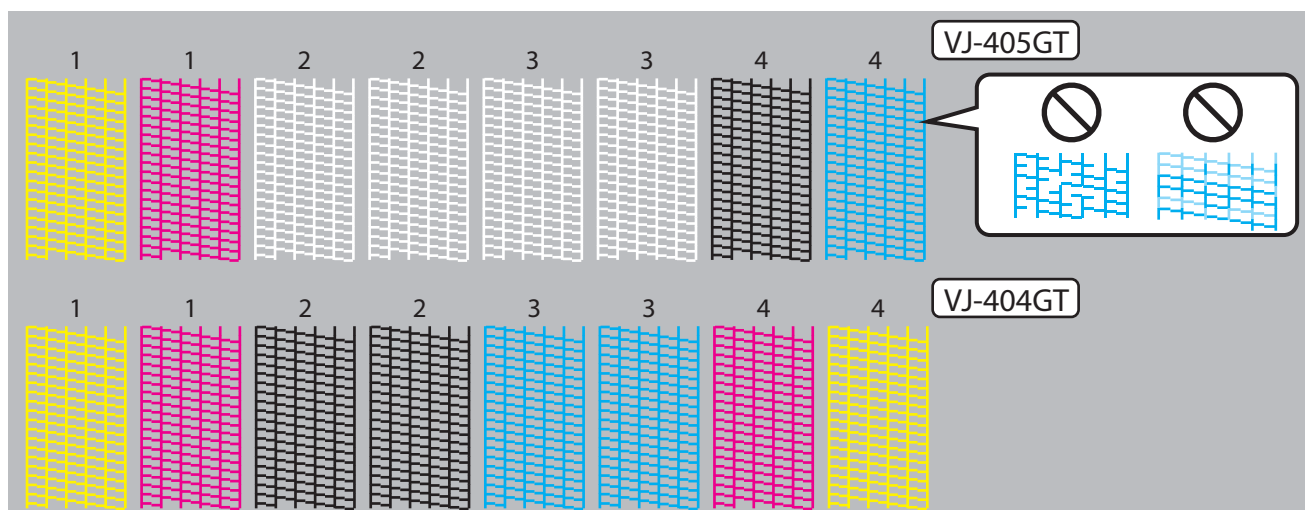
- [5]



[はい] を押します。

- ・ノズルチェックパターンを印刷します。

- [6] パターンを確認します。
- ・ノズル抜け（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合は、「[クリーニングの手順](#)」P.29 に進みます。
正常に印刷できていないパターンの上の数字が、クリーニング対象となるプリントヘッドの番号です。
 - ・パターンが正常に印刷されている場合は「[T シャツへの印刷](#)」P.31 に進みます。



5. クリーニングの手順

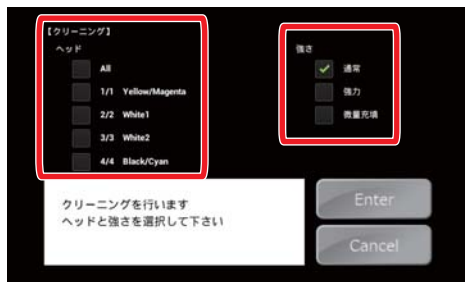
- [1] [MAIN] メニューを押します。



- [2] [Cleaning] キーを押します。
・クリーニングヘッド選択画面を表示します。



[3]



- ・クリーニングしたいプリントヘッドにチェックを入れてください。
- ・クリーニングの強さを [通常] [強力] [微量充てん] から選択できます。

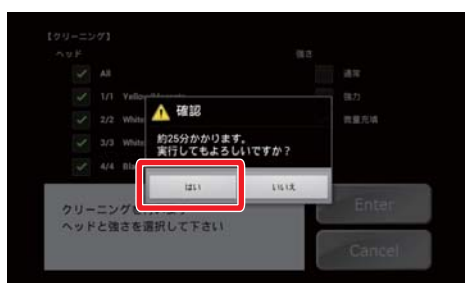
Note

- ・ヘッドの番号は、ノズルチェックパターンに印刷されている番号と対応しています。
- ・[微量充てん] は [強力] よりさらに強いクリーニングです。
- ・左図の画面は VJ-405GT のものです。

Important!

微量充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。

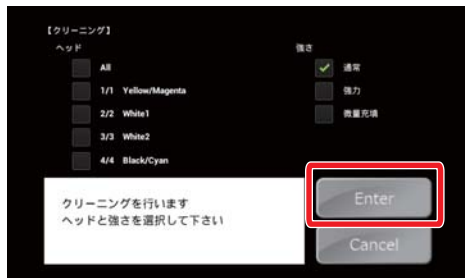
- ・フロントカバー、カートリッジカバーを開けないこと。
- ・インク残量の少ないインクカートリッジを使用しないこと。



クリーニングに 10 分以上かかる場合は、メッセージが表示されます。

- ・時間を確認し、クリーニングする場合は [はい] を押します。

[4]



[Enter] を押します。

- ・クリーニングを開始します。

Note

クリーニング中に進捗状況をパーセントで表示します。

[5]

もう一度、ノズルチェックを行います。
ノズル抜けや線のかすれがなくなるまでクリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

「ノズルチェックの手順」P.28

Important!

通常クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。

強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は 「[クリーニングワイパーとキャップの清掃](#)」P.101 や 「[プリントヘッド外周の清掃](#)」P.107 を行ってください。

どうしてもノズル抜けが直らない場合は、微量充てんを行ってください。

Tシャツへの印刷

Tシャツ（メディア）について

- ・ Tシャツの素材は以下のものをお勧めします。
 - ・ 綿 100% ～ 50%
 - ・ ポリエステル 100%
- ・ メッシュ素材などインク浸透性が高い素材のTシャツ（メディア）をご使用の場合は、ボディ内に間紙を入れてください。インクの裏抜けにより、背面の生地が汚れる恐れがあります。
- ・ ホワイトインクで印刷する場合は、Tシャツにホワイトインク用前処理液を塗布し、熱処理をしてください。
- ・ ポリエステル 100% 淡色Tシャツを使用する場合は、Tシャツにポリエステル用前処理液を塗布し、熱処理をしてください。



Note

- ・ ポリエステル 100% 素材にはホワイトインクをご使用いただけません。
- ・ メディアの素材によってはインクの裏移り、インクの滲みが発生する場合があります。
- ・ 印刷後は後処理を行ってください。
- ・ 印刷後のTシャツは以下の点にご注意ください。
 - ・ インクジェット印刷の特性上、手洗いを強くおすすめします。
 - ・ お湯を使用して洗濯することは避けてください。
 - ・ 高温、多湿、直射日光をさけて保管してください。
 - ・ 乾燥機は使用しないでください。
 - ・ ドライクリーニングはしないでください。
 - ・ 洗濯機を使用する場合は、印刷面を裏返し、洗濯ネットに入れることをおすすめします。
 - ・ 洗濯により色落ちすることがあります。他の衣類と分けて洗うことをおすすめします。
 - ・ 風通しのよい日陰で、ハンガーで形を整えて干してください。
 - ・ 漂白剤は使用しないでください。
 - ・ 印刷面に直接アイロンを当てないでください。
 - ・ 印刷面にアルコールなどの有機溶剤をつけないでください。
 - ・ 印刷面をこすらないでください。色落ち、色移りの原因となります。
 - ・ 前処理液を塗布したTシャツは、前処理液の成分が残ります。着用前に水洗いしてください。
 - ・ 万一、着用時または着用後に、肌がかゆい、赤くなる、その他アレルギーなどの症状が発生した場合には、すぐに着用をおやめ下さい。
- ・ 白または薄い色のTシャツに前処理液を塗布すると、塗布面が黄ばむことがあります。前処理液塗布後は、早めに印刷をして水洗いしてください。

Tシャツへの印刷に必要なもの

Tシャツへ印刷するには、Tシャツ以外に以下のものがが必要です。

ヒートプレス（市販品）

生地シワを除去したり、前処理液やインクを生地に定着するために使用します。使用するプラテンよりプレス面が大きいこと、170℃以上を60秒間保持できることが必要です。

耐熱性と剥離性のあるシート（市販品）

ヒートプレスとTシャツの間に挟んで使用します。180℃以上の耐熱性のある、シリコンペーパーやフッ素樹脂シートをご使用ください。

前処理液（オプション品）

前処理液にはホワイトインク用とポリエステル用があります。

- ・ ホワイトインクを使用するときはホワイトインク用前処理液を使用しないとインクが発色しません。
- ・ 淡色ポリエステルの生地で混紡率が高いときは、ポリエステル用前処理液を使用するとにじみが抑えられます。



Note

前処理液を使用すると、洗濯による色落ちが起きやすくなる場合があります。

前処理キット（オプション品または市販品）

硬質ローラー、前処理用ローラー、トレイが含まれています。

- ・ 硬質ローラーは、Tシャツの毛羽立ちをならすために使用します。
- ・ 前処理用ローラーは、前処理液をTシャツに塗るのに使用します。
- ・ トレイは、希釈した前処理液に前処理用ローラーを浸すために使用します。

純水（市販品）

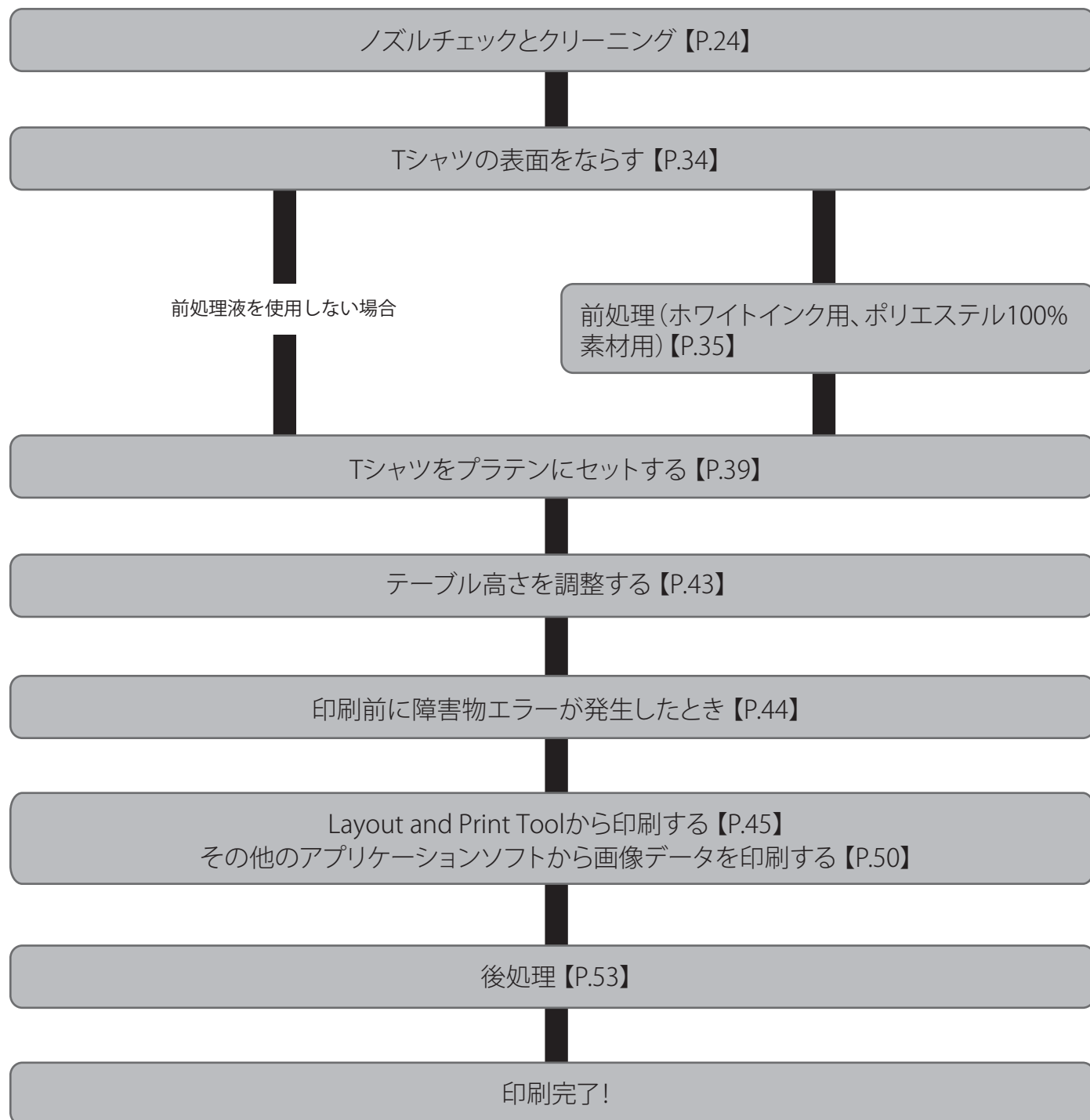
前処理液の希釈には純水（精製水）のご使用をおすすめします。

印刷の流れ

Tシャツ印刷の大まかな流れは、以下のとおりです。



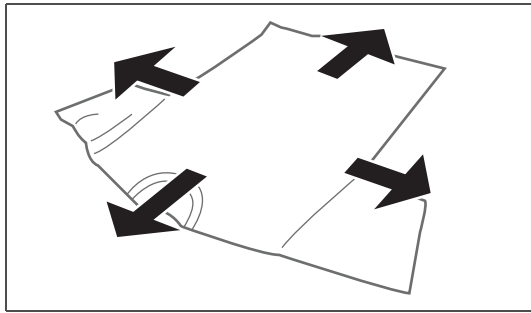
廃液ボトルのインク量を運転開始前に確認し、必要に応じて廃液ボトルを空にして、廃液カウンターをリセットしてください。



1. Tシャツの表面をならす

すべてのインクや生地で共通の方法です。まずこの手順を行ってください。

[1]



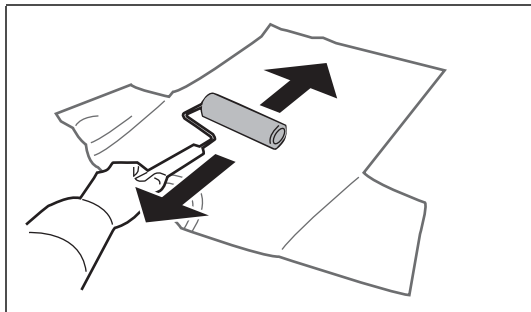
- Tシャツを平らな面に広げます。
- 手でシワをのばします。



Note

表面にごみがついているときは、取り除いてください。

[2]



硬質ローラーで毛羽立ちを平らにならしめます。

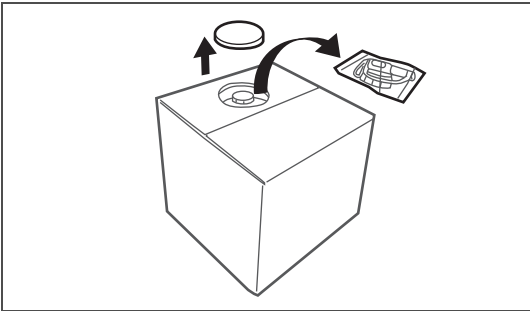
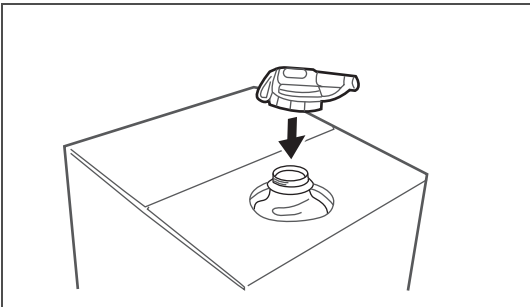
- ホワイトインクおよびポリエステル素材不使用時は、「[Tシャツ（メディア）をプラテンにセットする](#)」[P.39](#)に進んでください。
- ホワイトインクおよびポリエステル素材使用時は、「[前処理（ホワイトインク用、ポリエステル 100% 素材用）](#)」[P.35](#)に進んでください。

2. 前処理（ホワイトインク用、ポリエステル 100% 素材用）

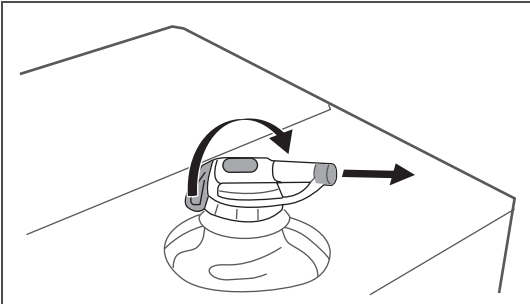
ホワイトインクで印刷するときは、ホワイトインク用前処理液を使用してください。
淡色ポリエステル 100% 素材に印刷するときは、ポリエステル用前処理液を使用してください。

- ・ ホワイトインク用前処理液は、希釈前にならず振ってください。
- ・ 前処理液は、塗布前に希釈してください。

コックの付け方（10 リットル容器タイプ）

- [1]  前処理液の梱包箱をミシン目に沿って切り取り、コックを取り出します。
- [2]  コックを取り付けます。

注ぎ方

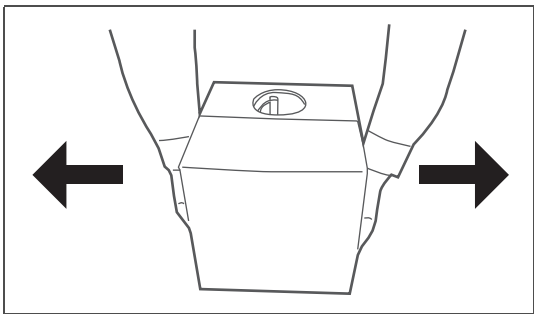
-  コックのキャップを取り外し、穴が下になるようにレバーを動かします。

ホワイトインク用前処理液を振る（10 リットル容器タイプ）

[1] コックが閉まっていることを確認します。

[2]  左右に 30 秒間振ります。

[3]  容器の向きを変えます。

[4]  さらに 30 秒間振ります。

ホワイトインク用前処理液を振る（1 リットル容器タイプ）

[1] キャップが閉まっていることを確認します。

[2]  水平に大きく回すように、1 分間振ります。

前処理液の希釈

ホワイトインク用前処理液

ホワイトインク用前処理液は 1.5 倍～2 倍に希釈してご使用ください。

塗布量の目安は、A4 サイズあたり 7g ～ 12g（希釈後重量）です。

希釈量の例）ホワイトインク用前処理液 100g に対して、水は 50g ～ 100g の割合になります。

ポリエステル用前処理液

ポリエステル用前処理液は 20 倍に希釈してご使用ください。

塗布量の目安は、A4 サイズあたり 5g ～ 10g（希釈後重量）です。

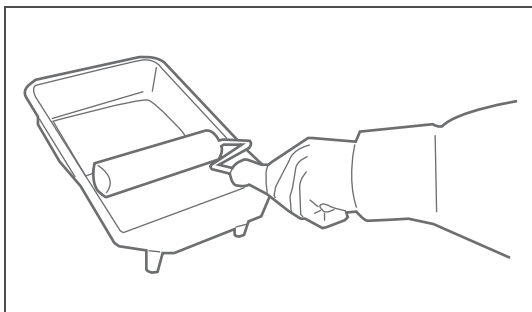
希釈量の例）ポリエステル用前処理液 100g に対して、水は 1,900g の割合になります。

ローラーで塗布する場合

- [1] Tシャツの表面をならします。

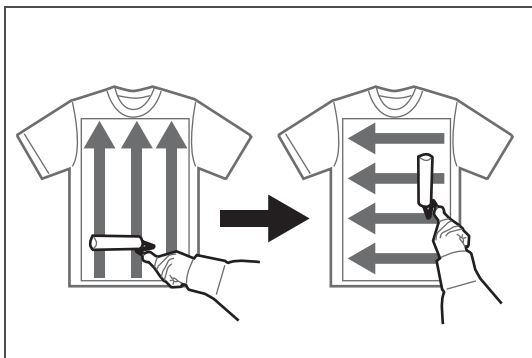
👉 「Tシャツの表面をならす」P.34

- [2] 希釈した前処理液をトレイに注ぎ、前処理用ローラーをひたします。



- [3] Tシャツに前処理用ローラーで前処理液を塗布します。

・タテ方向にまんべんなく塗ってから、ヨコ方向にもまんべんなく重ね塗りしてください。



Note

- ・印刷する面よりも広めに塗ることをおすすめします。
- ・前処理液の塗りすぎにご注意ください。
印刷ムラになりにくく、正常な印刷結果が得られますが、洗濯後にヒビ割れや剥がれが発生する恐れがあります。

- [4] ヒートプレスで前処理液を定着させます。

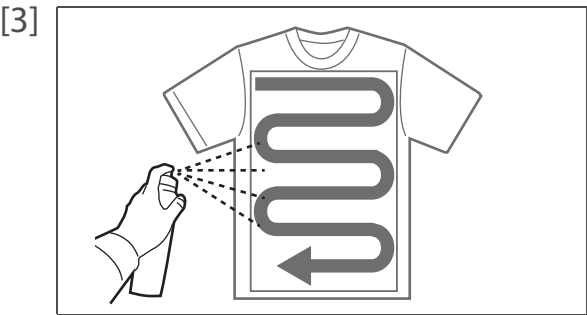
👉 「ヒートプレスの使用について」P.38

👉 「インクの定着条件（ヒートプレス）」P.38

スプレーで塗布する場合

前処理液をスプレーで塗布する場合は、以下の手順に従ってください。スプレー容器は市販のものをご用意ください。

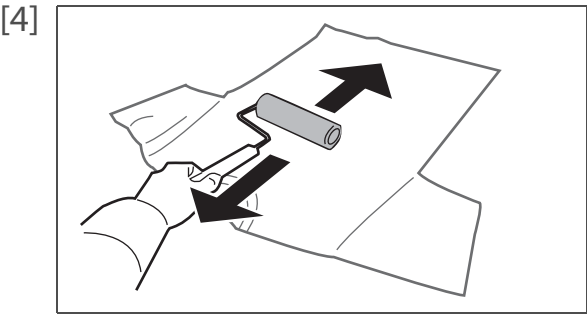
- [1] Tシャツの表面をならします。
👉 「Tシャツの表面をならす」P.34
- [2] 前処理液をスプレー容器に入れます。



前処理液をスプレーで均一に吹きつけます。

Note

印刷する面よりも広めに吹きつけることをおすすめします。



吹きつけた部分をローラーでならします。

- [5] ヒートプレスで前処理液を定着させます。

ヒートプレスの使用について

ヒートプレスはTシャツのシワの解消や、前処理液の定着、インクの定着に使用します。

ヒートプレスを使用するときは、シリコンペーパーなどの耐熱性（180℃以上）と剥離性のあるシートを、Tシャツとプレス面の間に挟んでください。

インクの定着条件（ヒートプレス）

温度	時間	圧力
170℃	60 秒間	3N/cm ² (300gf/cm ²) 以上

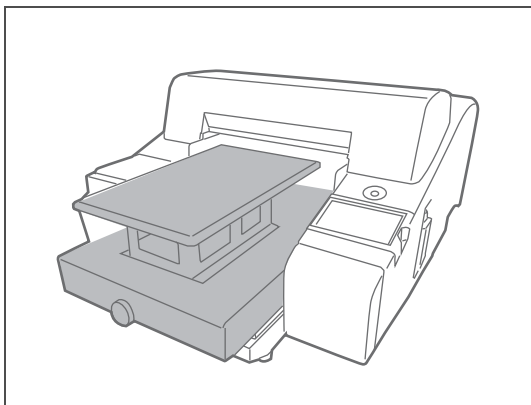
Note

- ・ヒートプレスや生地によって最適条件が変化するため、上記条件は目安としてください。
- ・ヒートプレスを行うとき、蒸気が発生します。
発生した蒸気を吸い込まないように注意してください。
- ・定着が不十分だと洗濯により色落ちが発生する恐れがあります。
- ・ヒートプレスをかけると前処理液の跡が残りますが、洗濯するとなくなります。

3. Tシャツ（メディア）をプラテンにセットする

プラテンサイズ S、M の場合

[1]



テーブルが一番手前に移動していることを確認します。



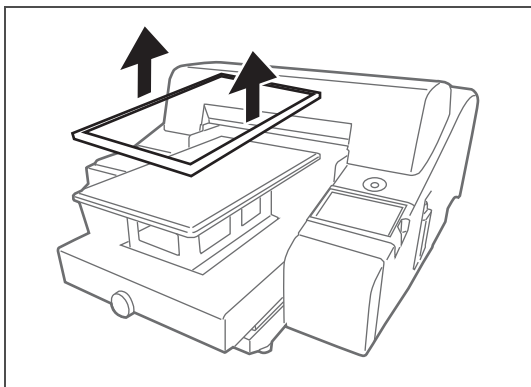
テーブルが奥にある場合は、[MAIN] メニューを押します。



[EJECT] キーを押します。

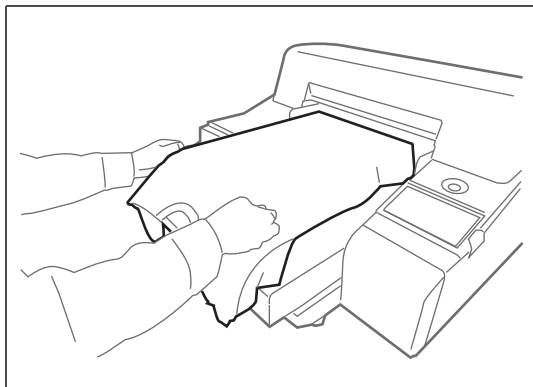
- テーブルが取り出し位置に移動します。

[2]



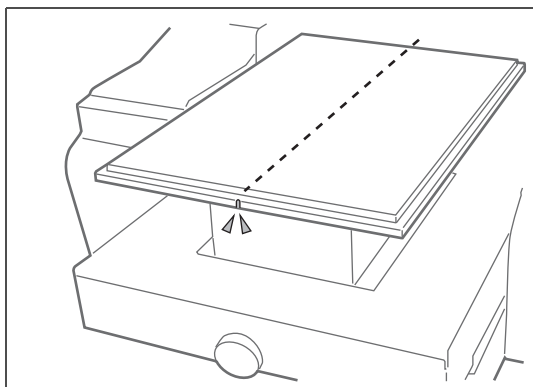
プラテンの枠を取り外します。

[3]



襟側を手前にして、プラテンにTシャツを置きます。

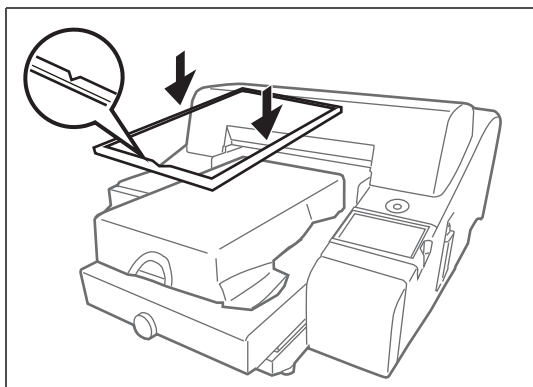
- Tシャツにシワがあれば硬質ローラーなどで軽く伸ばしてください。



プラテン前端に、中央位置を示すミゾがあります。

- ミゾを目安にして、Tシャツの中央とプラテンの中央を合わせてください。

[4]



枠をはめます。

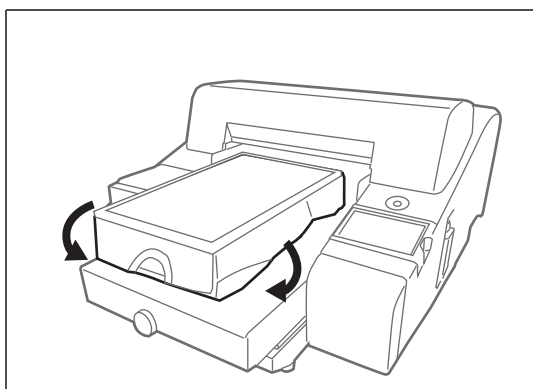
- Tシャツに浮きがある場合は軽く伸ばしてください。



Note

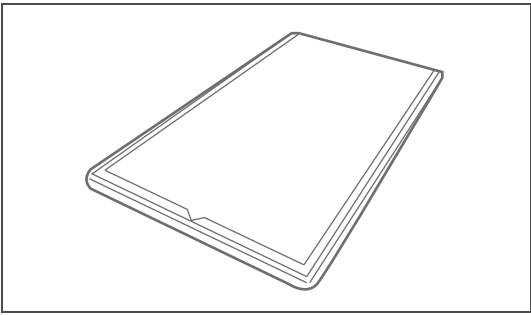
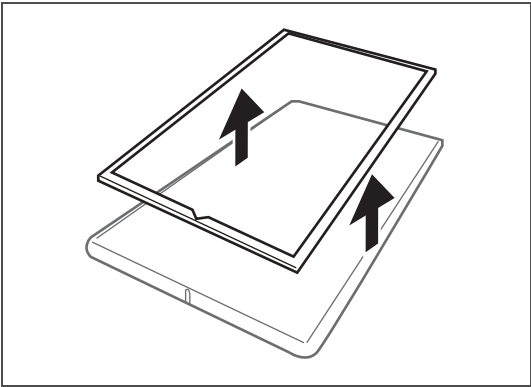
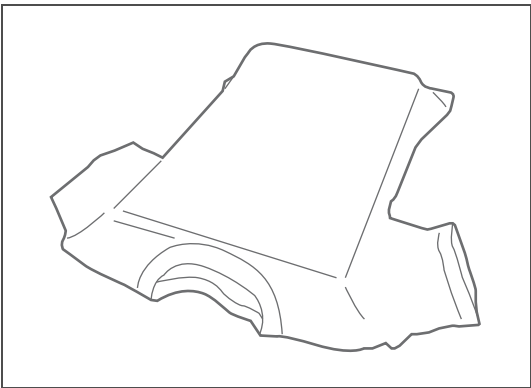
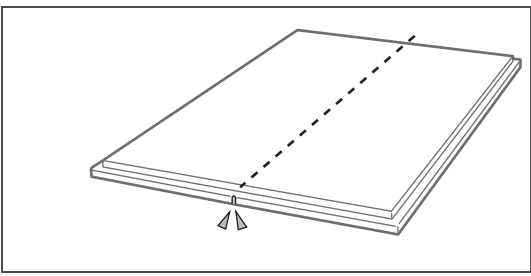
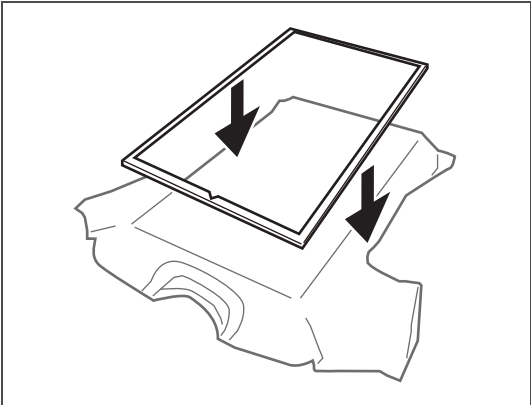
- Tシャツを引っ張りすぎると枠を外した時に縮み、印刷結果がつぶれる事がありますので注意してください。
- 枠の中央にあるV字の切り欠きは、プラテンの中央位置を示しています。切り欠きとTシャツの中央がずれている場合は、Tシャツの位置を調整してください。

[5]



プラテンからはみ出た部分は、折り込んでテーブルからはみ出さないようにします。

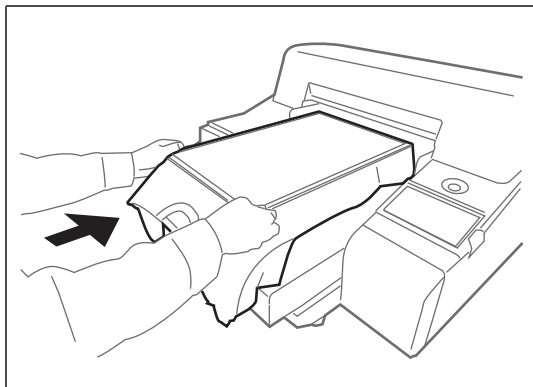
プラテンサイズLの場合

- [1]  プラテンを取り外して、手前側を前にして置きます。
- [2]  プラテンの枠を取り外します。
- [3]  襟側を手前にして、プラテンにTシャツを置きます。
・Tシャツにシワがあれば硬質ローラーなどで軽く伸ばしてください。
-  プラテン前端に、中央位置を示すミゾがあります。
・ミゾを目安にして、Tシャツの中央とプラテンの中央を合わせてください。
- [4]  枠をはめます。
・Tシャツに浮きがある場合は軽く伸ばしてください。
・プラテンからはみ出た部分は、折り込んでテーブルからはみ出さないようにします。

Note

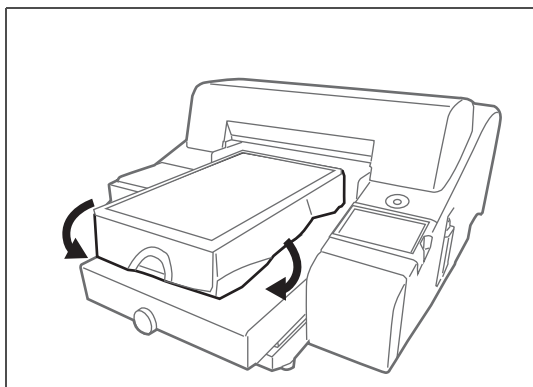
- ・Tシャツを引っ張りすぎると枠を外した時に縮み、印刷結果がつぶれる事がありますので注意してください。
- ・枠の中央にあるV字の切り欠きは、プラテンの中央位置を示しています。切り欠きとTシャツの中央がずれている場合は、Tシャツの位置を調整してください。

[5]



- ・プリンターのテーブルにプラテンを上からのせます。
- ・プラテンを奥に向かって、突き当たるまで押します。
- ・プラテン下部にあるラッチを、テーブル側のキャッチにはめてください。

[6]



プラテンからはみ出た部分は、折り込んでテーブルからはみ出さないようにします。

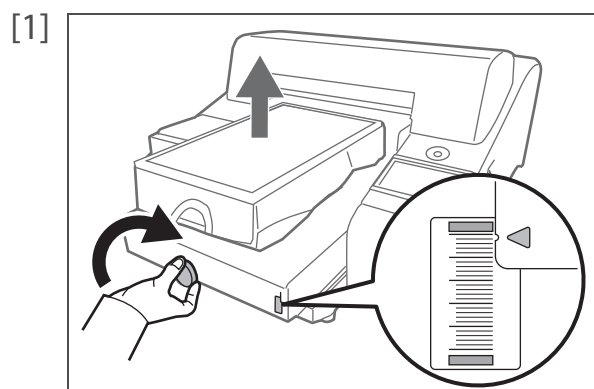
4. テーブル高さを調整する

適切なテーブルの高さにするには、一番上までプラテンを上げて障害物エラーを出し、エラーが出ない高さまで徐々に下げていく方法で行います。きれいに印刷するために、メディアとプリントヘッドの距離（プラテンギャップ）をできるだけ近づけてください。

Important!

製品寿命を長くするために適正なプラテンギャップで使用してください。

プラテンギャップが広い状態で印刷を続けると、微細なインク飛沫によって機体内が汚れることでエラーが発生する場合があります。



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルを一番上まで上げます。

Important!

- ・ テーブルを一番上まで上げた後、さらにテーブル昇降ダイヤルを回し続けると破損する恐れがありますので、それ以上回さないでください。
- ・ 一番下まで下げた場合も同様です。



[MAIN] メニューを押します。



[SET] キーを押します。

- ・ テーブルが印刷開始位置に移動します。
- ・ 障害物エラーへの対処は以下をご覧ください。

👉 [「印刷前に障害物エラーが発生したとき」P. 26](#)

5. 印刷前に障害物エラーが発生したとき

テーブルの高さが高すぎたり、プラテン上に障害物があったり、メディアの一部が浮いていたりすると、障害物エラーになります。エラー検出中は、サブ電源ボタンが点滅します。

[1]



[OK] を押します。

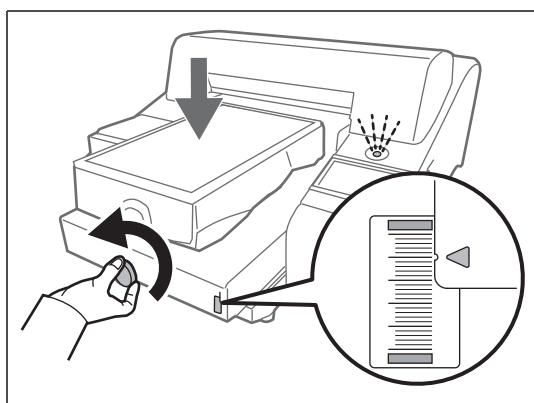
[2]

プラテン上に異物やメディアの浮きがあるかを目視で確認します。

- ・異物やメディアの浮きがない場合は、手順3へ進みます。
- ・異物やメディアの浮きがある場合は、以下をご覧ください。

👉 「異物やメディアの浮きがある場合」P.27

[3]



異物やメディアの浮きがない場合は、テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルの高さを下げます。

- ・テーブルの右端の目盛りを見ながら、プリントヘッドとメディアの距離が開きすぎないように、少しずつ下げてください。
- ・サブ電源ボタンの点滅が止まるまで下げてください。

Note

- ・目盛りは1目盛り1mmです。
- ・プリントヘッドとメディアの距離が大きくなると、印刷品質が低下します。プリントヘッドとメディアの距離はギリギリまで近づけてください。

[4]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。

6. Layout and Print Tool から画像データを印刷する

付属 CD からインストールした Layout and Print Tool で、画像を配置し印刷することができます。
ここでは基本的な印刷方法のみ説明します。詳しい使い方は Layout and Print Tool の取扱説明書をご覧ください。
ホワイト印刷の詳細については、VJ-405GT ホワイトプリントガイドをご覧ください。

Layout and Print Tool で使用できる画像フォーマットは以下の通りです。

- PNG (.png)
- ビットマップ (.bmp)
- JPEG (.jpg)
- TIFF (.tif)



Note

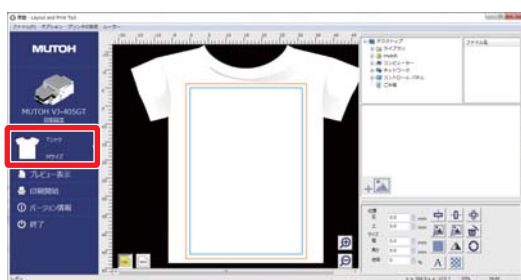
一部の TIFF フォーマットには対応していません。

カラー（CMYK）印刷の場合

- [1] Layout and Print Tool を起動します。

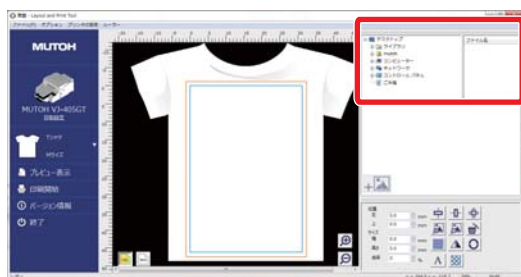
 「Layout and Print Tool の起動方法」P. 14

- [2]



印刷に使用するプラテンのサイズを選択します。

- [3]



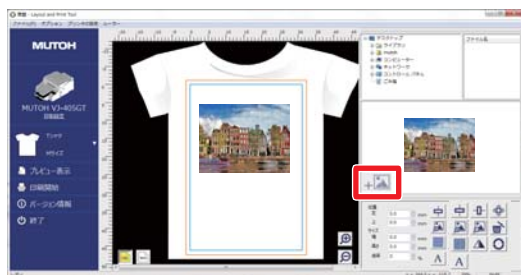
印刷に使用する画像を選択します。



Note

ドラッグアンドドロップでも画像を選択・配置できます。

- [4]

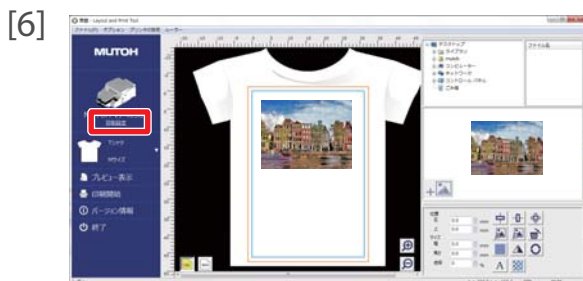


ボタンをクリックして、画像をTシャツに配置します。



画像の位置を調整します。調整には以下の方法があります。

- ・ マウスで任意の位置に移動する。
- ・ 配置ボタン（左図 A）をクリックする。
- ・ 数値を直接入力する（左図 B）

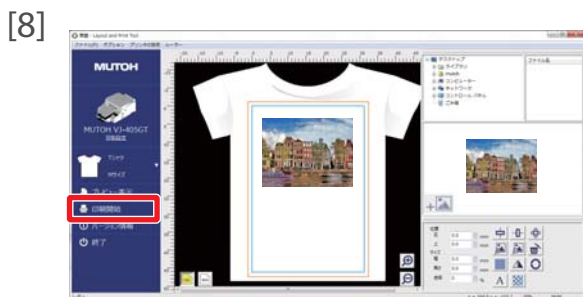


「印刷設定」をクリックします。



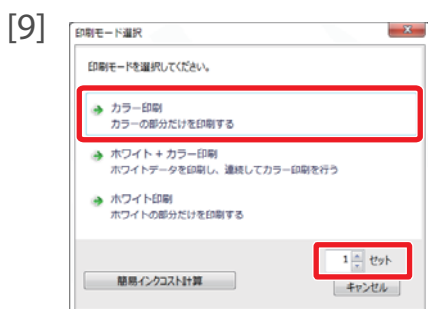
作画モードを選び、「適用」をクリックします。

- ・ はやい：印刷速度を優先するモードです。（600 x 600 dpi）
- ・ きれい：基準となるモードです。（600 x 1,200 dpi）
- ・ 高精細：画質を優先するモードです。（1,200 x 1,200 dpi）



「印刷開始」ボタンをクリックします。

- ・ 印刷モード選択画面を表示します。



セット数を入力し、「カラー印刷」ボタンをクリックします。

- ・ 印刷を開始します。

Note

- ・ 印刷中にメディアの膨張によって障害物エラーが発生した場合は、以下をご覧ください。

👉 「印刷中に障害物エラーが発生したとき」P.49

- ・ 印刷後は、かならず後処理を行ってください。

👉 「後処理」P.53

- ・ 印刷中のデータのファイル名を、プリンターのタッチパネルに表示します。

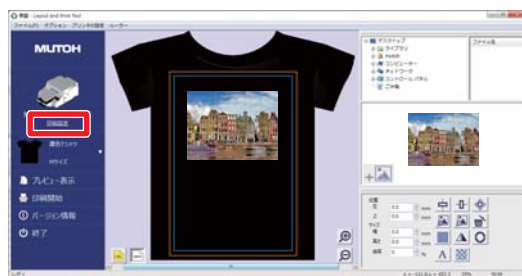
Important!

印刷中、クリーニング中にカートリッジカバーを開閉しないでください。
正しくインク残量のカウントがされない場合や、インク残量が0となる場合があります。

ホワイト印刷の場合

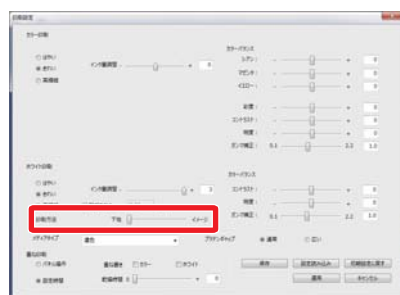
- [1] 
- 濃色Tシャツを使用する場合は、印刷に使用するプラテンのサイズを選択するときに「濃色Tシャツ」を選択します。
- [2] 
- ・[ホワイト+カラー印刷]を行う場合は、カラー印刷の場合と同様に、画像を選択し配置します。
 - ・[ホワイト印刷]を行う場合は、画像を配置せずに手順3へ進みます。
- [3] 
- [ホワイト印刷データ表示] ボタンをクリックします。
- ・ホワイト印刷の編集画面を表示します。
- [4] 
- カラー印刷の場合と同様に、画像を選択し配置します。
-  **Note**
- ・本アプリケーションは、カラー印刷とホワイト印刷の編集領域を個別に持っています。カラー印刷のデータとホワイト印刷のデータはそれぞれ編集してください。
 - ・ホワイト印刷データも、印刷までの間はカラー表示します。

[5]



「印刷設定」をクリックします。

[6]



ホワイト印刷の目的に合わせて、「ホワイト印刷」の「印刷方法」のスライダを変更します。

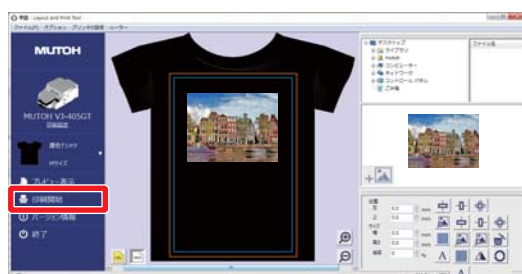
- ・下地：ホワイトで下地を印刷する場合に設定します。
- ・イメージ：ホワイトで諧調のある画像を印刷する場合に設定します。
- ・下地とイメージの中間：ホワイトインクの使用量を減らしたい場合に設定します。

[7]



「適用」をクリックします。

[8]



「印刷開始」ボタンをクリックします。

- ・印刷ダイアログを表示します。

[9]



「ホワイト印刷」または「ホワイト+カラー印刷」ボタンをクリックします。

- ・印刷を開始します。

Note

- ・印刷中にメディアの膨張によって障害物エラーが発生した場合は、以下をご覧ください。

👉 「印刷中に障害物エラーが発生したとき」P.49

- ・印刷後は、かならず後処理を行ってください。

👉 「後処理」P.53

- ・印刷中のデータのファイル名を、プリンターのタッチパネルに表示します。

印刷中に障害物エラーが発生したとき

印刷中に熱によりメディアが膨張し、障害物エラーが発生する場合があります。そのような場合は、高さを下げて印刷を続行するか、印刷を中止してください。

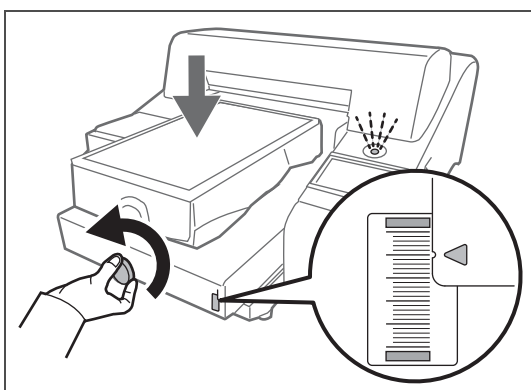
[1]



エラー画面を確認します。

- 印刷を続行する場合は、手順 2 へ進みます。
- 印刷を中止する場合は、[いいえ] を押します。

[2]



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルの高さを下げます。

- テーブルの右端の目盛りを見ながら、プリントヘッドとメディアの距離が開きすぎないように、少しずつ下げてください。
- サブ電源ボタンの点滅が止まるまで下げてください。

Note

- 目盛りは 1 目盛り 1mm です。
- プリントヘッドとメディアの距離が大きくなると、印刷品質が低下します。プリントヘッドとメディアの距離はギリギリまで近づけてください。

[3]



[はい] を押します。

- プリンターが印刷を再開します。

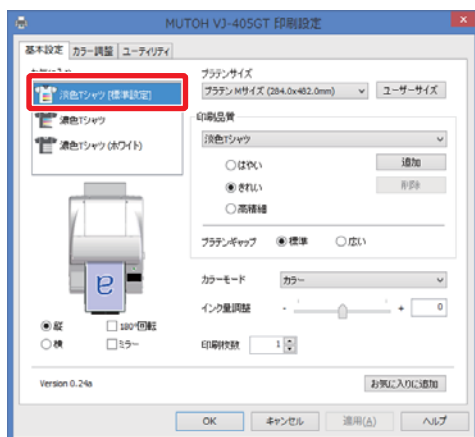
7. その他のアプリケーションソフトから画像データを印刷する

Layout and Print Tool 以外の画像アプリケーションから印刷することができます。ここではプリンタードライバーから印刷する方法を説明します。

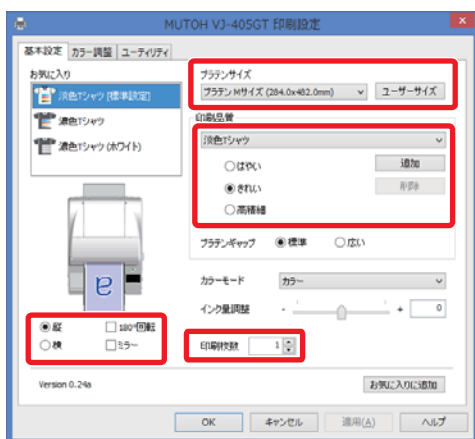
カラー（CMYK）印刷の場合

- [1] 印刷を実行するアプリケーションソフトで印刷データを開きます。
- [2] アプリケーションソフトで本製品のプリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

- [3] 「お気に入り」から「淡色Tシャツ」を選択します。



- [4] 印刷設定を行います。
 - ・「プラテンサイズ」「印刷品質」「印刷枚数」と印刷の向きを設定します。



「印刷品質」の作画モードには3種類あります。

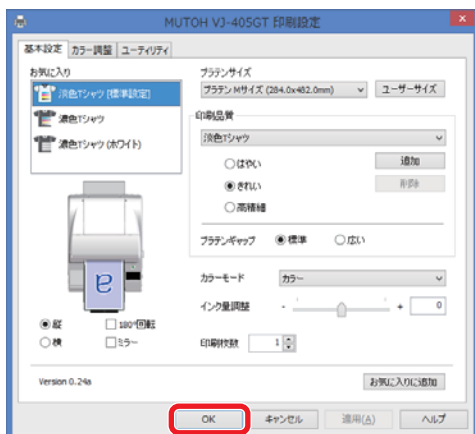
- ・ はやい：印刷速度を優先するモードです。（600 x 600 dpi）
- ・ きれい：基準となるモードです。（600 x 1,200 dpi）
- ・ 高精細：画質を優先するモードです。（1,200 x 1,200 dpi）



Note

設定を登録する場合は、変更後に「お気に入りに追加」をクリックしてください。

- [5] 「OK」をクリックします。



[6] 印刷を実行します。

Note

- 印刷中にメディアの膨張によって障害物エラーが発生した場合は、以下をご覧ください。
👉 「印刷中に障害物エラーが発生したとき」P.49
- 印刷後は、かならず後処理を行ってください。
👉 「後処理」P.53
- 印刷中データのファイル名を、プリンターのタッチパネルに表示します。

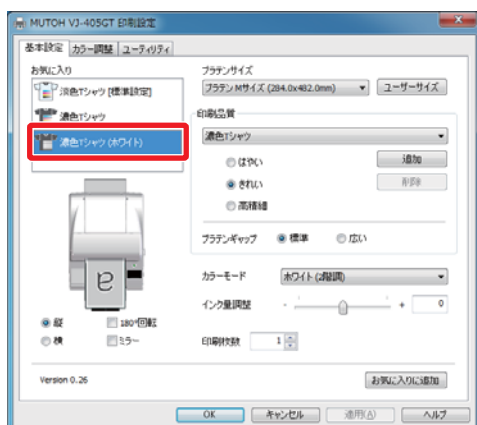
Important!

印刷中、クリーニング中にカートリッジカバーを開閉しないでください。
正しくインク残量のカウントがされない場合や、インク残量が0となる場合があります。

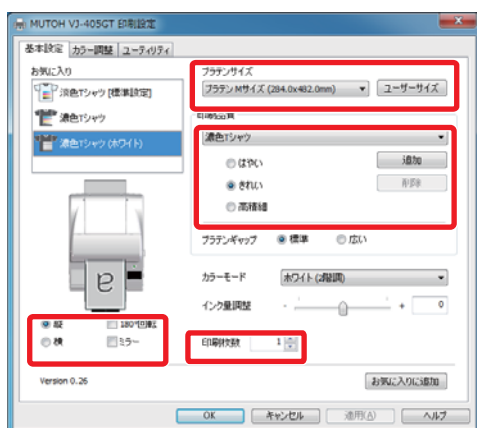
ホワイト印刷の場合

- [1] 印刷を実行するアプリケーションソフトで印刷データを開きます。
- [2] アプリケーションソフトで本製品のプリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

- [3] 「お気に入り」から「濃色Tシャツ（ホワイト）」を選択します。



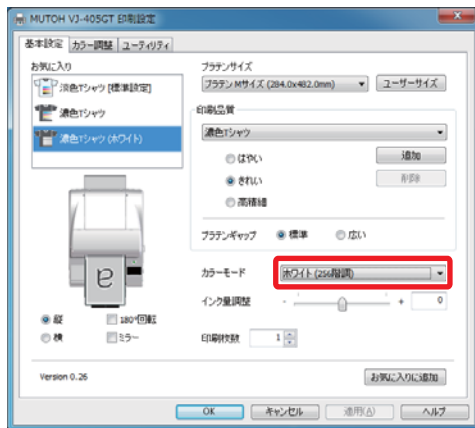
- [4] 印刷設定を行います。
- 「プラテンサイズ」「印刷品質」「印刷枚数」と印刷の向きを設定します。
- 「印刷品質」の作画モードには3種類あります。
- ・はやい：印刷速度を優先するモードです。(600 x 600 dpi)
 - ・きれい：基準となるモードです。(600 x 1,200 dpi)
 - ・高精細：画質を優先するモードです。(1,200 x 1,200 dpi)



Note

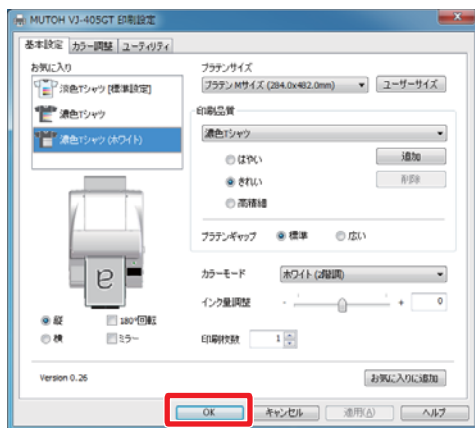
設定を登録する場合は、変更後に「お気に入り」に追加 をクリックしてください。

[5]



ホワイトで諧調のある画像を印刷する場合は、[カラーモード] を [ホワイト (256 諧調)] に変更します。

[6]



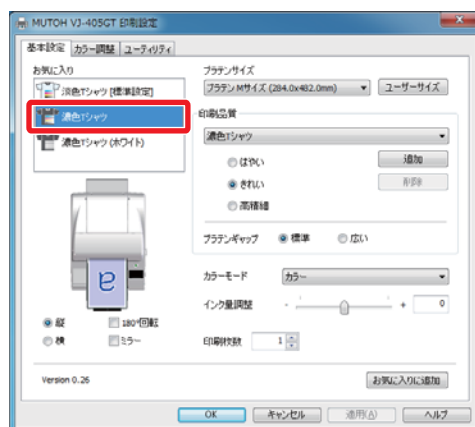
[OK] をクリックします。

[7]

印刷を実行します。

- ・ ホワイトのみで印刷が完成する場合は、ここで終わりです。
- ・ ホワイト下地のうえからカラー印刷を行う場合は、手順 8 へ進みます。

[8]



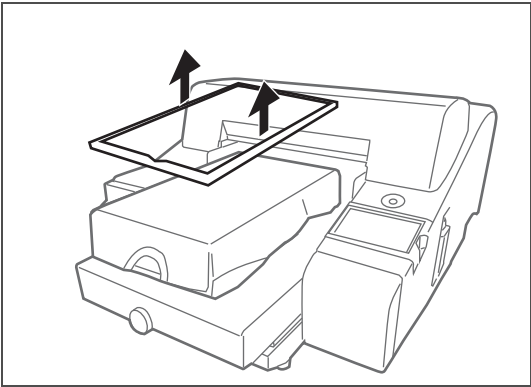
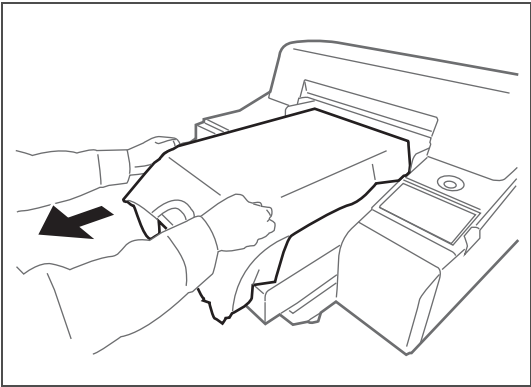
[お気に入り] から [濃色Tシャツ] を選択します。

[9]

手順 3 ～手順 7 の方法でもう一度印刷を行います。

8. 後処理

印刷後、インクを定着させるためにヒートプレスでの処理が必要です。処理が終わるまで印刷面に触れないようにしてください。

- [1]  枠を取り外します。
- [2]  Tシャツを取り外します。
- [3] ヒートプレスでインクを定着させます。
☞ 「ヒートプレスの使用について」P.38
☞ 「インクの定着条件（ヒートプレス）」P.38



Note

- ・インクが乾燥していないため、触るとインクが付着します。インクに触れないように注意してください。
- ・インクが皮膚に付着した場合は、インクの安全データシート（SDS）に記載されている応急処置方法に従ってください。



Note

印刷後 5 分以内にヒートプレスをかけることをおすすめします。



Important!

- ・ 1 日の作業終了後は、必要に応じて、専用インク注意シートを見ながら各部の清掃を行ってください。
- ・ 終了するときは、電源はオフにせず、かならずスリープモードにしてください。
☞ 「スリープモード」P.21

印刷中にインクがなくなったとき

インクがなくなると、サブ電源ボタンが速く点滅（1秒間に2回）し、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。印刷が一時停止します。新しいインクカートリッジに交換すると再開します。

Important!

インクカートリッジと洗浄液カートリッジを間違えないようにして下さい。
故障の原因となります。

Note

印刷再開後、色ムラが発生することがあります。

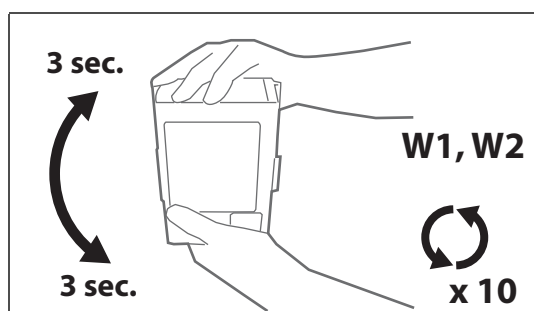
手順

[1]



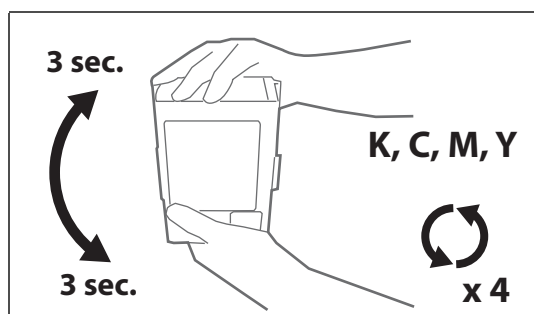
タッチパネルを見て、交換するインクカートリッジを確認します。

[2]



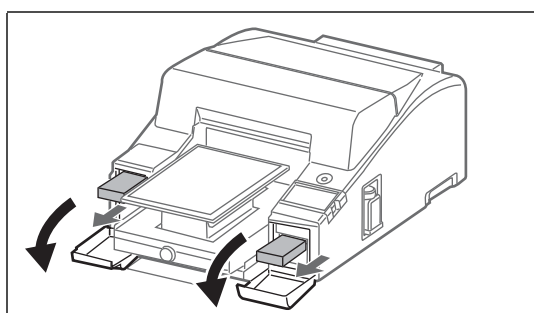
インクカートリッジは、開封後にならずかくはんしてください。

- ・ホワイトのインクカートリッジは、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・10回繰り返します。



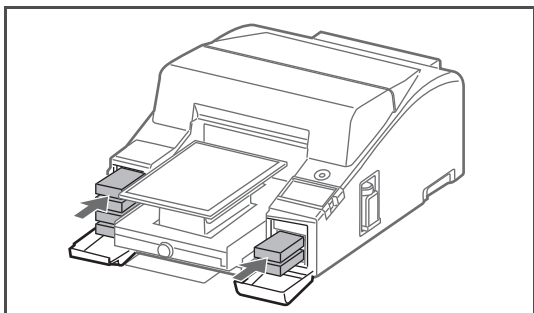
- ・それ以外のインクカートリッジは、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・4回繰り返します。

[3]



両側のカートリッジカバーを押して開き、使用済みのインクカートリッジを取り出します。

[4]



新しいインクカートリッジをセットします。



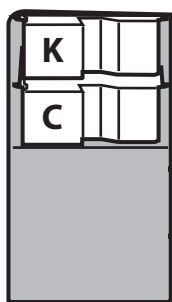
Note

- ・ 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・ インクカートリッジは奥までしっかりと押し込んでください。

VJ-404GT

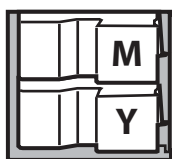
L

R



ブラック
(K)

シアン
(C)



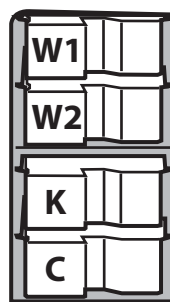
マゼンタ
(M)

イエロー
(Y)

VJ-405GT

L

R

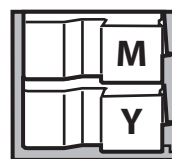


ホワイト 1
(W1)

ホワイト 2
(W2)

ブラック
(K)

シアン
(C)



マゼンタ
(M)

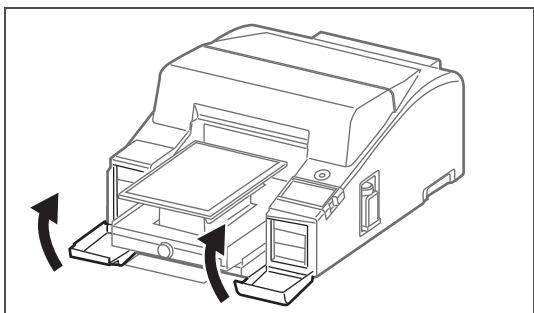
イエロー
(Y)



Important!

- ・ ホワイトインクの W1 と W2 はカートリッジの形状が異なります。逆に取り付けようとすると故障の原因になります。
- ・ インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、3 時間以上放置してから使用してください。

[5]



カートリッジカバーを閉じます。



警告



使用済みのインクカートリッジは産業廃棄物処理業者に処理を委託するなど、産業廃棄物処理法および各自治体の条例にしたがって廃棄してください。

印刷の一時停止／再開／キャンセル

印刷の一時停止／再開



印刷中に、操作パネルの [Stop] キーを押します。

- 印刷が一時停止します。
- もう一度 [Stop] キーを押すと、印刷が再開します。



Note

本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。

操作パネルから印刷をキャンセルする



印刷中に、操作パネルの [Stop] キーを 2 秒以上押します。

- 印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
- 本製品に送信された印刷データを削除します。

第2章 応用的な使い方

凹凸のあるメディアへの印刷	58
Layout and Print Tool から変更する場合	58
プリンタードライバーから変更する場合	59
ホワイト下地のはみ出しをなくす	60
簡易コスト計算を行う	61
インク濃度の調整	63
Layout and Print Tool から変更する場合	63
プリンタードライバーから変更する場合	68
文字を入れる	71
再印刷を行う	72
カスタムプラテンを自作する	73
可能な印刷エリア、厚み、重量	73
テーブルの外形寸法とねじ穴位置	74
プラテンサイズの指定	75

凹凸のあるメディアへの印刷

ポケットやボタンがあるTシャツなど、表面に多少の高低差がある場合に対応することができます。
プリントヘッドとメディアの距離が通常より大きくなる時は以下の手順で設定してください。

Important!

プリントヘッドとメディアの距離が通常より大きくなると、微細なインク飛沫が増加してプリンター内部が汚れやすくなります。1週間に1度はエンコーダースケールとシャフトを清掃してください。

Layout and Print Tool から変更する場合

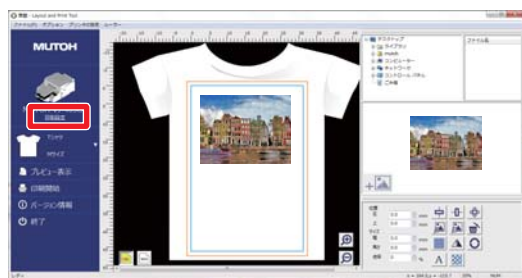
- [1] Layout and Print Tool を起動します。

👉 「[Layout and Print Tool の起動方法](#)」 P. 14

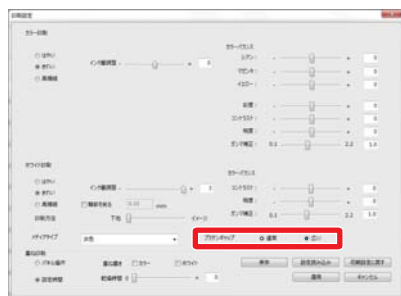
- [2] 画像データを配置します。

👉 「[Layout and Print Tool から画像データを印刷する](#)」 P. 45

- [3] [印刷設定] をクリックします。



- [4] [プラテンギャップ] 設定を「広い」に変更します。



- [5] [適用] をクリックします。

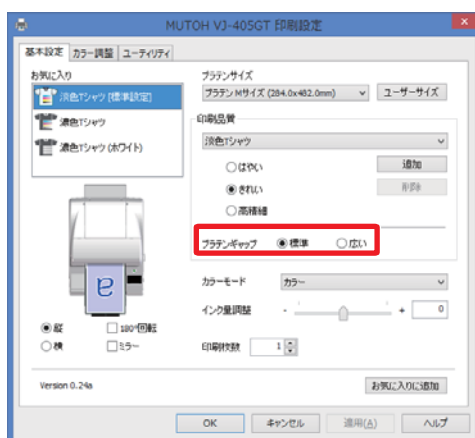


プリンタードライバーから変更する場合

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を起動します。

👉 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.15

- [2]



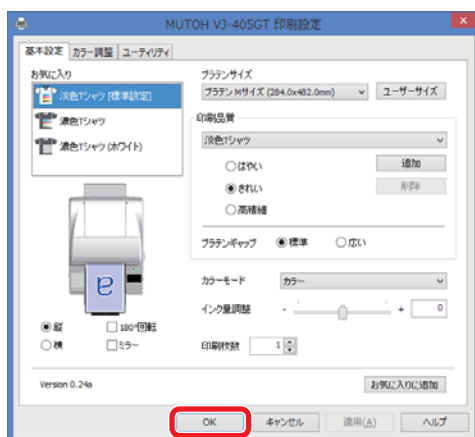
「プラテンギャップ」設定を「広い」に変更します。



Note

設定を登録する場合は、変更後に「お気に入り追加」をクリックしてください。

- [3]



[OK] をクリックします。

ホワイト下地のはみ出しをなくす

「ホワイト+カラー印刷」を行った場合に、生地インクが染み込むことでホワイトの下地がわずかにみ出すことがあります。このような場合は、Layout and Print Tool でホワイト印刷用の画像の輪郭を少し削ってください。

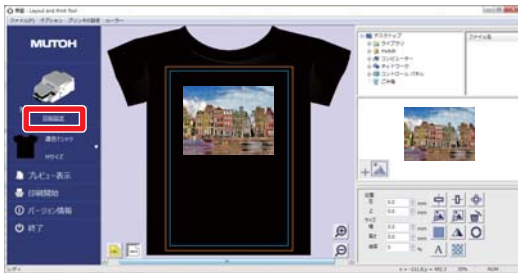
- [1] Layout and Print Tool を起動します。

☞ 「Layout and Print Tool の起動方法」P. 14

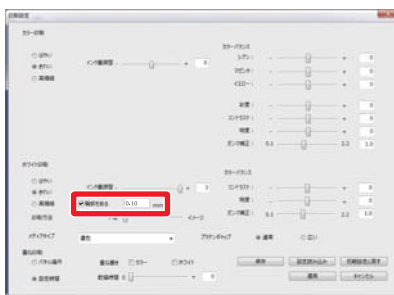
- [2] 画像データを配置します。

☞ 「Layout and Print Tool から画像データを印刷する」P. 45

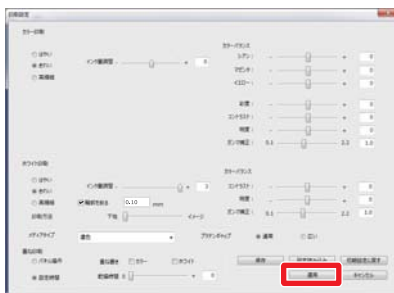
- [3] [印刷設定] をクリックします。



- [4] ・ [輪郭を削る] にチェックを入れます。
・ 削る輪郭の幅を数値で入力します。



- [5] [適用] をクリックします。



簡易コスト計算を行う

印刷 1 回あたりに使用するインク量の目安を、Layout and Print Tool で表示することができます。
インクカートリッジの単価を入力することで、簡易的なコスト計算を行うこともできます。

Note

簡易コスト計算で表示されるインク使用量とインクコストは、あくまでも目安としてご利用ください。
実際のインク使用量およびインクコストの値としては精度を保証できません。

- [1] Layout and Print Tool を起動します。

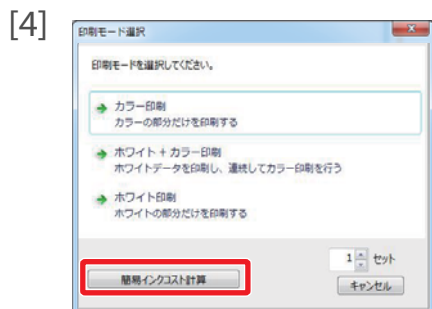
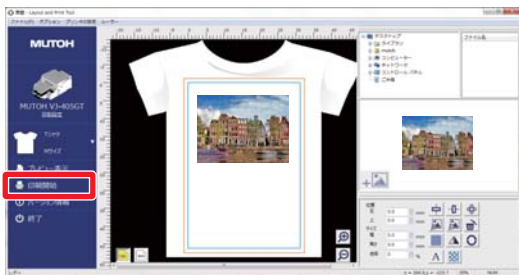
☞ 「Layout and Print Tool の起動方法」 P. 14

- [2] 画像データを配置します。

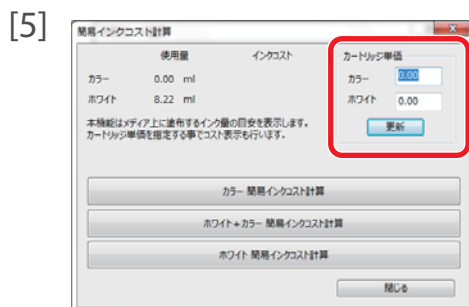
☞ 「Layout and Print Tool から画像データを印刷する」 P. 45

- [3] [印刷開始] ボタンをクリックします。

• 印刷ダイアログを表示します。



[簡易コスト計算] をクリックします。



[カートリッジ単価] を入力し、[更新] をクリックします。
• カートリッジ単価が更新されます。

[6]

簡易インクコスト計算

使用量	インクコスト	カートリッジ単価
カラー 0.00 ml		カラー 0.00
ホワイト 8.22 ml		ホワイト 0.00

本機能はメディア上に塗布するインク量の目安を表示します。
カートリッジ単価を指定する事でコスト表示も行います。

カラー 簡易インクコスト計算

ホワイト+カラー 簡易インクコスト計算

ホワイト 簡易インクコスト計算

閉じる

簡易コスト計算を適用したい印刷モードを選び、クリックします。

- ・ 計算を開始します。
- ・ 計算が終わるとインクコストと使用量を表示します。

[7]

簡易インクコスト計算

使用量	インクコスト	カートリッジ単価
カラー 0.00 ml		カラー 0.00
ホワイト 8.22 ml		ホワイト 0.00

本機能はメディア上に塗布するインク量の目安を表示します。
カートリッジ単価を指定する事でコスト表示も行います。

カラー 簡易インクコスト計算

ホワイト+カラー 簡易インクコスト計算

ホワイト 簡易インクコスト計算

閉じる

[閉じる] をクリックします。

インク濃度の調整

Tシャツの生地に合わせてインク濃度を変更したい場合は、この機能で調整してください。
機種ごとの調整可能な項目は下表のとおりです。

	VJ-404GT	VJ-405GT
淡色布地	○	○
濃色布地（ホワイト調整用）	-	○
濃色布地（ホワイト+カラー調整用）	-	○
淡色ポリエステル	○	○

Note

（VJ-405GT）ホワイトインクの濃度が適切でないと、以下の状態になります。

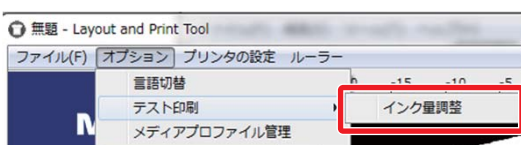
- ・ ホワイトインクの濃度が低い場合：色（CMYK）が薄くなる
- ・ ホワイトインクの濃度が高い場合：色（CMYK）がにじむ

Layout and Print Tool から変更する場合

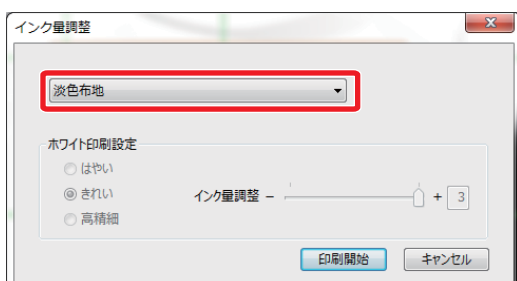
1. カラー（CMYK）インクの調整

- [1] プリンターに淡色Tシャツをセットします。
- [2] Layout and Print Tool を起動します。
 「Layout and Print Tool の起動方法」 P. 14

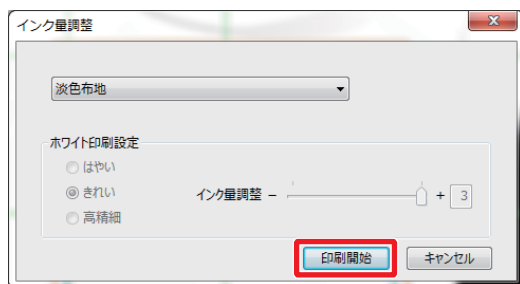
- [3] [オプション] メニューの [テスト印刷] から [インク量調整] を選択します。



- [4] [淡色布地] を選択します。
(ポリエステル素材の場合は [淡色ポリエステル] を選択します。)



[5]

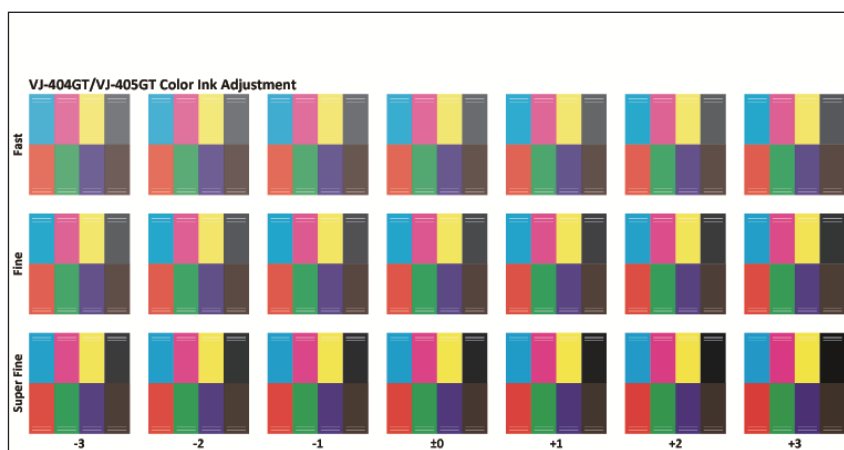


- [印刷開始] をクリックします。
 • 調整パターンが印刷されます。

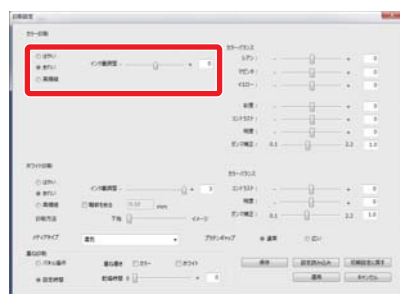
[6]

調整パターンの印刷結果から、最適な作画モードとインク量を確認します。

- 左端の文字列は作画モードを示します。
- 下端の文字列はインク量を示します。



[7]



Layout and Print Tool の [印刷設定] でカラー印刷の作画モードを選び、インク量を入力します。

- はやい：調整パターンの「Fast」に相当します。
- きれい：調整パターンの「Fine」に相当します。
- 高精細：調整パターンの「Super Fine」に相当します。
- インク量調整：調整パターンで確認した、最適と思われるインク量を入力します。

[8]



[保存] をクリックして、名前を付けて保存します。

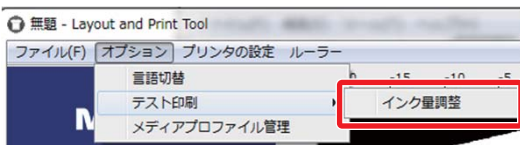
2. ホワイトインクの調整

[1] プリンターに濃色Tシャツをセットします。

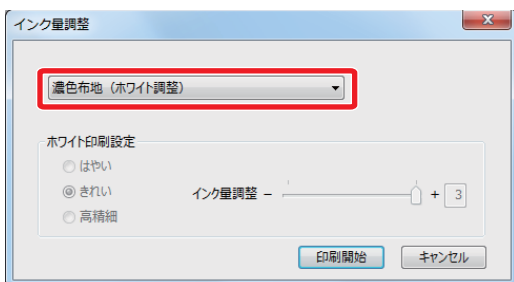
[2] Layout and Print Tool を起動します。

☞ 「Layout and Print Tool の起動方法」 P. 14

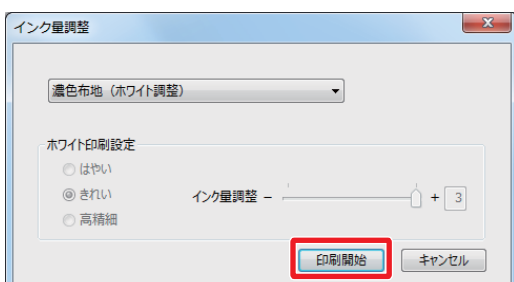
[3] [オプション] メニューの [テスト印刷] から [インク量調整] を選択します。



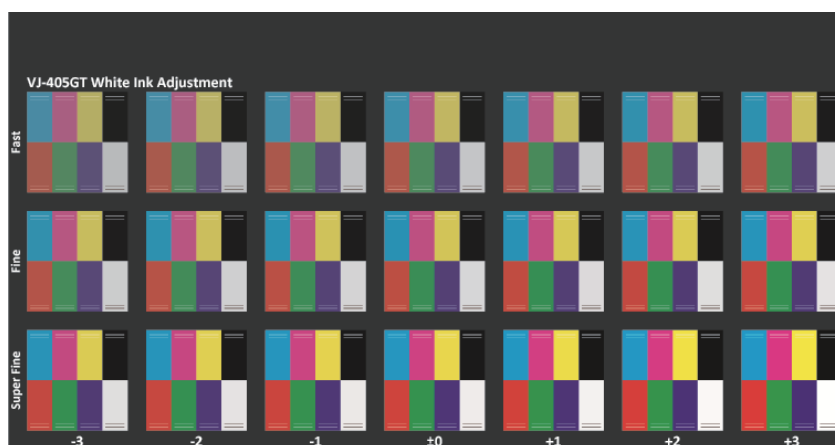
[4] [濃色布地（ホワイト調整）] を選択します。



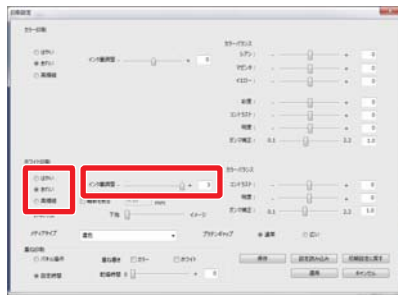
[5] [印刷開始] をクリックします。
・調整パターンが印刷されます。



[6] 調整パターンの印刷結果から、最適な作画モードとインク量を確認します。
・左端の文字列は作画モードを示します。
・下端の文字列はインク量を示します。



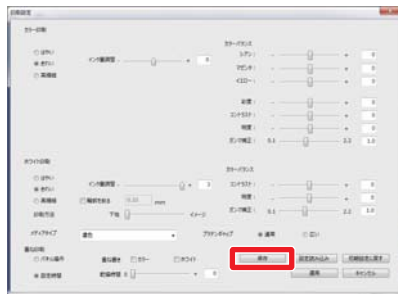
[7]



Layout and Print Tool の「印刷設定」でホワイト印刷の作画モードを選び、インク量を入力します。

- ・はやい：調整パターンの「Fast」に相当します。
- ・きれい：調整パターンの「Fine」に相当します。
- ・高精細：調整パターンの「Super Fine」に相当します。
- ・インク量調整：調整パターンで確認した、最適と思われるインク量を入力します。

[8]



「保存」をクリックして、名前を付けて保存します。

3. ホワイト+カラーインクの調整

ホワイトにカラーを重ねるときの、カラーの濃度を調整します。この調整はホワイトインクの調整後に行います。

[1] ホワイトインクの調整を行います。

👉 「[ホワイトインクの調整](#)」P. 65

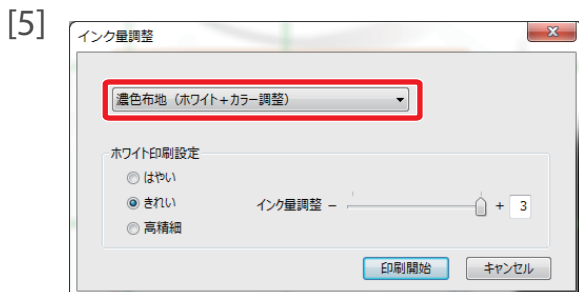
[2] プリンターに濃色 T シャツをセットします。

[3] Layout and Print Tool を起動します。

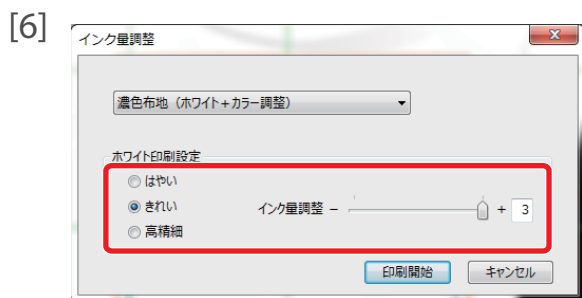
👉 「[Layout and Print Tool の起動方法](#)」P. 14



「オプション」メニューの「テスト印刷」から「インク量調整」を選択します。

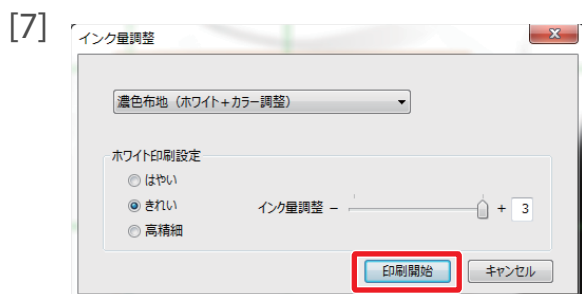


「濃色布地（ホワイト+カラー調整）」を選択します。



ホワイトインクの調整で確認した作画モードを選び、インク量を入力します。

- ・はやい：調整パターンの「Fast」に相当します。
- ・きれい：調整パターンの「Fine」に相当します。
- ・高精細：調整パターンの「Super Fine」に相当します。
- ・インク量調整：調整パターンで確認した、最適と思われるインク量を入力します。

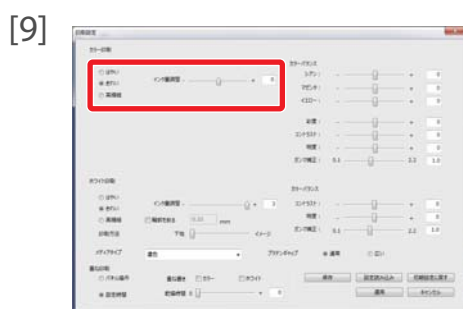
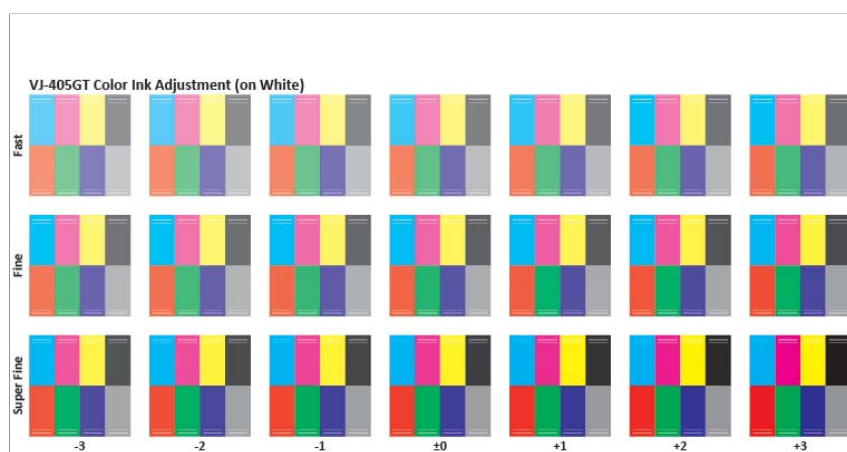


「印刷開始」をクリックします。

- ・調整パターンが印刷されます。

[8] 調整パターンの印刷結果から、最適な作画モードとインク量を確認します。

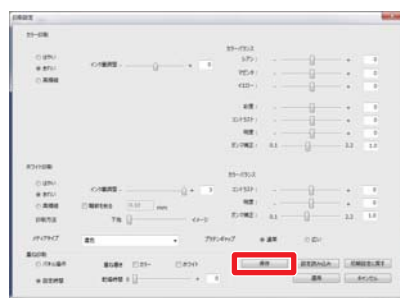
- ・下地の白色部分は、ホワイトインクの調整結果が反映されています。
- ・左端の文字列は作画モードを示します。
- ・下端の文字列はインク量を示します。



Layout and Print Tool の「印刷設定」でカラー印刷の作画モードを選び、インク量を入力します。

- ・はやい：調整パターンの「Fast」に相当します。
- ・きれい：調整パターンの「Fine」に相当します。
- ・高精細：調整パターンの「Super Fine」に相当します。
- ・インク量調整：調整パターンで確認した、最適と思われるインク量を入力します。

[10]



「保存」をクリックして、名前を付けて保存します。

プリンタードライバーから変更する場合

プリンタードライバーからは、ホワイトの濃度調整のみ行えます。

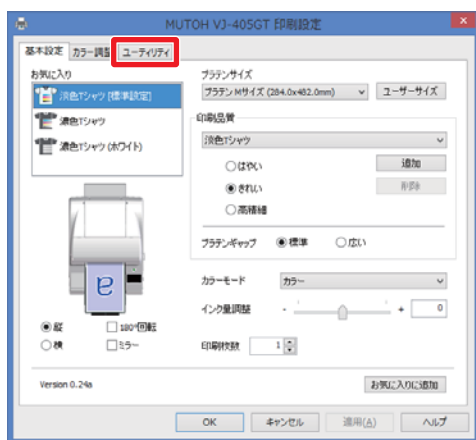
1. ホワイトインクのテスト印刷を行う

[1] プリンターに濃色Tシャツをセットします。

[2] プリンタードライバーの印刷設定画面を起動します。

👉 [「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.15](#)

[3] 「ユーティリティ」タブをクリックします。



[4] 「テスト印刷（白インク）」をクリックします。

・テストパターンを印刷します。



[5]

VJ-405GT White Ink Test Pattern

Fast	-3	-2	-1	±0	+1	+2	+3
Fine	-3	-2	-1	±0	+1	+2	+3
Super Fine	-3	-2	-1	±0	+1	+2	+3

テストパターンの各行ごとに、最適な濃さで印刷されている四角形はどれかを確認します。四角形の中の数値が調整値です。

- ・ [Fast]：作画モード「はやい」のホワイトインクの濃さ
- ・ [Fine]：作画モード「きれい」のホワイトインクの濃さ
- ・ [Super Fine]：作画モード「高精細」のホワイトインクの濃さ

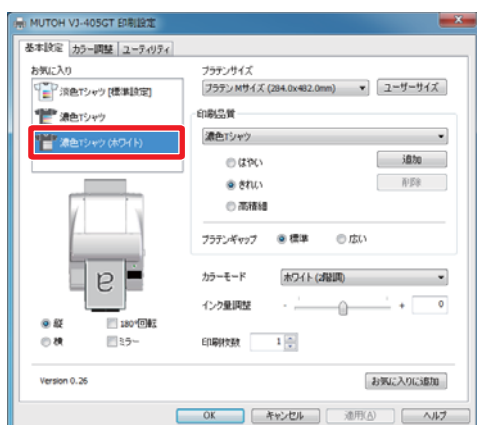
Note

パターンがうすくなく、文字や線のにじみがない四角形の数値を選んでください。

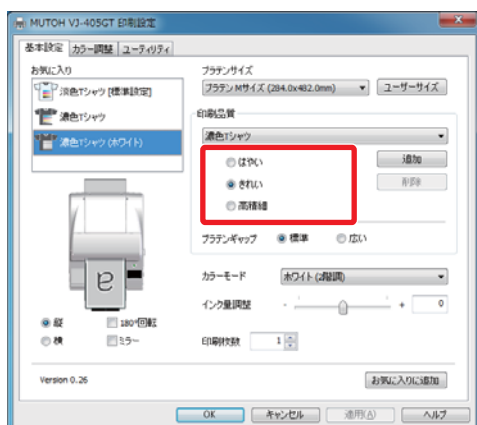
2. ホワイトインクのインク量を調整する

- [1] 印刷を実行するアプリケーションソフトで印刷データを開きます。
- [2] アプリケーションソフトで本製品のプリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

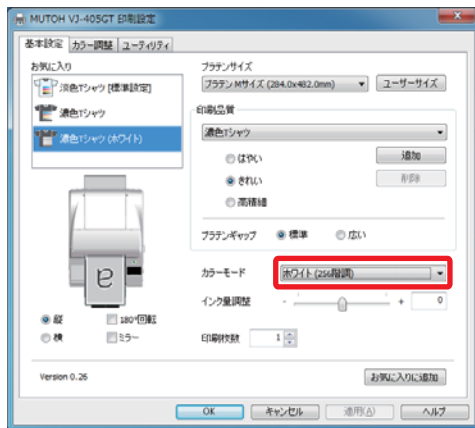
- [3] [基本設定] タブの [お気に入り] から [濃色Tシャツ (ホワイト)] を選択します。



- [4] 調整したい作画モードを「はやい」「きれい」「高精細」から選択します。

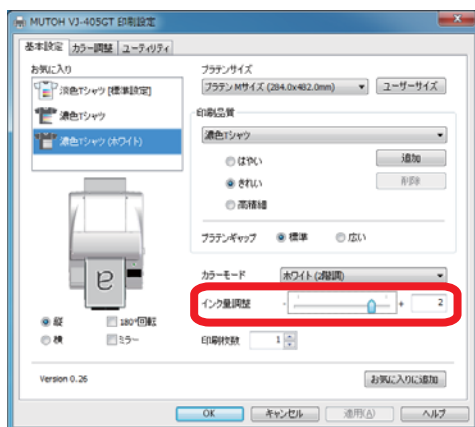


[5]



ホワイトで諧調のある画像を印刷する場合は、[カラーモード] を [ホワイト (256 諧調)] に変更します。

[6]



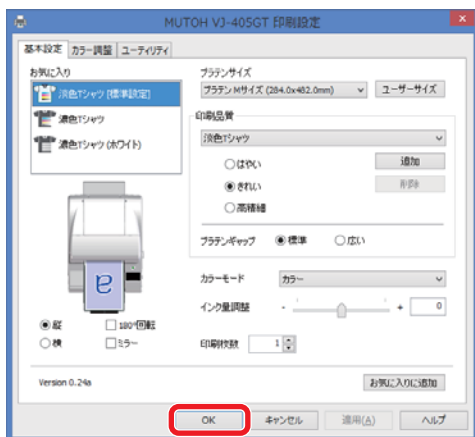
[インク量調整] にテストパターンで確認した値を入力します。



Note

設定を登録する場合は、変更後に「お気に入り追加」をクリックしてください。

[7]



[OK] をクリックします。

[8]

印刷を実行します。

- ・ホワイトのみで印刷が完成する場合は、ここで終わりです。
- ・ホワイト下地のからカラー印刷を行う場合は、[お気に入り] を [濃色 T シャツ] に変えてもう一度印刷します。

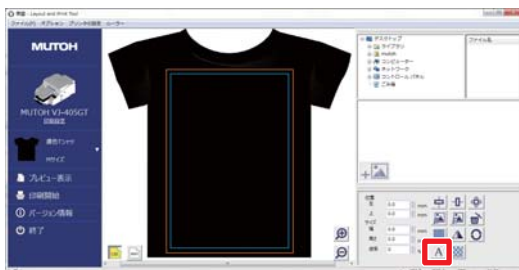
文字を入れる

Layout and Print ツールを使って、Tシャツに文字を入れることができます。

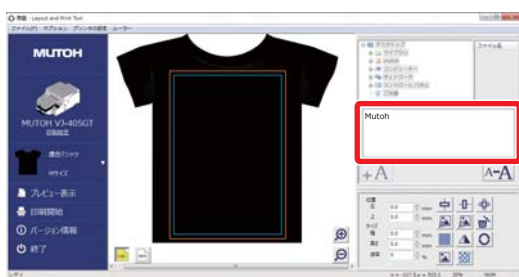
- [1] Layout and Print Tool を起動します。

☞ 「Layout and Print Tool の起動方法」 P. 14

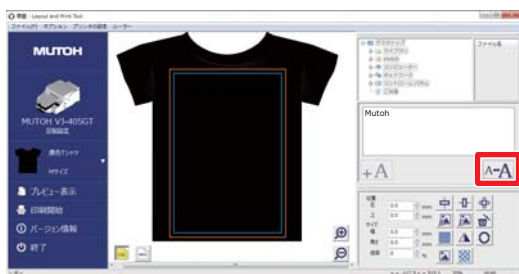
- [2] [画像とテキストの切り替え] ボタンをクリックします。



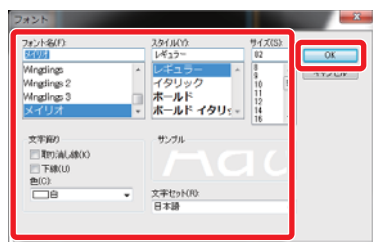
- [3] 文字を入力します。



- [4] [フォント設定] ボタンをクリックします。

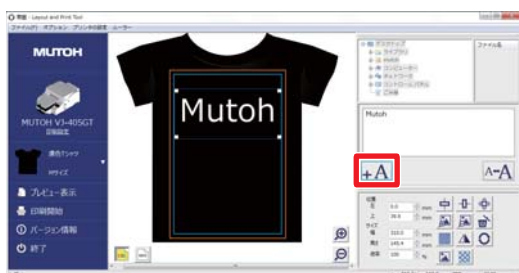



- [5] フォント、文字の色、サイズなどを設定し、[OK] をクリックします。



- [6] [挿入_更新] ボタンをクリックします。

・Tシャツに文字が挿入されます。



 Note

再編集する場合は、Tシャツ上の文字をクリックしてください。

再印刷を行う

前回印刷したデータを簡単に再印刷できます。
プリンターがコンピュータに接続されていなくても印刷できます。

[1] プリンターにTシャツをセットします。

[2]



[SET UP] メニューを押します。

[3]



[Reprint] キーを押します。

- 確認メッセージが表示されます。

[4]



[はい] を押します。

- 印刷を開始します。

Note

- 前回印刷したデータは、電源オフ後も保持されます。
- ノズルチェックなどを最後に印刷した場合は、その前にユーザーが送信したデータを印刷します。

カスタムプラテンを自作する

本製品は、標準のプラテンおよびプラテン固定台を取り外し、お客様が作成したカスタムプラテンを取り付けられるようになっています。

可能な印刷エリア、厚み、重量

カスタムプラテンを作成した場合は、標準のプラテンを使用したときと比べて、可能な最大作画サイズや最大厚みが異なります。

各仕様は下表のとおりです。

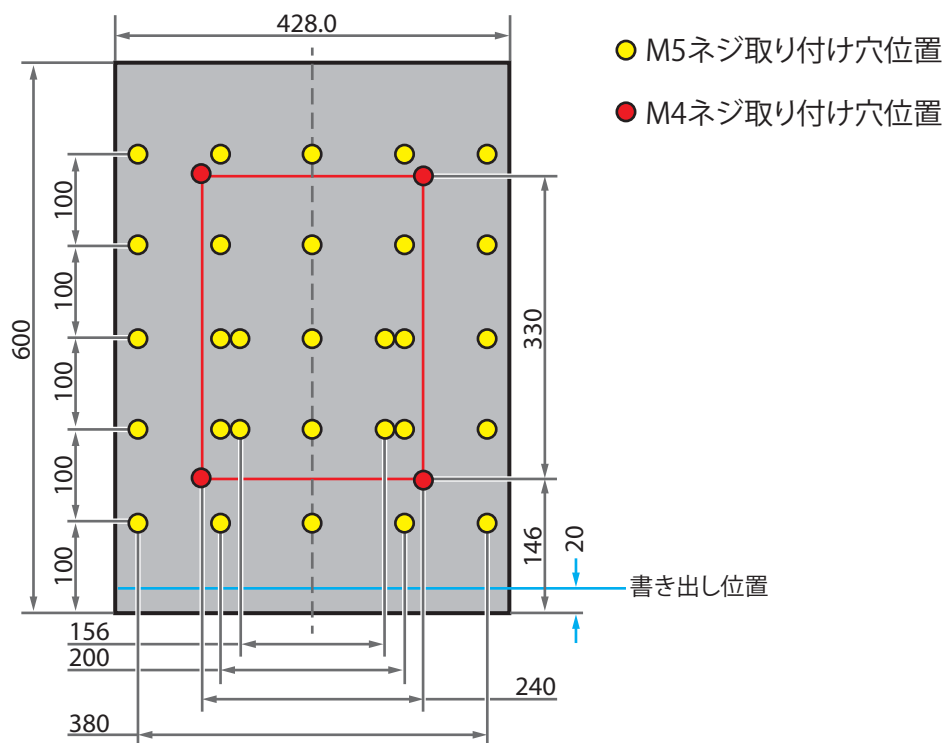
項目	仕様
カスタムプラテンの最大サイズ	W 428 x D 600 mm
最大作画サイズ	W 420 x D 576 mm
印刷余白	前 20 mm、左右および後方 4 mm
最大厚み *	145mm
最大重量 *	7 kg
* 最大厚み、最大重量は治具と印刷メディアを含めた値となります。	

Important!

- ・ カスタムプラテンは、プラテンと印刷メディアの合計厚さが 120 mm 以上、145 mm 以下になるように作成してください。
- ・ プラテンと印刷メディアの合計重量が 7kg を超える場合、昇降機構に不具合が生じる恐れがあります。

テーブルの外形寸法とねじ穴位置

(単位はmm)



Important!

- ・ 使用するネジの長さはテーブル天面から 10mm 以下の深さのものを使用してください。
ネジが長い場合、テーブル内部が破損し、昇降機構に不具合が生じる恐れがあります。
- ・ テーブルの高さは昇降ダイヤルを回すことで最大 25mm 動かすことができます。

プラテンサイズの指定

作成したカスタムプラテンが以下にあてはまる場合は、プラテンのサイズを指定してください。

- ・印刷可能領域のサイズが標準品のプラテンと異なる

プラテンサイズの指定方法：

- ・ Layout and Print Tool から印刷する場合は、Platen Edit Tool で指定してください。
- ・ 他のアプリケーションからプリンタドライバで印刷する場合は、プリンタドライバでプラテンのサイズを指定してください。

Important!

プラテンサイズの奥行きは、プリンターの「書き出し位置」から測った奥行きを指定してください。
「書き出し位置」はテーブル先端から 20mm の位置です。

👉 「テーブルの外形寸法とねじ穴位置」P. 74

Platen Edit Tool で指定する

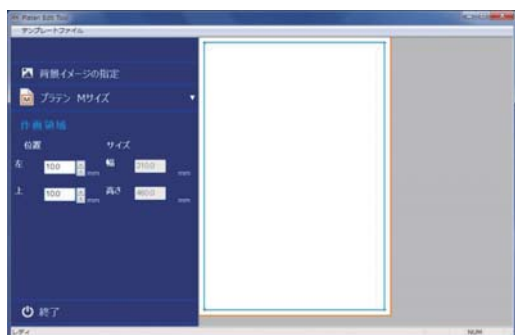
[1] Platen Edit Tool を起動します。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

- ・ Windows 10
[スタート] メニューから [すべてのアプリ] - [MUTOH] - [Platen Edit Tool] の順にクリックします。
- ・ Windows 8 / Windows 8.1
[スタート] 画面のタイルが表示されていないところで、右クリックしてアプリバーを表示し、[すべてのアプリ] をクリックします。[Platen Edit Tool] をクリックします。
- ・ Windows 7 / Windows Vista
[スタート] メニューから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [MUTOH] - [Platen Edit Tool] の順にクリックします。

[2]



プラテンの設定変更を行います。

- ・ 詳しい使い方は、Platen Edit Tool の取扱説明書をご覧ください。

Note

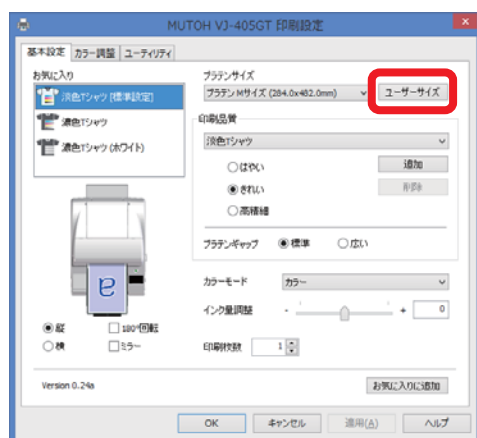
「Platen Edit Tool 取扱説明書」は、付属の CD-ROM 内にあります。

プリンタードライバーから指定する

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を起動します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P. 15

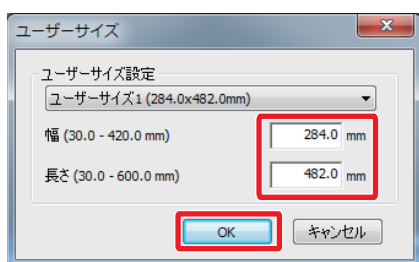
- [2]



[ユーザーサイズ] をクリックします。

- ・ [ユーザーサイズ] 設定画面が表示されます。

- [3]



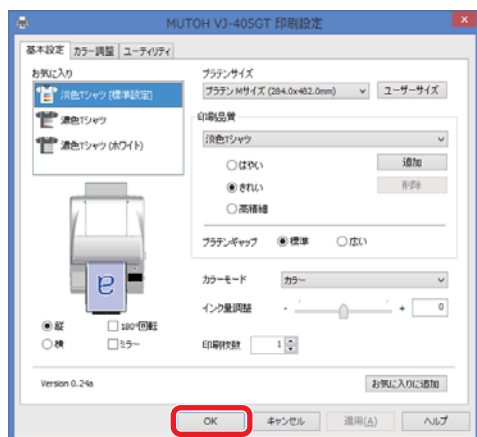
[幅] と [長さ] を入力して [OK] をクリックします。



Note

設定を登録する場合は、変更後に「お気に入りに追加」をクリックしてください。

- [4]



[OK] をクリックします。

第 3 章 設定と調整の機能

設定の変更・確認	78
ネットワーク設定の変更	78
障害物センサーの設定	80
シリアル番号の表示	81
表示言語の変更	82
ソフトウェアバージョンの表示	83
 画質調整	 84
テーブル送り補正	84
ヘッド調整	87
印刷位置調整	89
調整初期化	91

設定の変更・確認

タッチパネルから本製品の各種設定を変更・確認する方法を説明します。

ネットワーク設定の変更

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を変更できます。

[1]



[SET UP] メニューを押します。

[2]



[IP Address] キーを押します。

- アドレス設定画面を表示します。

[3]



IP アドレスを設定します。

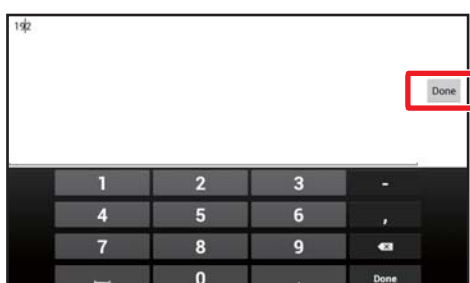
- 変更したいセグメント（数字）を押します。
- 数値入力画面を表示します。



Note

- IP アドレスは、このプリンターと接続するコンピューターの IP アドレスとは別の番号を設定します。
- IP アドレスの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

[4]



テンキーで数字を入力します。

- [Done] で入力を確定します。

[5]



サブネットを設定します。

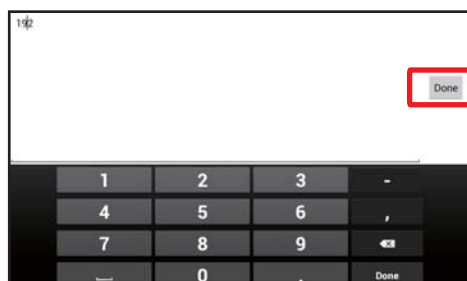
- 変更したいセグメント（数字）を押します。
- 数値入力画面を表示します。



Note

サブネットの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

[6]



テンキーで数字を入力します。

- [Done] で入力を確定します。

[7]



ゲートウェイを設定します。

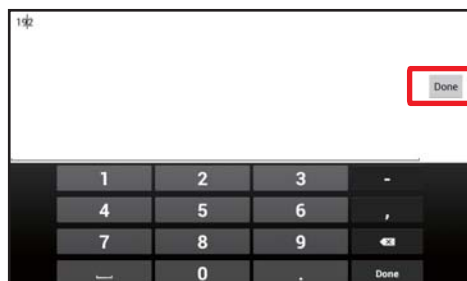
- 変更したいセグメント（数字）を押します。
- 数値入力画面を表示します。



Note

- コンピューターと1対1接続する場合はデフォルト値のままでかまいません。
- ゲートウェイの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

[8]



テンキーで数字を入力します。

- [Done] で入力を確定します。

[9]



[Change] キーを押します。

- 入力した設定値でプリンターのアドレス設定を更新します。



Note

アドレス設定画面を閉じるには [Cancel] を押してください。

障害物センサーの設定

プラテン上の障害物や、メディアの浮きを検出するセンサーのオン／オフを行います。

Important!

通常はかならず障害物センサーをオンでご使用ください。

障害物センサーがオフになっていると、障害物があるときやプラテンが高すぎる場合にプリントヘッドを損傷する恐れがあります。

[1]



[SET UP] メニューを押します。

[2]



[Obstacle Sensor] キーを押します。

- ・ 障害物センサー設定画面を表示します。

[3]



[On] / [Off] を切り替えます。

- ・ [Off] にすると確認画面を表示します。

Note

[戻る] キーで SET UP メニューへ戻ります。

[4]



[はい] を押します。

シリアル番号の表示

製品のシリアル番号を表示することができます。

[1]



[SET UP] メニューを押します。

[2]



[Serial No.] キーを押します。
• シリアル番号画面を表示します。

[3]



番号を確認して、[戻る] キーを押します。
• SET UP メニューへ戻ります。

表示言語の変更

タッチパネルに表示される言語を変更します。
ただし言語変更後も、各機能キーについては英語表示となります。

[1]



[SET UP] メニューを押します。

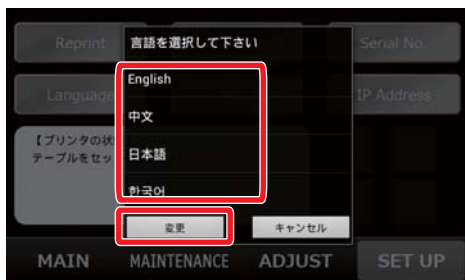
[2]



[Language] キーを押します。

- 言語の選択画面が表示されます。

[3]



使用する言語を押してから、[変更] を押します。

- 言語の設定が変更されます。



Note

[キャンセル] キーで SET UP メニューへ戻ります。

ソフトウェアバージョンの表示

本製品の内部ソフトウェアのバージョンを表示することができます。

[1]



[SET UP] メニューを押します。

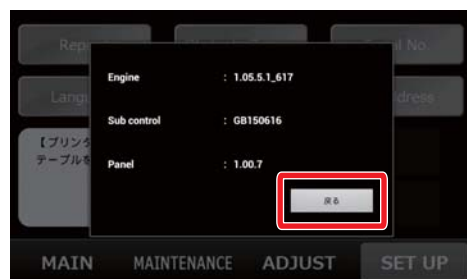
[2]



[Version] キーを押します。

・ソフトウェアバージョン画面を表示します。

[3]



バージョンを確認して、[戻る] キーを押します。

・ [SET UP] メニューへ戻ります。

画質調整

本製品は工場出荷時に画質調整を行っておりますので、通常のご使用では調整は必要ありません。
画質の不良があった場合は、まず下記をご確認ください。

- ・ 前処理が不十分ではありませんか？
- ・ ノズル抜けはありませんか？
- ・ Tシャツとプリントヘッドの距離が開きすぎていませんか？
- ・ Tシャツのセット位置がかたよっていませんか？

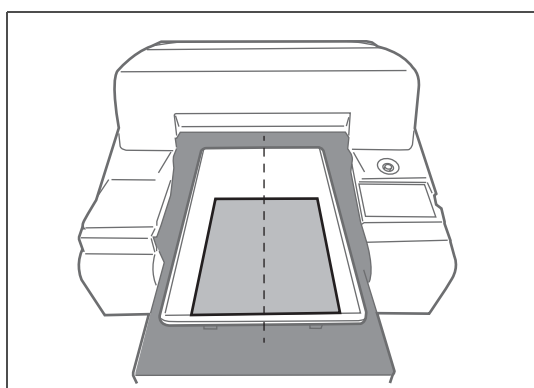
確認後も改善しないときは、画質調整を行ってください。

テーブル送り補正

印刷結果に、白っぽい横スジが一定の間隔で入っている場合、この調整を行うと改善する可能性があります。

1. メディアをプラテンにセットする

[1]



プラテンにメディアを置きます。

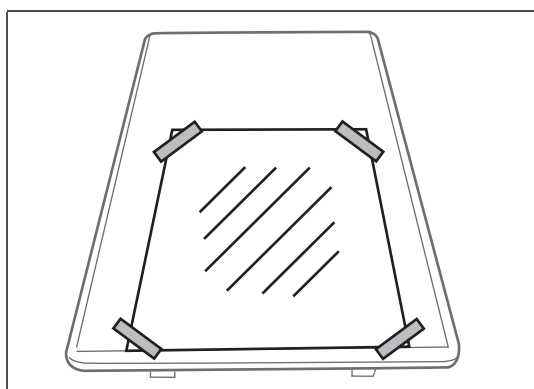
- ・ A4 サイズ（210 mm x 297mm）のメディアを縦にしてセットしてください。
- ・ メディアの前端をプラテンの前端に合わせて配置します。
- ・ メディアの中央がプラテンの中央と一致するように配置します。



Note

VJ-405GT はホワイティンクを使用しますので、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

[2]

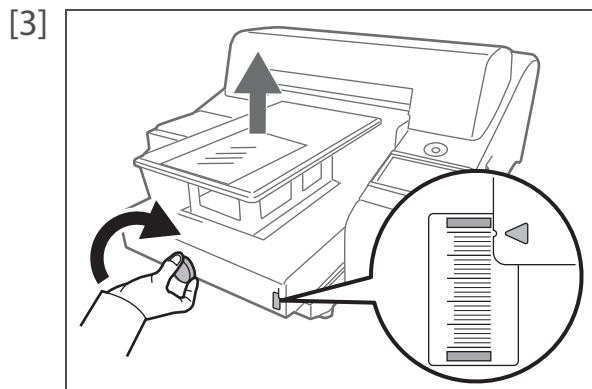


メディアの一部が浮いている場合は、メディアの四隅をテープで固定してください。



Note

メディアに浮いている部分があると、エラーの原因になります。



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルを一番上まで上げます。

Note

- ・ テーブルを一番上まで上げた後、さらにテーブル昇降ダイヤルを回し続けると破損する恐れがありますので、それ以上回さないでください。
- ・ 一番下まで下げた場合も同様です。



[ADJUST] メニューを押します。



[SET] キーを押します。

- ・ テーブルが奥に移動します。

Note

高さエラーになる場合は、テーブルの高さを少しずつ下げてください。
プラテンとプリントヘッドの距離はできるだけ近づけてください。

Important!

「プラテンギャップ」設定を「広い」で使用している場合でも、画質調整ではプラテンとプリントヘッドの距離はできるだけ近づけてください。

2. 調整パターンを印刷する



[Table Feed] キーを押します。

- ・ 確認画面を表示します。

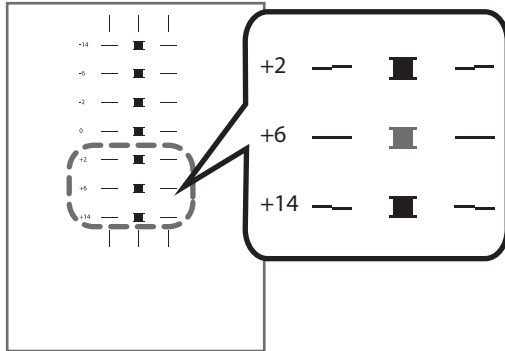
[2]



[はい] を押します。

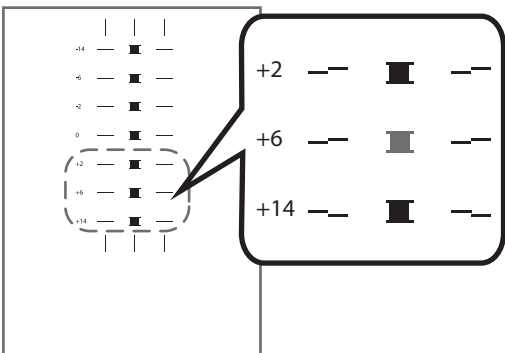
- 調整パターンを印刷します。
- 調整値の入力画面を表示します。

[3]



調整パターンの印刷結果から、最適な調整値を確認します。

- 四角形の色がもっとも薄く、その左右にある横線にズレがないパターンを探します。
- そのパターンの左側の数値が最適な調整値です。
- 左図の場合、最適な調整値は「+6」になります。



パターンに書いてある数値の間の数値が調整値になる場合があります。以下のような場合です。

- 色がもっとも薄い四角形であっても、その左右にある横線にズレがある場合。
- 左図の場合、色がもっとも薄いのは「+6」の四角形ですが、左右の横線がズレています。そういうときは、その四角形の上下のパターンの横線を確認してください。
- 「+2」と「+6」の横線は同じ方向にズレていますが、「+14」の横線は逆方向にズレています。
- この場合、「+6」～「+14」の間のどこかに横線のズレが解消される値があります。そこを過ぎると、「+14」に近づくにしたがって、今度は逆方向にズレていきます。
- ズレ具合を見て、最適な調整値を「+6」～「+14」の間の数値のどれかに決めます。

[4]



手順 3 で確認した調整値を入力し、[Enter] を押します。

[5]

もう一度、メディア送り調整を行います。

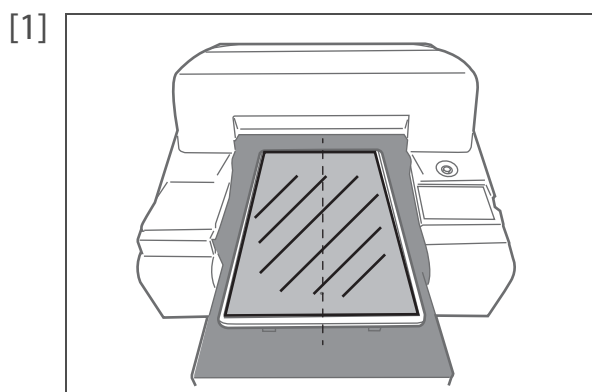
- 「0」のパターンの四角形の色がもっとも薄く、その左右の横線にズレがなくなるまで調整してください。

ヘッド調整

プリントヘッドの位置を調整します。印刷結果がブレている場合（縦方向の線がズレて印刷されたり、色がぼやけているとき）は、この調整を行うと改善する可能性があります。

調整パターンのすべての行の調整値を確認し、それぞれ調整を行ってください。調整値が「0」の場合、調整は不要です。すべての行の調整値が「0」になるまで調整してください。

1. メディアをプラテンにセットする



プラテンにメディアを置きます。

- A3 サイズ（297mm x 420mm）のメディアを縦にしてセットしてください。
- メディアの前端が左図の位置になるように配置します。
- メディアの中央がプラテンの中央と一致するように配置します。



Note

VJ-405GT はホワイトインクを使用しますので、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

- [2] 以降は、「テーブル送り補正」の「メディアをプラテンにセットする」P.84 と同様です。

2. 調整パターンを印刷する



[ADJUST] メニューを押します。



[Head Position] キーを押します。

- 確認画面を表示します。

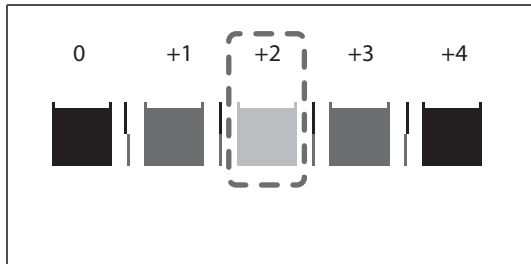
[3]



[はい] を押します。

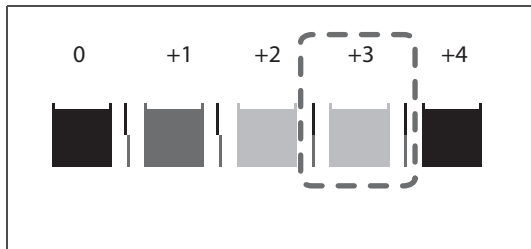
- ・調整パターンを印刷します。
- ・調整値の入力画面を表示します。

[4]



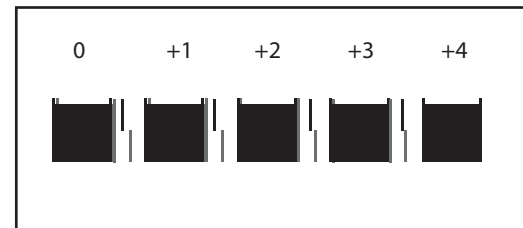
調整パターンの印刷結果から、最適な調整値を確認します。

- ・四角形の色がもっとも薄く、その左右にある縦線にズレがないパターンを探します。
- ・そのパターンの上の数値が最適な調整値です。
- ・左図の場合、最適な調整値は「+2」になります。
- ・すべての行の調整値を確認します。



ひとつに絞れない場合は、四角形の左右の縦線がよりまっすぐなものを選択します。

- ・左図の場合、最適な調整値は「+3」になります。



まっすぐな縦線がひとつもない場合は、ズレが少なくなっていく方の端の数値を確認します。

- ・左図の場合、「+4」です。
- ・最適な調整値は「+4」以上だと予想できます。
- ・ ± 8 の範囲で調整値が入力できますので、ズレ具合を見て、最適な調整値を「+5」～「+8」の数値のどれかに決めます。

[5]



手順 4 で確認した調整値を入力し、[Enter] を押します。

- ・ ± 8 の範囲で調整値が入力できます。

[6]

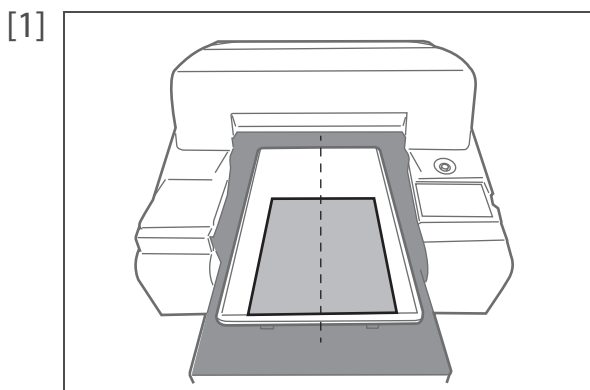
もう一度、ヘッド調整を行います。

- ・「0」のパターンの四角形の色がもっとも薄く、その左右の縦線にズレがなくなるまで調整してください。

印刷位置調整

印刷位置を $\pm 4\text{mm}$ の範囲で微調整できます。

1. メディアをプラテンにセットする



プラテンにメディアを置きます。

- A4 サイズ (210mm x 297mm) のメディアを縦にしてセットしてください。
- メディアの前端が左図の位置になるように配置します。
- メディアの中央がプラテンの中央と一致するように配置します。



Note

VJ-405GT はホワイトインクを使用しますので、透明または半透明のメディア (OHP フィルム、トレーシングペーパーなど) をおすすめします。

[2] 以降は、「テーブル送り補正」の「メディアをプラテンにセットする」P.84 と同様です。

2. 調整パターンを印刷する



[ADJUST] メニューを押します。



[Print Position] キーを押します。

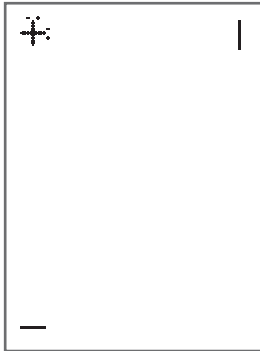
- 確認画面を表示します。

[3]



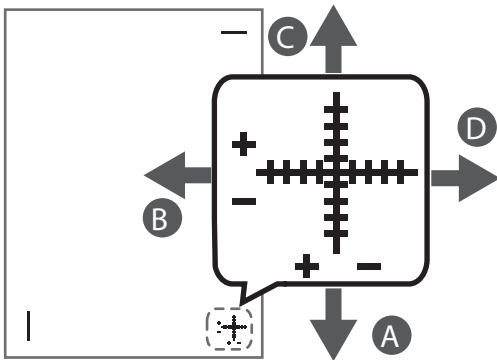
[はい] を押します。

- 調整パターンを印刷します。
- 調整値の入力画面を表示します。



- 調整パターンは左図のとおりです。

[4]



テスト印刷用紙の十字形を、用紙の右下にして見ます。

- 「A」の方向がプリンター前側として、どちらの方向に印刷結果を動かすか決めます。
- 十字形の目盛りは、1mm 刻みです。

[5]



十字形を目安に調整値を入力し、[Enter] を押します。

- 0.1mm 単位で「-4.0」～「+4.0」の範囲で入力できます。
- 印刷位置を、手順 3 のイラストの「B」の方に移動させたい場合は、[画像書き込み方向] に「+1」～「+4」の値を入力します。
「D」の方向に移動させたい場合は、「-1」～「-4」の値を入力します。
- 印刷位置を、手順 3 のイラストの「C」の方に移動させたい場合は、[テーブル送り方向] に「+1」～「+4」の値を入力します。
「A」の方向に移動させたい場合は、「-1」～「-4」の値を入力します。

調整初期化

画質調整の設定値を初期化します。本機能を実行すると工場出荷時よりもさらに前の状態になるため、全項目の画質調整が必要になります。ご使用には十分ご注意ください。

[1]



[ADJUST] メニューを押します。

[2]



[Initialization] を押します。

- 確認画面を表示します。

[3]



[はい] を押します。

- すべての画質調整の調整値を初期化します。
- 全項目の画質調整を行ってください。

第4章 メンテナンス

メンテナンスについて	94
ホワイトのインクカートリッジをかくはんする (VJ-405GT) .	95
ホワイトのインクカートリッジをかくはんする (VJ-405GT)	95
廃液ボトルを空にする	97
廃液ボトルを空にする	97
各部のクリーニング	101
クリーニングワイパーとキャップの清掃	101
プリントヘッド外周の清掃	107
エンコーダースケールの清掃	110
シャフトの清掃とグリスアップ	113
消耗品の交換	116
フラッシングボックスの交換とカウンターの初期化	116
ミストフィルターの交換	121
輸送と長期保存	122
輸送の手順	122
初期充てんの方法	127
長期保存するとき	130
5色設定から4色設定に切り替える (VJ-405GT)	131
「Whiteのみ」洗浄を行う (VJ-405GT)	131
「Whiteのみ」充てんを行う (VJ-405GT)	133

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

毎日の作業の開始前	「ホワイトのインクカートリッジをかくはんする (VJ-405GT)」P. 95
	「ノズルチェックとクリーニング」P. 24
毎日の作業の終了後	「クリーニングワイパーとキャップの清掃」P. 101 (VJ-405GT)
ご使用に合わせて	「廃液ボトルを空にする」P. 97
	「フラッシングボックスの交換とカウンターの初期化」P. 116
	「ミストフィルターの交換」P. 121
1 週間に 1 度	「クリーニングワイパーとキャップの清掃」P. 101 (VJ-404GT)
	「プリントヘッド外周の清掃」P. 107
	「エンコーダースケールの清掃」P. 110 (「プラテンギャップ」設定が「広い」設定の時)
	「シャフトの清掃とグリスアップ」P. 113 (「プラテンギャップ」設定が「広い」設定の時)
2 週間に 1 度	「エンコーダースケールの清掃」P. 110
	「シャフトの清掃とグリスアップ」P. 113
1 週間以上使用しないとき	「長期保存するとき」P. 130
5 色設定から 4 色設定に切り替えるとき (VJ-405GT)	「5 色設定から 4 色設定に切り替える (VJ-405GT)」P. 131

ホワイトのインクカートリッジをかくはんする (VJ-405GT)

ホワイトのインクカートリッジをかくはんする (VJ-405GT)

ホワイトインクをご使用の場合は、インクの沈殿・凝固を防ぐため、インクカートリッジを次の場合にかくはんしてください。

- ・ 毎日の作業の開始前
- ・ サブ電源ボタンが速く点滅（1 秒に 2 回）し、タッチパネルに次のメッセージが表示されたとき
「White カートリッジを上下に 10 回回転させ、かくはんしてください。」

必要なもの：

- ・ ペーパータオル（付属品または市販品：ただし市販品は不織布タイプで発塵性の低いもの）
またはポリニットワイパー（オプション品）
- ・ 手袋（付属品）

手順

[1]

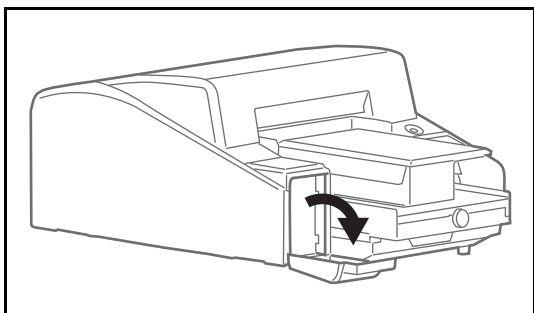


タッチパネルにメッセージが表示されていることを確認します。

[2] メッセージが表示されていないときにインクカートリッジをかくはんする場合は、プリンターの電源がオンになっていることを確認してください。

[3] 付属の手袋をはめます。

[4]



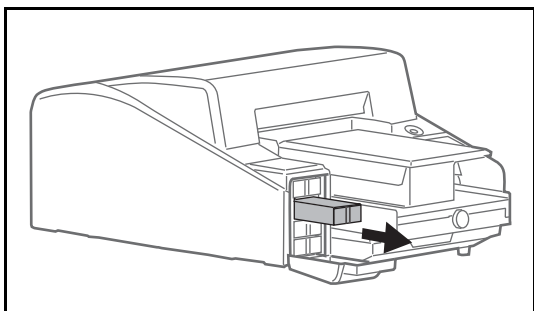
ホワイトインク側のカートリッジカバーを開きます。



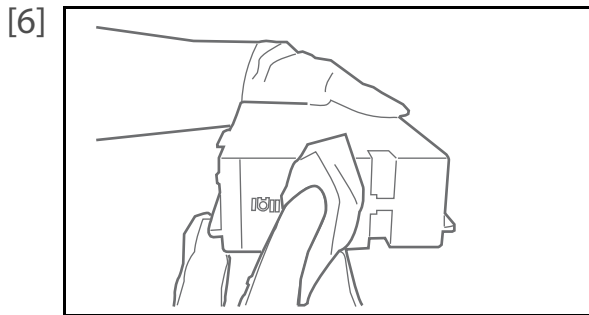
Note

カートリッジカバーは、押すと手前に開きます。

[5]



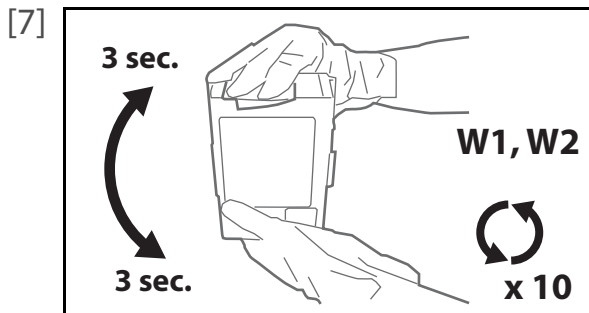
ホワイトインクのカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。



ペーパータオルで、インクカートリッジの差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。

Important!

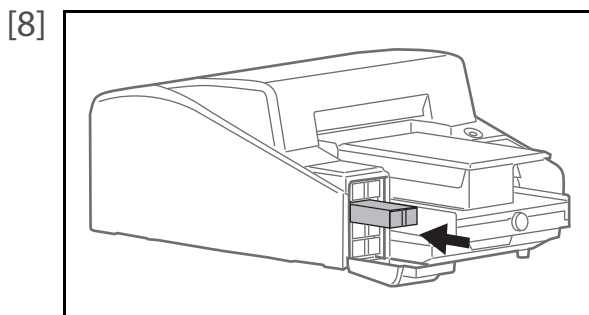
ICチップをさわらないようご注意ください。



- ・ペーパータオルでインクカートリッジの差し込み口を押えながら、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・10回繰り返します。

Important!

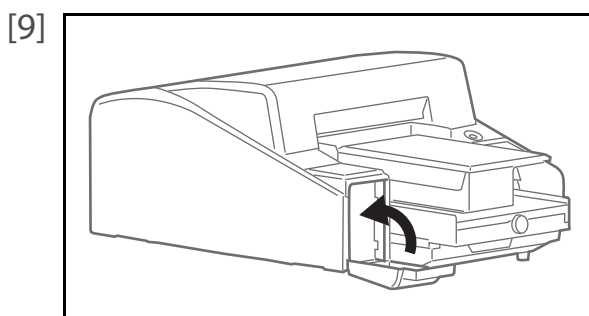
インクカートリッジは、W1 と W2 の両方をかくはんしてください。



インクカートリッジを元のカートリッジスロットに取り付けます。

Important!

- ・ホワイトインクのカートリッジは定期的にかくはんする必要があります。
放置するとカートリッジ内のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
- ・ホワイトインクの W1 と W2 はカートリッジの形状が異なります。逆に取り付けようとすると故障の原因になります。



カートリッジカバーを閉じます。



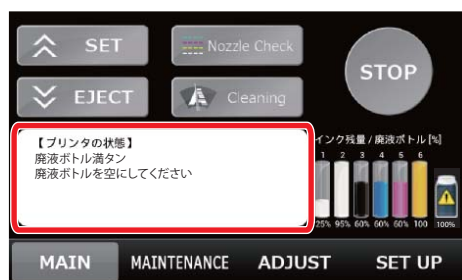
[OK] を押します。

廃液ボトルを空にする

廃液ボトルを空にする

一定量のインクを使用すると、タッチパネルに以下が表示されます。
廃液ボトルの廃インクを、容器に移してすべて排出してください。排出後はかならず廃液初期化を行ってください。

ステータス表示



タッチパネルのステータス表示に下記のメッセージが表示されます。

- ・「廃液ボトルもうすぐ満タン」
- ・「廃液ボトル満タン」
- 「廃液ボトルを空にしてください」

アイコン表示



廃液ボトルがまもなく満タンになります。満タンになる前に廃液ボトルの廃インクをすべて排出することをおすすめします。



廃液ボトルが満タンになりました。ただちに廃液ボトルの廃インクをすべて排出してください。

1. 廃インクを容器に移す

[1] 廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

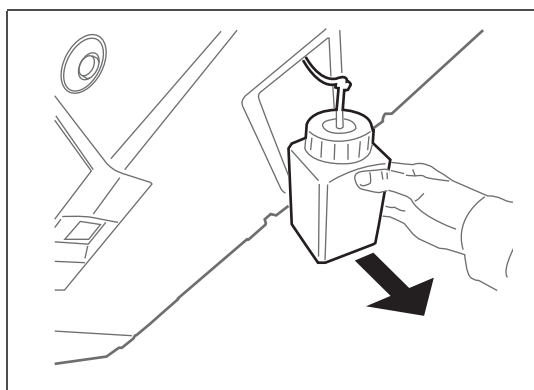
- ・ 廃液ボトルの容量は 500ml です。廃インクの排出時は十分な容量の容器を用意してください。
- ・ 作業中に床に廃液が垂れる可能性があります。汚れてもかまわない布をしいて作業することをおすすめします。

⚠ 注 意



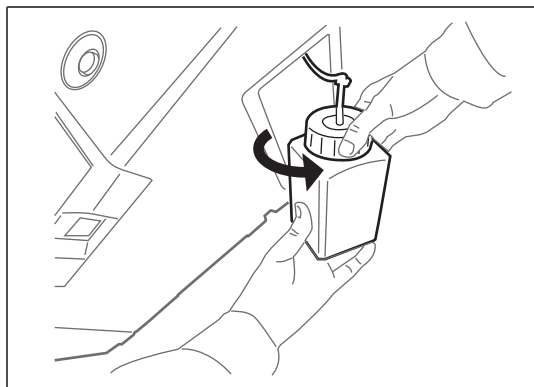
廃液タンクが空になるまで排出してください。廃液が残っていると、廃インク量のカウントが不正確になります。その結果、廃液があふれてプリンター内を汚したり、プリンターから廃液がもれたりする恐れがあります。

[2]



廃液ボトルをプリンターから取り出します。

[3]

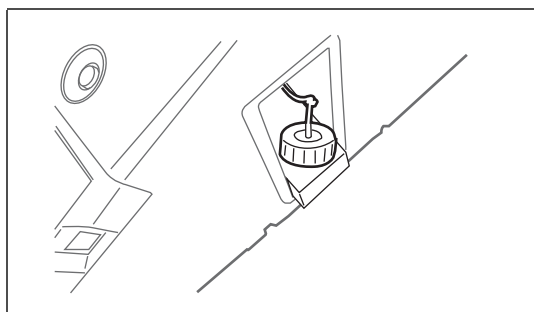


廃液ボトルのキャップを回して取り外します。

Important!

廃液ボトルのキャップから出ているチューブからインクが垂れることがあります。

[4]

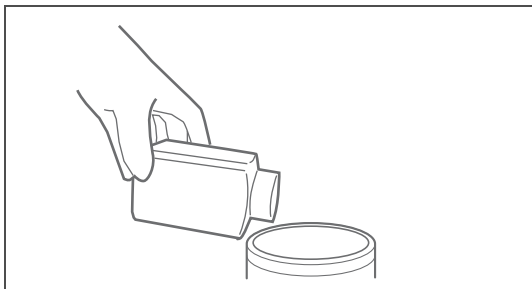


廃液ボトルのキャップは、廃液ボトル受けに置きます。

Important!

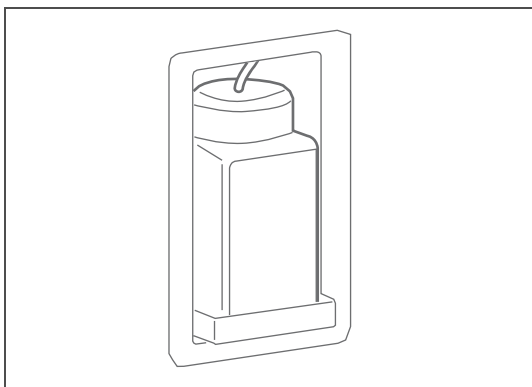
廃液ボトル受けにインクが垂れた場合は、すぐにふき取ってください。

[5]



容器に廃液をすべて移し替えます。

[6]



廃液ボトルをプリンターに取り付けます。



廃液ボトルから出ているチューブが途中で折れたりへこんだりしないように取り付けてください。

チューブに折れやへこみがあると、廃液がプリンター内部に漏れる恐れがあります。

警 告



- ・プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。産業廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- ・インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

2. 廃液初期化をする

廃インクを容器に移した後は、廃液初期化を行って廃液カウンターをリセットしてください。

！ 注 意



かならず廃インクを容器に移した場合にのみ行ってください。廃インクがあふれて汚れたり、製品の故障の原因になります

[1]



[MAINTENANCE] メニューを押します。

[2]



[廃液ボトル] アイコンを押します。

・確認画面が表示されます。

[3]



[はい] を押し、廃液カウンターをリセットします。

各部のクリーニング

クリーニングワイパーとキャップの清掃

清掃時期：

- ・ VJ-405GT: 1 日の作業終了後
- ・ VJ-404GT: 1 週間に 1 度
- ・ ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき

必要なもの：

- ・ クリーンスティック（付属品またはオプション品）、メンテナンス液（オプション品）、手袋（付属品）、プラスチックカップ（付属品）

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

- ・ クリーンスティックはメンテナンス液を染み込ませてください。
水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ 清掃中にクリーンスティックがインクで汚れたら、メンテナンス液でゆすいでください。
汚れたクリーンスティックで作業を続けしないでください。
- ・ クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ 作業時間の目安は 5 分以内です。

⚠ 注 意

- ⊘ フロントカバーの開閉は、不安定な体勢で行わないでください。
開閉時に手などを挟んだりしてケガをする恐れがあります。

1. CR メンテナンス状態にする

[1]



[MAINTENANCE] メニューを押します。

[2]



[CR Maintenance] キーを押します。

- 確認画面を表示します。

[3]



[はい] を押します。

- キャリッジがプリンターの中央へ移動します。



5 分以上、CR メンテナンス状態のまま放置しないでください。
プリントヘッドが目詰まりを起こす恐れがあります。

[4]

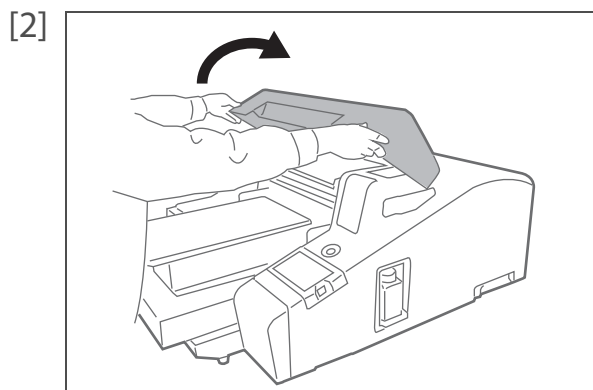


左のメッセージが表示されます。

- [SET] キーを押すと、プラテンが印刷開始位置に移動します。
- [EJECT] キーを押すと、プラテンが取り出し位置に移動します。
- メンテナンス作業が完了したら、[完了] を押します。

2. クリーニングワイパーを清掃する

[1] 付属の手袋をはめます。

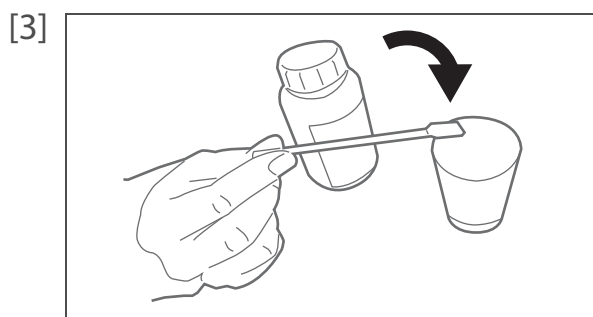


フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと開きます。
・フロントカバーは完全に開ききってください。

⚠ 注 意



フロントカバーはかならず全開してください。
途中で止めると突然閉まる恐れがあります。

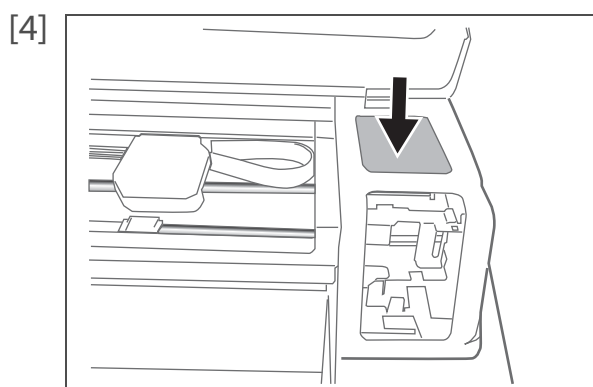


メンテナンス液を付属のプラスチックカップに適量そそぎ、クリーンスティックにメンテナンス液を染み込ませます。



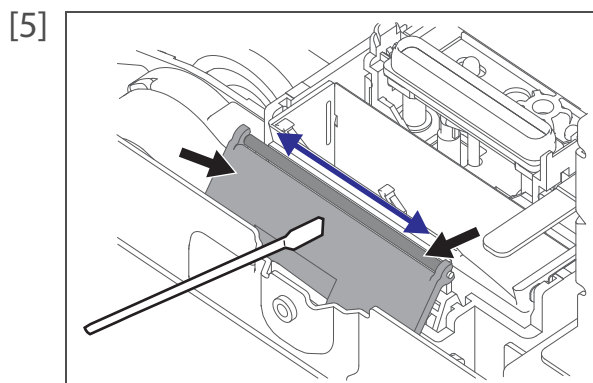
Note

メンテナンス液はクリーニングスティックから垂れ落ちない程度に染み込ませてください。



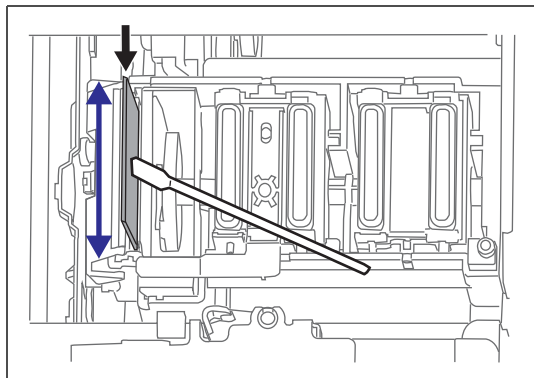
クリーニングワイパーの位置を確認します。

・クリーニングワイパーは、移動前のキャリッジの下にあたる位置にあります。



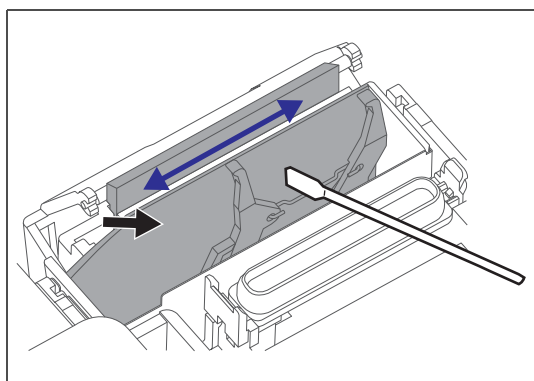
クリーンスティックで、クリーニングワイパーの左側にある部品（金属のローラーとその左側の樹脂部品）の汚れを拭き取ります。

[6]



クリーニングワイパー（黒いゴム板）の汚れを拭き取ります。

[7]



クリーニングワイパーの下部にある部品に付着したインクを拭き取ります。

 **Important!**

インクが固着してしまうと、インクが堆積し、プリントヘッドを破損させる恐れがあります。

[8]

クリーニングワイパー周辺部がきれいになっているか確認します。

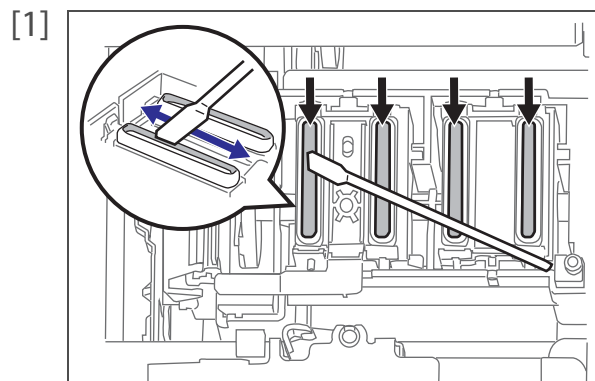
クリーニングワイパー左側



クリーニングワイパー右側



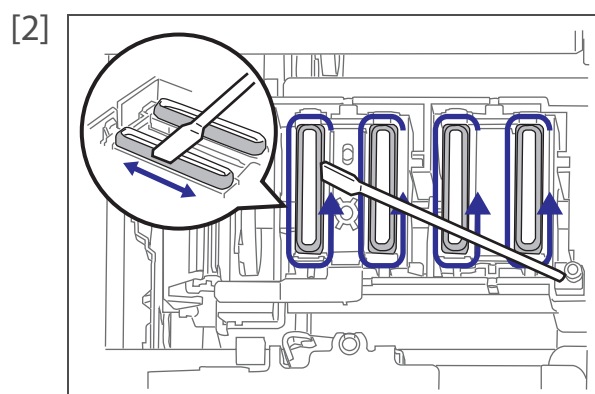
3. キャップを清掃する



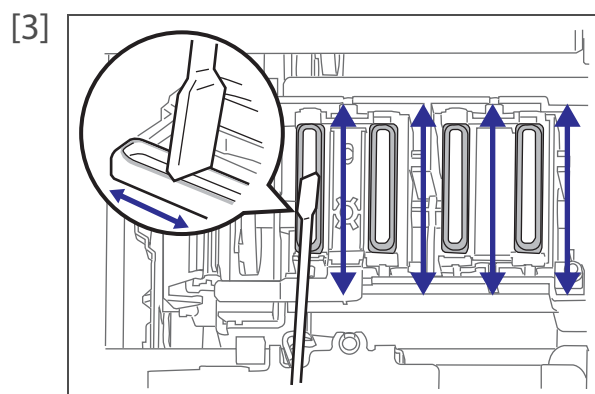
4つあるキャップの内側の汚れを拭き取ります。

 Important!

- ・ 左端のキャップは内壁のみ清掃してください。キャップ内にあるスポンジには触らないでください。スポンジがつぶれると、インクの吸引不良を引き起こす恐れがあります。
- ・ クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。



キャップの外周の汚れを拭き取ります。



キャップの上側の縁の汚れを拭き取ります。

[4] クリーニングワイパーとキャップ周辺部がきれいになっているか確認します。

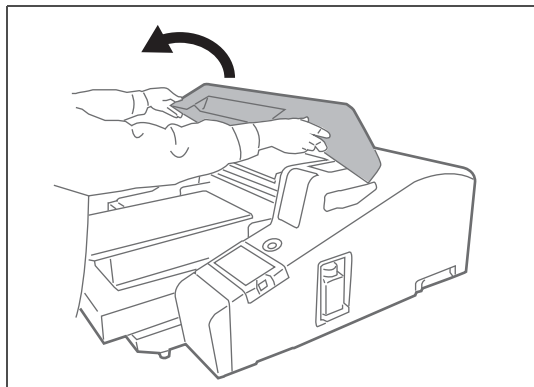
清掃前



清掃後



[5]



フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと閉じます。

⚠ 注 意



フロントカバーを閉めるときは、かならず両手で指定位置を持って閉めてください。
プリンター開口部のフチやその周辺に手を掛けていると、手を挟まれてケガをする恐れがあります。

[6]



[完了] を押します。
・手順を終了します。



Note

プリントヘッド外周の清掃をする場合は、ここで終了せず、清掃を行ってください。

プリントヘッド外周の清掃

清掃時期：

- ・ 1 週間に 1 度
- ・ ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき

必要なもの：

- ・ クリーンスティック（付属品またはオプション品）
- ・ メンテナンス液（オプション品）
- ・ 手袋（付属品）
- ・ プラスチックカップ（付属品）

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

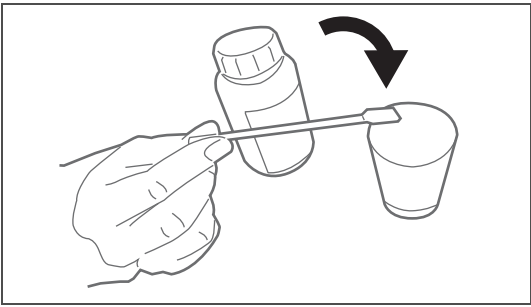
- ・ クリーンスティックにはメンテナンス液を染み込ませてください。
水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ 清掃中にクリーンスティックがインクで汚れたら、メンテナンス液でゆすいでください。
汚れたクリーンスティックで作業を続けしないでください。
- ・ クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ 作業時間の目安は 5 分以内です。

⚠ 注 意

- ⊘ フロントカバーの開閉は、不安定な体勢で行わないでください。
開閉時に手などを挟んだりしてケガをする恐れがあります。

1. プrintヘッド外周の清掃

[1] 付属の手袋をはめます。

[2]  メンテナンス液を付属のプラスチックカップに適量そそぎ、クリーンスティックにメンテナンス液を染み込ませます。

Note

メンテナンス液はクリーニングスティックから垂れ落ちない程度に染み込ませてください。

[3] プラテンを取り外します。

[4] プリンターを CR メンテナンス状態にします。

 「CR メンテナンス状態にする」P.101

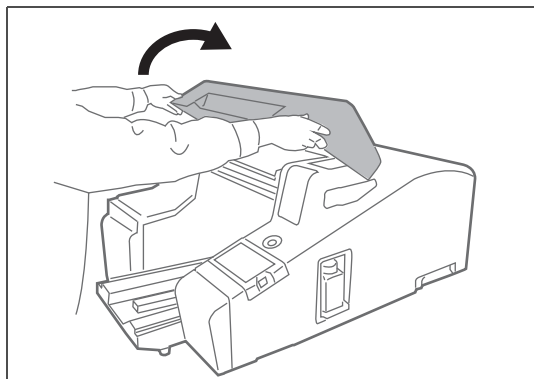
[5]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが奥へ移動します。

[6]



フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと開きます。

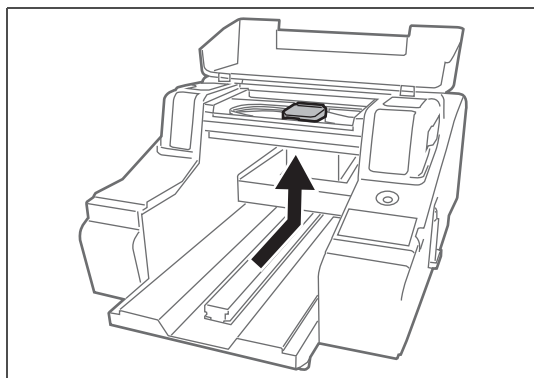
- ・フロントカバーは完全に開ききってください。

⚠ 注意



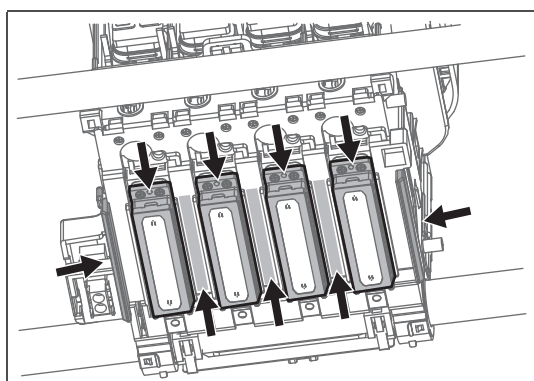
フロントカバーはかならず全開してください。
途中で止めると突然閉まる恐れがあります。

[7]



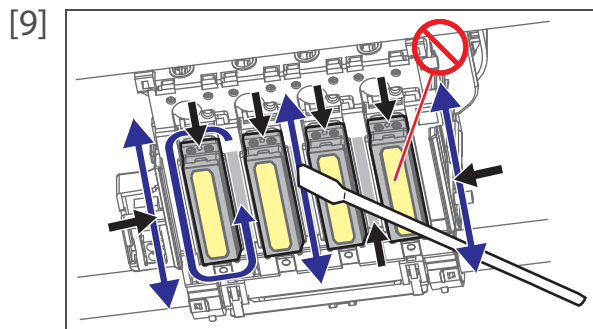
キャリッジの下側を見ます。

[8]



次の箇所にホコリやインクのかたまりが付着しているか確認します。

- ・各プリントヘッドの外周（銀色のワク部分）
- ・ヘッドとヘッドの間
- ・キャリッジの両端

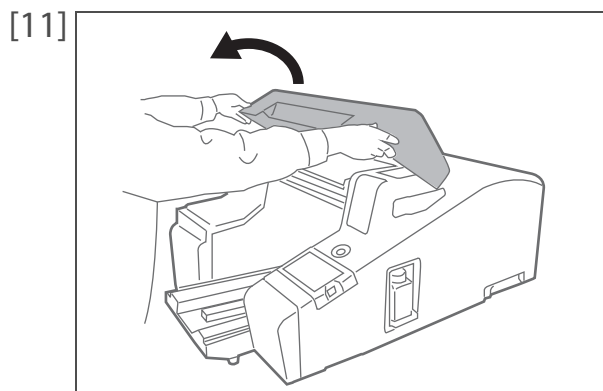
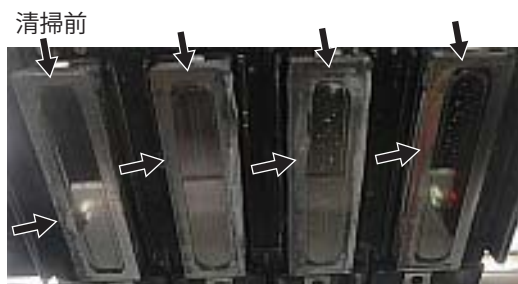


ホコリやインクのかたまりが付着していれば、クリーンスティックで清掃します。

Important!

プリントヘッド表面（左図の黄色の箇所）を指やクリーンスティックでさわらないでください。
プリントヘッドの故障の原因となります。

[10] プリントヘッド周辺がきれいになっているか確認します。



フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと閉じます。

注意



フロントカバーを閉めるときは、かならず両手で指定位置を持って閉めてください。
プリンター開口部のフチやその周辺に手を掛けていると、手を挟まれてケガをする恐れがあります。



[EJECT] キーを押します。
・テーブルが手前へ移動します。



[完了] を押します。
・手順を終了します。

エンコーダースケールの清掃

清掃時期：

- ・ 通常使用時：2 週間に 1 度
- ・ 「プラテンギャップ」設定を「広い」で使用する人が多い場合：1 週間に 1 度
- ・ CR エンコーダーエラーが発生するとき

必要なもの：

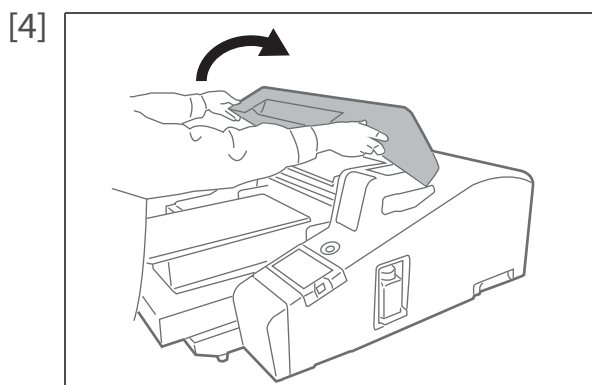
- ・ ペーパータオル（付属品または市販品：ただし市販品は不織布タイプで発塵性の低いもの）
またはポリニットワイパー（オプション品）
- ・ エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）
- ・ 手袋（付属品）

Important!

- ・ ペーパータオルは、毛羽立ちのないものをご使用ください。ティッシュペーパーは使用しないでください。紙からでる繊維や粉じんが悪影響をおよぼします。
- ・ エンコーダースケールは繊細な部品です。傷つけないように丁寧かつ慎重に作業してください。エンコーダースケールを傷つけると、エラーや印刷品質の悪化が起きます。
- ・ エンコーダースケールの清掃は、かならずシャフトの清掃とグリスアップの前に行ってください。シャフトのグリスがエンコーダースケールに付着し、エラーの原因になる恐れがあります。

1. エンコーダースケール左側と中央部の清掃

- [1] 電源オンを確認します。
- [2] 付属の手袋をはめます。
- [3] ペーパータオルにエタノールを少量染み込ませます。

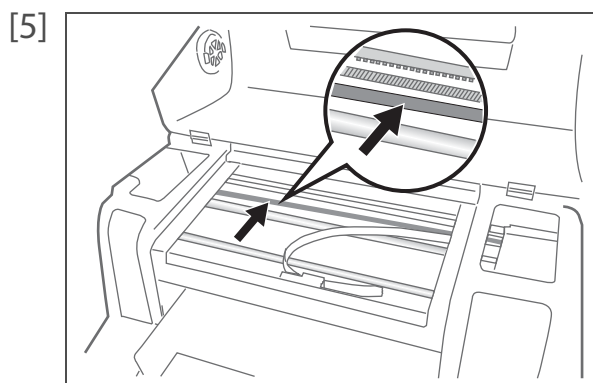


フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと開きます。
・ フロントカバーは完全に開ききってください。

注 意

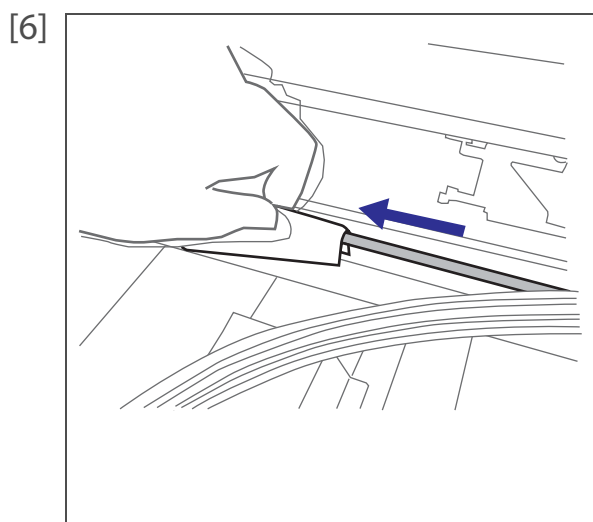


フロントカバーはかならず全開してください。
途中で止めると突然閉まる恐れがあります。



エンコーダースケールの位置を確認します。

- ・エンコーダースケールは、黒っぽい半透明のフィルムです。
- ・フロントカバー内にある、2本ある金属のシャフトの、奥側のすぐ近くにあります。



ペーパータオルでエンコーダースケールを表と裏からそっとはさみま

す。
中央から、左端のエンコーダースケール取り付け位置に向かって、右から左にふき取ってください。

Important!

- ・強い力ではさんだり、フィルムを折り曲げたりしないように十分注意してください。
- ・他の部品に触れないようにしてください。エンコーダースケールにグリスが付着するとエラーが発生するおそれがあります。
- ・上記の一方向（右から左）でふき取ってください。
左から右に力を加えると、エンコーダースケールが外れるおそれがあります。

[7] ふき終わったら、プリンターをCRメンテナンス状態にします。

続いてエンコーダースケール右側の清掃を行ってください。

👉 「CRメンテナンス状態にする」P.101

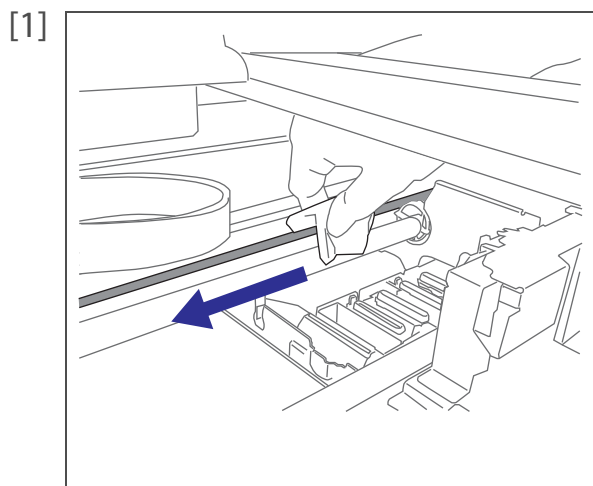
👉 「エンコーダースケール右側の清掃」P.111

Important!

CRメンテナンス状態での、作業時間の目安は5分以内です。

作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

2. エンコーダースケール右側の清掃



エンコーダースケールの残りの部分をふき取ります。

ペーパータオルでエンコーダースケールを表と裏からそっとはさみま

す。
右から左にふき取ってください。

Important!

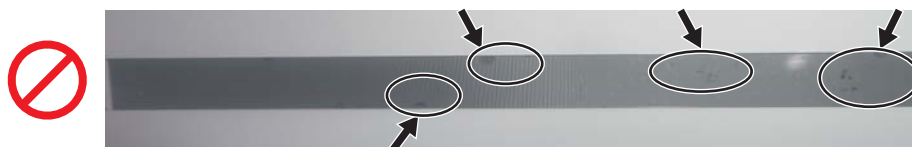
- ・強い力ではさんだり、フィルムを折り曲げたりしないように十分注意してください。
- ・他の部品に触れないようにしてください。エンコーダースケールにグリスが付着するとエラーが発生するおそれがあります。
- ・上記の一方向（右から左）でふき取ってください。左から右に力を加えると、エンコーダースケールが外れるおそれがあります。

- [2] エンコーダースケールがきれいになっているか確認します。

清掃前



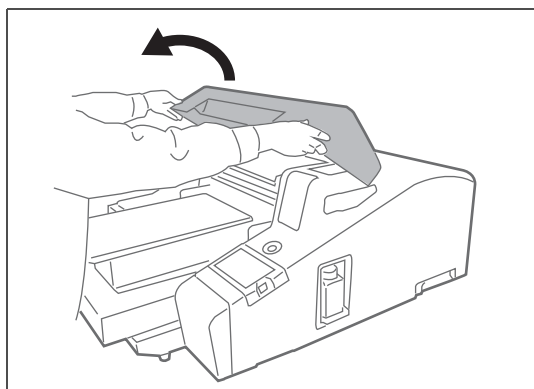
清掃後



 Important!

エンコーダースケールがきれいになっていない場合は、ペーパータオルにエタノールを少量染み込ませてから、再度エンコーダースケールの清掃を行ってください。

- [3]



フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと閉じます。

 注意



フロントカバーを閉めるときは、かならず両手で指定位置を持って閉めてください。
プリンター開口部のフチやその周辺に手を掛けていると、手を挟まれてケガをする恐れがあります。

- [4]



[完了] を押します。
・手順を終了します。

 Note

シャフトの清掃を行っていない場合は、ここで終了せず、清掃を行ってください。

シャフトの清掃とグリスアップ

清掃時期：

- ・ 通常使用時：2 週間に 1 度
- ・ 「プラテンギャップ」設定を「広い」で使用するが多い場合：1 週間に 1 度
- ・ シャフトが黒っぽくなっている時
- ・ CR エンコーダーエラーが発生するとき

必要なもの：

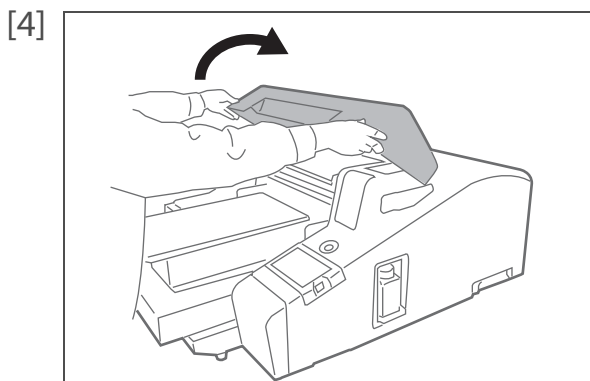
- ・ ペーパータオル（付属品または市販品：ただし市販品は不織布タイプで発塵性の低いもの）
またはポリニットワイパー（オプション品）
- ・ エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）
- ・ シャフト用グリス（付属品またはオプション品）
- ・ 手袋（付属品）
- ・ 綿棒（市販品）

Important!

ペーパータオルは、毛羽立ちのないものをご使用ください。ティッシュペーパーは使用しないでください。
紙からでる繊維や粉じんが悪影響をおよぼします。

1. シャフト左側と中央部の清掃

- [1] 電源オンを確認します。
- [2] 付属の手袋をはめます。
- [3] ペーパータオルにエタノールを少量染み込ませます。

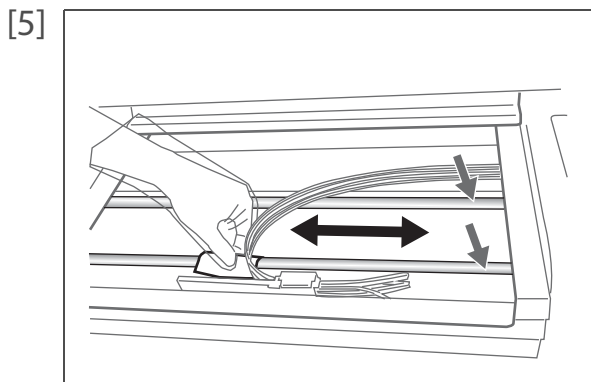


フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと開きます。
・ フロントカバーは完全に開ききってください。

注 意



フロントカバーはかならず全開してください。
途中で止めると突然閉まる恐れがあります。



フロントカバー内の金属のシャフトを、左端からペーパータオルで左右にスライドして汚れをふき取ります。

- ・シャフトは2本あります。両方をふいてください。

Important!

- ・エンコーダースケールに触れないでください。グリスが付着しエラーが発生するおそれがあります。
- ・それ以外の部品にもできるだけ触れないようにしてください。

[6] プリンターをCRメンテナンス状態にします。
続いてシャフト右側の清掃とシャフト全体のグリスアップを行ってください。

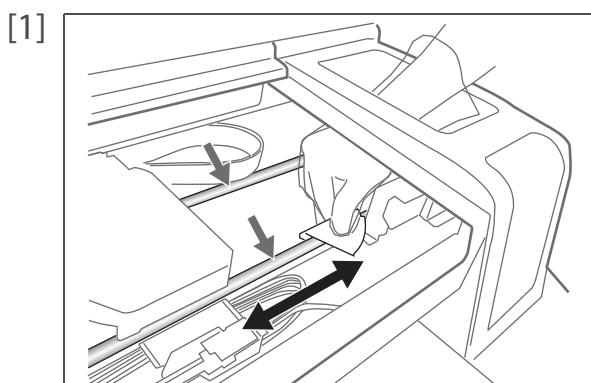
👉 「CR メンテナンス状態にする」P.101

👉 「シャフト右側の清掃とシャフト全体のグリスアップ」P.114

Important!

CRメンテナンス状態での、作業時間の目安は5分以内です。
作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

2. シャフト右側の清掃とシャフト全体のグリスアップ

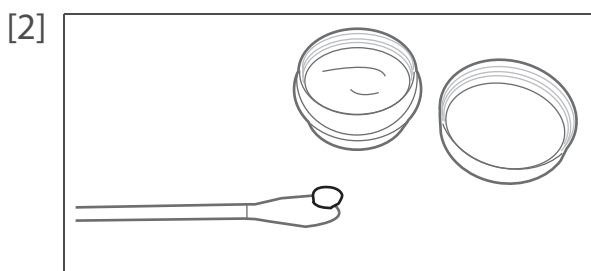


シャフトの残りの部分の汚れをふき取ります。

- ・2本ともふき取ってください。

Important!

- ・エンコーダースケールに触れないでください。グリスが付着しエラーが発生するおそれがあります。
- ・それ以外の部品にもできるだけ触れないようにしてください。

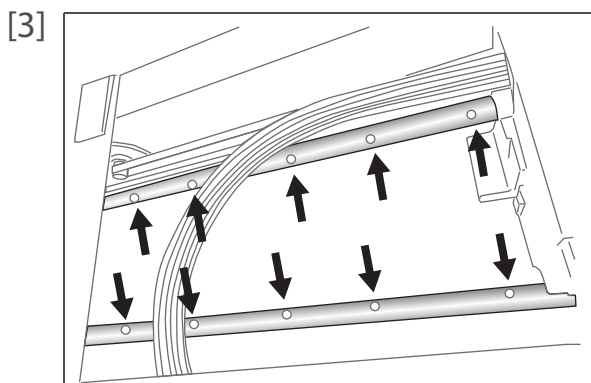


綿棒にシャフト用グリスをごく少量つけます。

- ・量の目安は、米粒1粒です。

Important!

グリスを塗りすぎると画質が低下する恐れがあります。



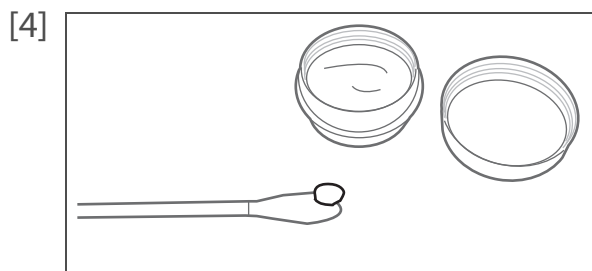
シャフトの左半分にグリスを塗布します。

- ・まず手前のシャフトの上面5箇所綿棒のグリスを均等につけます。
- ・次に奥のシャフトの上面よりやや下に5箇所、綿棒のグリスを均等につけます。
- ・グリスは追加せずに、両方のシャフトにうすく付けてください。

Important!

エンコーダースケールにグリスが付着した場合は、エンコーダースケールの清掃を行ってください。エラーが発生するおそれがあります。

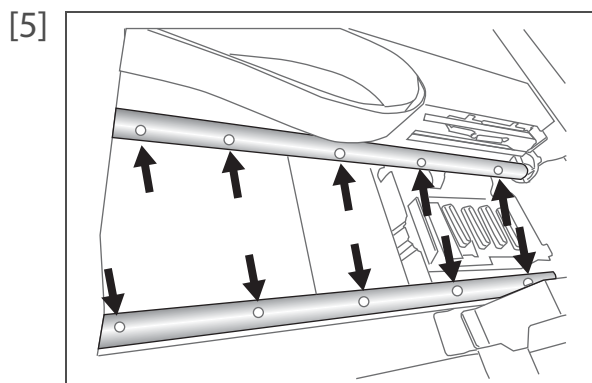
👉 「エンコーダースケールの清掃」P.110



もう一度、綿棒にシャフト用グリスをごく少量つけます。
 ・量の目安は、米粒 1 粒です。



グリスを塗りすぎると画質が低下する恐れがあります。

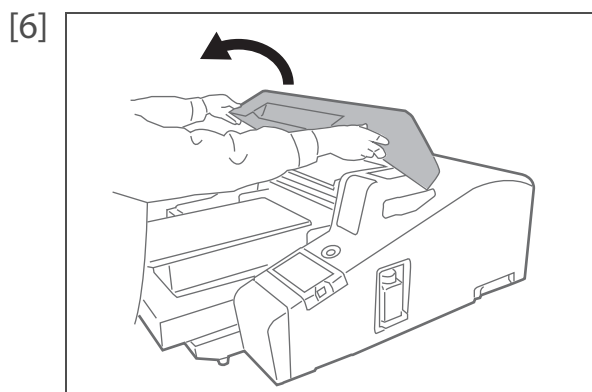


シャフトの右半分にグリスを塗布します。
 ・まず手前のシャフトの上面 5 箇所綿棒のグリスを均等につけます。
 ・次に奥のシャフトの上面よりやや下に 5 箇所、綿棒のグリスを均等につけます。
 ・グリスは追加せずに、両方のシャフトにうすく付けてください。



エンコーダースケールにグリスが付着した場合は、エンコーダースケールの清掃を行ってください。エラーが発生するおそれがあります。

☞ 「エンコーダースケールの清掃」P.110



フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと閉じます。

⚠ 注意



フロントカバーを閉めるときは、かならず両手で指定位置を持って閉めてください。
 プリンター開口部のフチやその周辺に手を掛けていると、手を挟まれてケガをする恐れがあります。



「完了」を押して、手順を終了します。

消耗品の交換

フラッシングボックスの交換とカウンターの初期化

一定量のインクを使用すると、タッチパネルに以下が表示されます。印刷などの動作は停止します。フラッシングボックスのカウンターの初期化後、再開します。

ステータス表示



タッチパネルのステータス表示に下記のメッセージが表示されます。

- ・「フラッシングボックス満タン」
- 「フラッシングボックスを交換してください」

アイコン表示

メンテナンスメニューのフラッシングボックスのアイコン表示は下記のようにになります。



フラッシングボックスが満タンになりました。ただちにフラッシングボックスを交換してください。

交換に必要なもの：

- ・ プラスドライバー（市販品）
- ・ 左側フラッシングボックス（付属品またはオプション品）
- ・ 手袋（付属品）

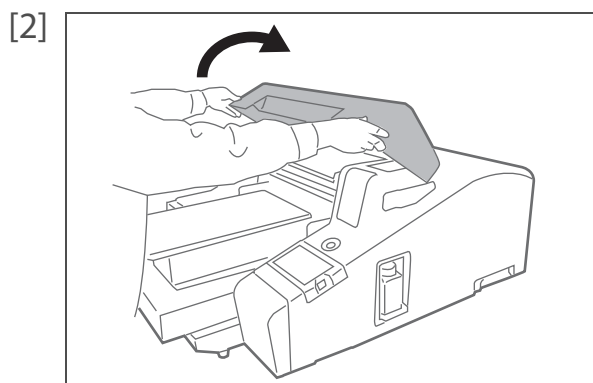


Note

購入時に交換用のフラッシングボックスが1個付属しています。必要に応じてオプション品をご注文ください。

1. フラッシングボックスの交換

[1] 付属の手袋をはめます。

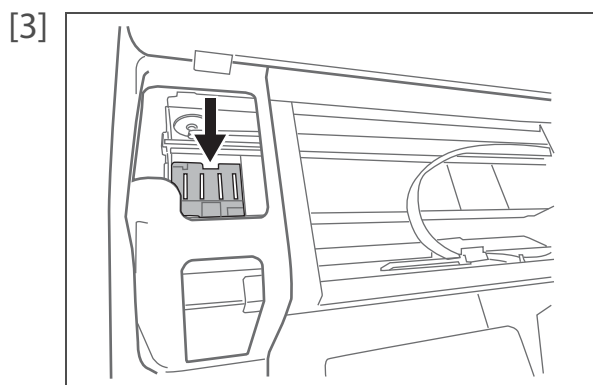


フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと開きます。
・フロントカバーは完全に開ききってください。

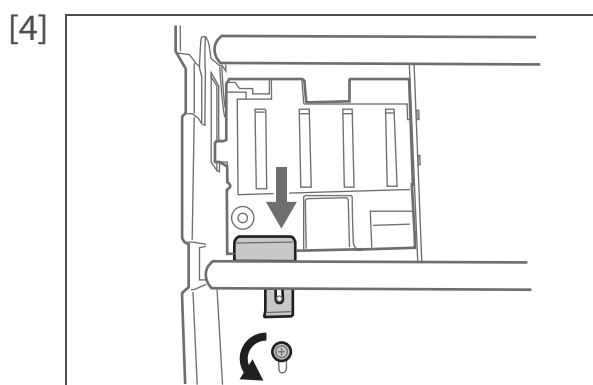
⚠ 注 意



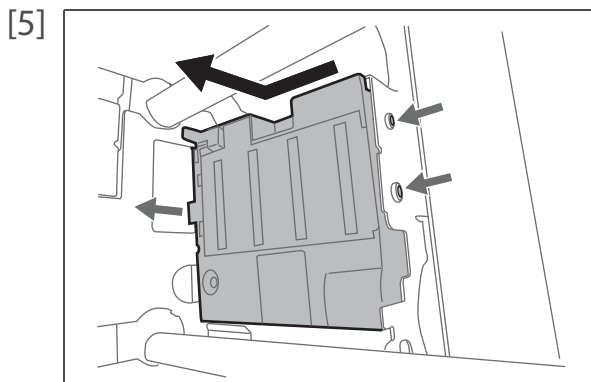
フロントカバーはかならず全開してください。
途中で止めると突然閉まる恐れがあります。



フラッシングボックスの位置を確認します。
・本製品の左側の奥にある黒いボックスです。
・縦長の間隔が4つ、上面にあります。



プラスドライバーでフラッシングボックス手前にあるネジ（M3）をゆるめ、固定金具を手前にスライドさせます。
・ネジは取り外さないでください。
・固定金具はフラッシングボックスの前側を押える部品です。



フラッシングボックスを取り出します。

- ・フラッシングボックスの左側のツメと、右側の突起をずらしながら、フラッシングボックスを上を持ち上げてください。

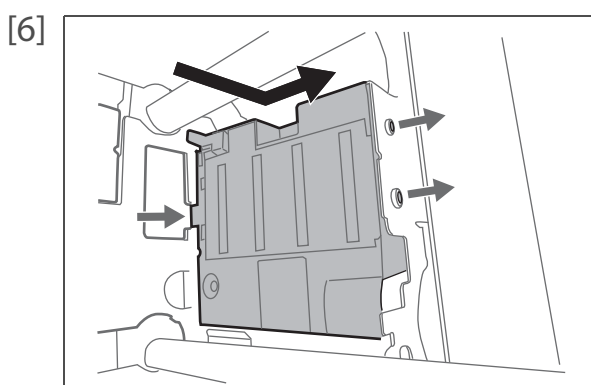
Important!

- ・フラッシングボックス内のインクをこぼさないようご注意ください。
- ・フラッシングボックスがエンコーダスケールやシャフトに触れないようご注意ください。

警告

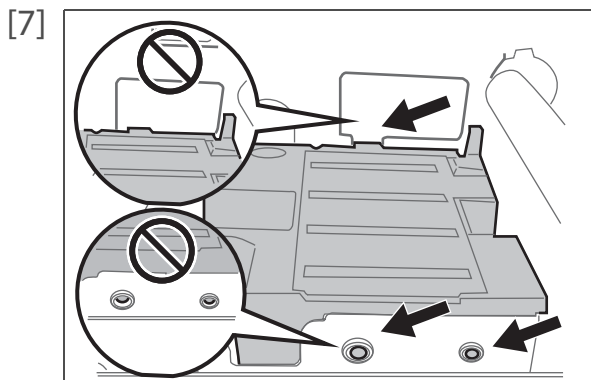


使用済みのフラッシングボックスは産業廃棄物処理業者に処理を委託するなど、産業廃棄物処理法および各自治体の条例にしたがって廃棄してください。



新しいフラッシングボックスを取り付けます。

- ・フラッシングボックス右側の突起（2本）を、金属のフレームの穴（2個）にはめてください。
- ・フラッシングボックスの左側のツメを、金属のフレームにはめてください。



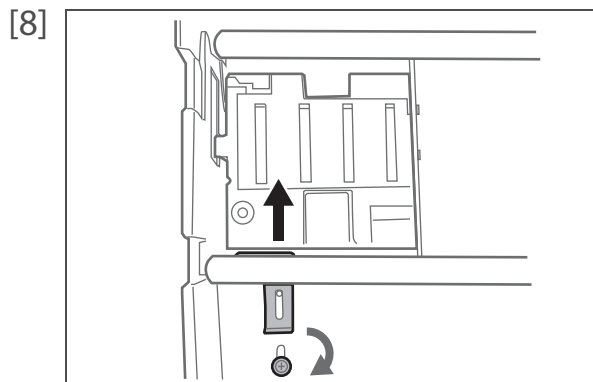
プリンターの右側からフラッシングボックスを見て、以下を確認してください。

- ・フラッシングボックス右側の突起（2本）が、金属のフレームの穴（2個）にはまっているか。
- ・フラッシングボックスの左側のツメが、金属のフレームにはまっているか。

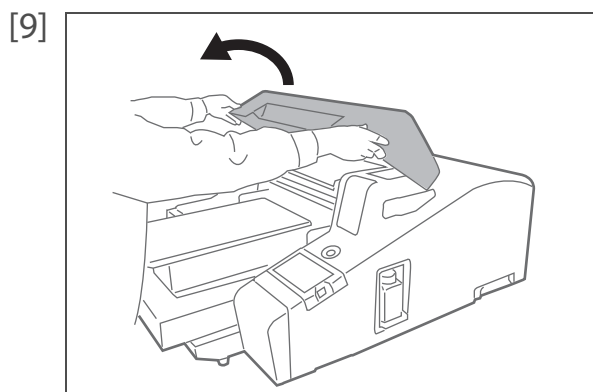
Important!

フラッシングボックスが正しく取り付けられていないと、以下の問題が発生します。

- ・フラッシングボックスとプリントヘッドが接触し、破損する恐れがあります。
- ・微細なインク飛沫によって機体内が汚れることで、エラーが発生する場合があります。



固定金具を奥にスライドさせてフラッシングボックスにはめ、プラスドライバーでネジを締めます。



フロントカバーを図の位置で持ち、両手を使ってゆっくりと閉じます。

⚠ 注意



フロントカバーを閉めるときは、かならず両手で指定位置を持って閉めてください。
プリンター開口部のフチやその周辺に手を掛けていると、手を挟まれてケガをする恐れがあります。

2. フラッシングボックスのカウンターの初期化



[MAINTENANCE] メニューを押します。



[フラッシング] アイコンを押します。
・リセット確認画面が表示されます。

[3]



[OK] を押し、フラッシングボックスのカウンターを初期化します。

ミストフィルターの交換

ミストフィルターが汚れてきたら、新しいフィルターと交換してください。

交換時期の目安：

約 2 か月（使用頻度によりますので定期的に確認してください）

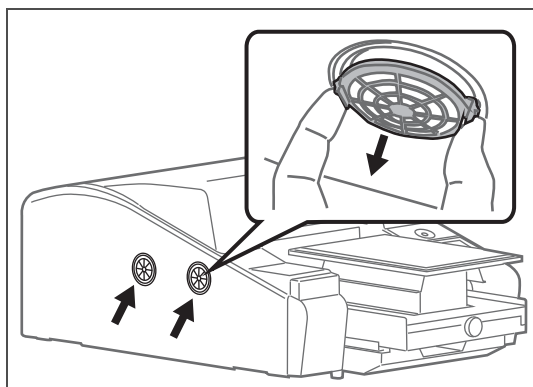
交換に必要なもの：

- ・ 新しいミストフィルター（2 枚、オプション品）
- ・ 手袋（付属品）

手順

[1] 付属の手袋をはめます。

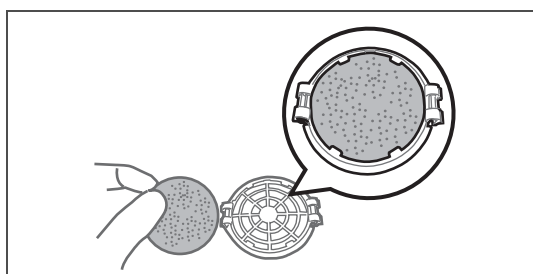
[2] プリンターの左側面にあるフィルターフタの突起をつまんで、取り外します。



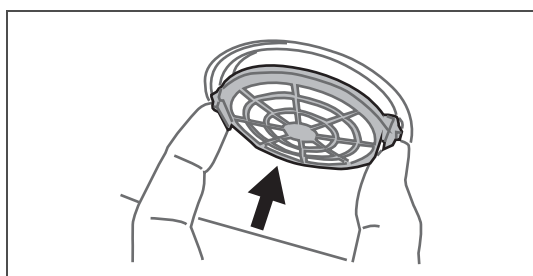
Note

プリンターの右側面にあるフィルターフタはミストフィルターがついていません。取り外さないでください。

[3] フィルターフタに新しいミストフィルターを取り付けます。
・ フィルターフタのツメに、ミストフィルターをはめてください。



[4] プリンターにフィルターフタを元のように取り付けます。



[5] もうひとつのミストフィルターも同様に交換します。

警告



使用済みのミストフィルターは産業廃棄物処理業者に処理を委託するなど、産業廃棄物処理法および各自治体の条例にしたがって廃棄してください。

輸送と長期保存

本製品を輸送するときや長期間使わないときにご覧ください。

輸送の手順

本製品を輸送するときは、以下を行う必要があります。

- 1) 洗浄液をプリンターに充てんします。☞ 「[洗浄液の充てんと廃液ボトルを空にする](#)」P. 122
- 2) プリンター各部のクリーニングを行います。☞ 「[各部のクリーニング](#)」P. 101
- 3) 廃液ボトルを空にします。☞ 「[廃液ボトルを空にする](#)」P. 97
- 4) 輸送用ブラケットでプラテンテーブルを固定します。☞ 「[再梱包](#)」P. 124

そのまま輸送すると、インクが漏れたり、プリントヘッドが故障したりする原因になります。

ふたたび使用するときは、再設置作業と初期充てんを行います。

☞ 「[再設置](#)」P. 126、「[初期充てんの方法](#)」P. 127

Important!

- ・ 本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液ボトルを空にしてください。
移動時に廃液がこぼれると、故障の原因となります。
- ・ 本製品を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。
内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。

1. 洗浄液の充てんと廃液ボトルを空にする

[1]



[MAINTENANCE] メニューを押します。

[2]



[Long Storage] キーを押します。

- ・ 充てん経路選択画面を表示します。

[3]



- [全経路] を押します。
 ・ 確認画面を表示します。

[4]



- 時間を確認し、[はい] を押します。
 ・ 確認画面を表示します。



Note

[いいえ] を押すと、メンテナンスメニューに戻ります。

[5]



- ・ 廃液ボトルを確認し、容器に廃インクを移し替えてください。
- ☞ 「[廃液ボトルを空にする](#)」P.97
- ・ [はい] を押します。
- ・ カートリッジ確認画面を表示します。



Important!

廃液ボトルから出ているチューブが途中で折れたりへこんだりしないように取り付けてください。
 チューブに折れやへこみがあると廃液がプリンター内部に漏れる恐れがあります。

[6]



- ・ すべてのインクカートリッジを取り外し、洗浄液カートリッジを取り付けます。
- ・ [はい] を押し、洗浄液の充てんを開始します。

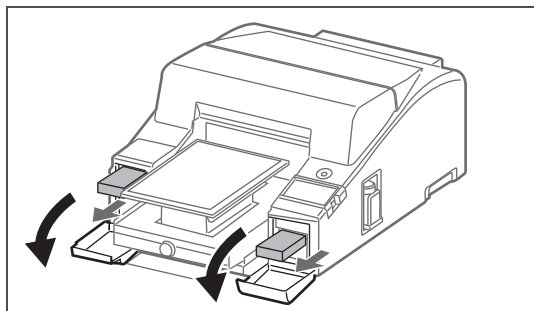


Note

充てん中に進捗状況をパーセントで表示します。

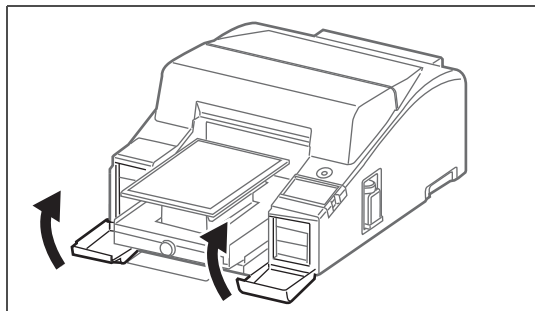
[7] 洗浄液の充てんが終了したことを確認します。

[8]



カートリッジカバーを開き、洗浄液カートリッジをすべて抜きます。

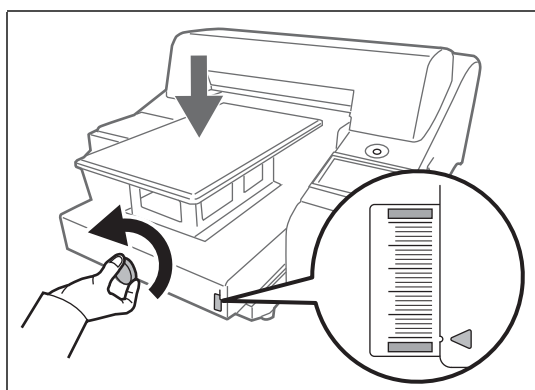
[9]



カートリッジカバーを閉じます。

2. 再梱包

[1]



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルの高さを一番下まで下げます。

 **Note**

テーブルを一番下まで下げた後、さらにテーブル昇降ダイヤルを回し続けると破損する恐れがありますので、それ以上回さないでください。

[2]

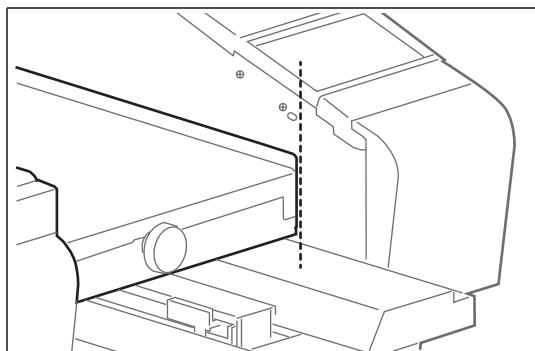
プラテンを取り外します。

[3]



[Set] キーを押します。

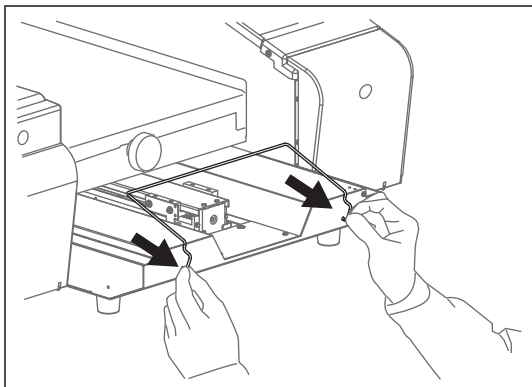
- ・テーブルが移動中にもう一度 [Set] キーを押し、下図の位置でテーブルを止めます。



[4]

サブ電源ボタンと主電源スイッチをオフします。

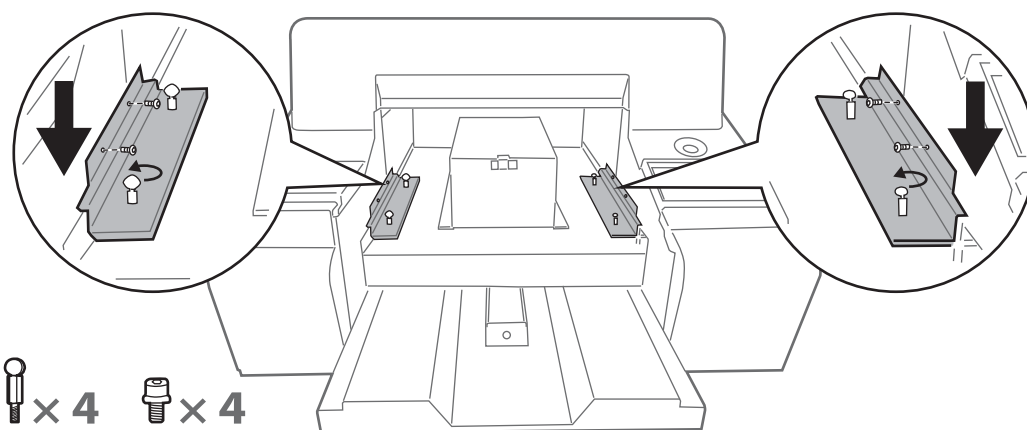
[5]



テーブルポジションガイドを取り外します。

[6]

テーブルに輸送用ブラケット（2 個）をネジ（各 4 本）で取り付けます。
 ・側面のネジ（M4、各 2 本）は付属の六角レンチで取り付けてください。



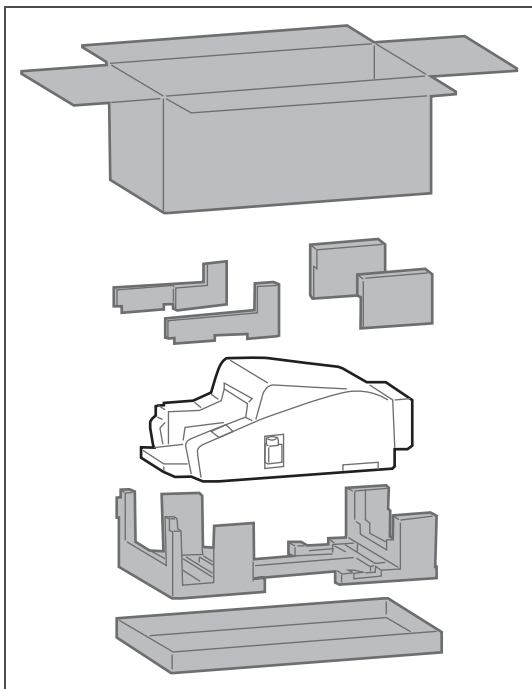
Note

手でテーブルの位置を調整してください。

[7]

電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。


[8]



緩衝材を取り付け、梱包箱に本製品を入れます。

3. 再設置

- [1] 「スタートアップガイド」を見ながら、本製品を開梱し、組み立てます。
・「電源オン」まで行います。

- [2] 初期充電を行います。
 [「初期充電の方法」P.127](#)

初期充てんの方法

[1] 主電源スイッチとサブ電源ボタンをオンします。

[2]



[MAINTENANCE] メニューを押します。

[3]



[Ink Charge] キーを押します。

• 充てん経路選択画面が表示されます。

[4]



[全経路] キーを押します。

• 確認画面が表示されます。

[5]



時間を確認し、[はい] を押します。

• 廃液確認画面が表示されます。



Note

[いいえ] を押すと、メンテナンスメニューに戻ります。

[6]



• 廃液ボトルを確認し、容器に廃インクを移し替えてください。

👉 「廃液ボトルを空にする」P.97

• [はい] を押します。

• カートリッジ確認画面を表示します。

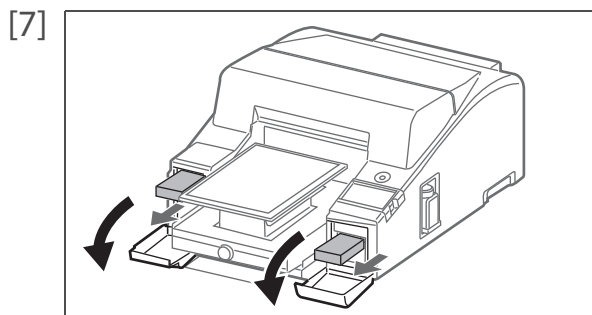


Important!

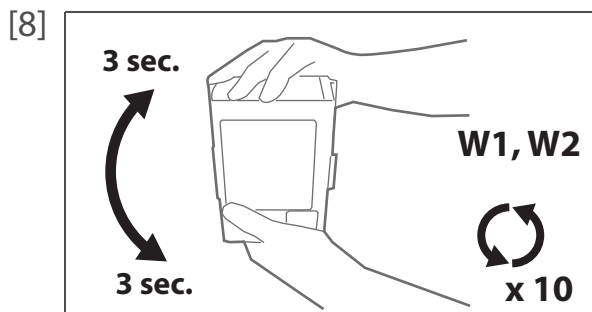
廃液ボトルから出ているチューブが途中で折れたりへこんだりしないように取り付けてください。
チューブに折れやへこみがあると廃液がプリンター内部に漏れる恐れがあります。



- ・左の画面が表示されますが、まだキーを押さないでください。

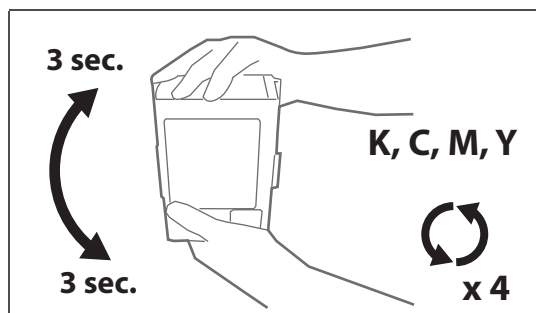


カートリッジカバーを開き、カートリッジをすべて抜きます。

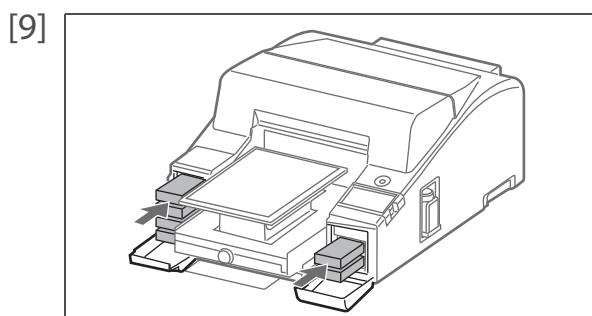


新しいインクカートリッジをかくはんします。

- ・ホワイトのインクカートリッジは、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・10回繰り返します。



- ・それ以外のインクカートリッジは、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・4回繰り返します。

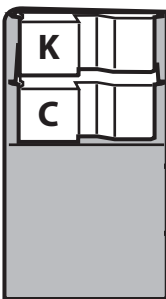
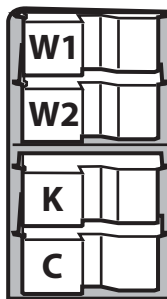
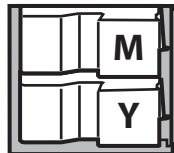


新しいインクカートリッジをセットします。



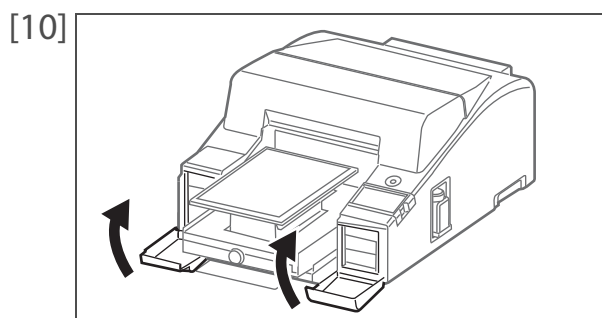
Note

- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・インクカートリッジは奥までしっかりと押し込んでください。

VJ-404GT		VJ-405GT			
L	R	L	R		
	ブラック (K) シアン (C)		ホワイト 1 (W1) ホワイト 2 (W2) ブラック (K) シアン (C)		マゼンタ (M) イエロー (Y)

Important!

- ・ ホワイトインクの W1 と W2 はカートリッジの形状が異なります。逆に取り付けようとすると故障の原因になります。
- ・ インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、3 時間以上放置してから使用してください。



カートリッジカバーを閉じます。



「はい」 を押し、インク充てんを開始します。

Note

充てん中に進捗状況をパーセントで表示します。

長期保存するとき

- [1] 長期間使わないときは、洗浄液の充てんと廃インクの排出を行ってください。

 「[輸送の手順](#)」P.122 の「[洗浄液の充てんと廃液ボトルを空にする](#)」

- [2] ふたたび使用するときは、初期充てんを行います。

 「[初期充てんの方法](#)」P.127

5色設定から4色設定に切り替える (VJ-405GT)

VJ-405GT のインク色設定を、5 色から 4 色に切り替えるときにご覧ください。

「White のみ」洗浄を行う (VJ-405GT)

インク色設定を切り替えるときは、「White のみ」洗浄を行い、ホワイトインク経路に洗浄液を充てんしてください。洗浄液の充てんを行わずに、再びホワイトインクを使用する場合、プリントヘッドが目詰まりを起こし、破損する恐れがあります。

再び、5 色設定でお使いになるときにホワイトインクのみを充てんする方法は、以下を参照してください。

👉 「「White のみ」充てんを行う (VJ-405GT)」P.133

Important!

- ・ [White のみ] を洗浄する場合は、ファームウェア Ver.1.07 以降をかならずインストールしてから行ってください。インストールせずに [White のみ] 洗浄を行った場合、プリントヘッドが目詰まりを起こし、破損する恐れがあります。
- ・ インク色設定を 5 色から 4 色に切り替えた後も、本製品を使わないときは電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

[1]



[MAINTENANCE] メニューを押します。

[2]



[Long Storage] キーを押します。
・ 充てん経路選択画面を表示します。

[3]



[White のみ] を押します。
・ 確認画面を表示します。

[4]



時間を確認し、[はい] を押します。

- ・確認画面を表示します。



Note

[いいえ] を押すと、メンテナンスメニューに戻ります。

[5]



- ・廃液ボトルを確認し、容器に廃インクを移し替えてください。

👉 「廃液ボトルを空にする」P.97

- ・[はい] を押します。
- ・カートリッジ確認画面を表示します。



Important!

廃液ボトルから出ているチューブが途中で折れたりへこんだりしないように取り付けてください。
チューブに折れやへこみがあると廃液がプリンター内部に漏れる恐れがあります。

[6]



- ・W1、W2 のインクカートリッジを取り外し、洗浄液カートリッジを取り付けます。
- ・[はい] を押し、洗浄液の充てんを開始します。



Note

充てん中に進捗状況をパーセントで表示します。

[7] 洗浄液の充てんが終了したことを確認します。

「White のみ」 充てんを行う (VJ-405GT)

[1]



[MAINTENANCE] メニューを押します。

[2]



[Ink Charge] キーを押します。

・ 充てん経路選択画面が表示されます。

[3]



[White のみ] キーを押します。

・ 確認画面が表示されます。

[4]



時間を確認し、[はい] を押します。

・ 廃液確認画面が表示されます。



Note

[いいえ] を押すと、メンテナンスメニューに戻ります。

[5]



・ 廃液ボトルを確認し、容器に廃インクを移し替えてください。

☞ 「廃液ボトルを空にする」P.97

・ [はい] を押します。

・ カートリッジ確認画面を表示します。

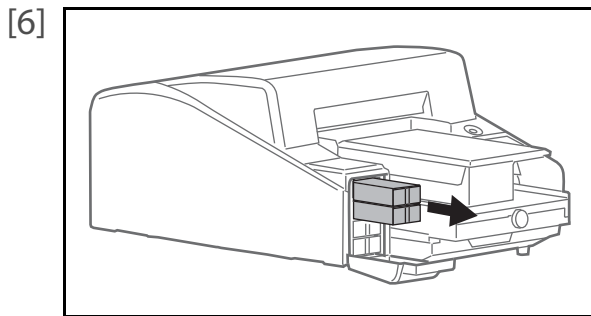


Important!

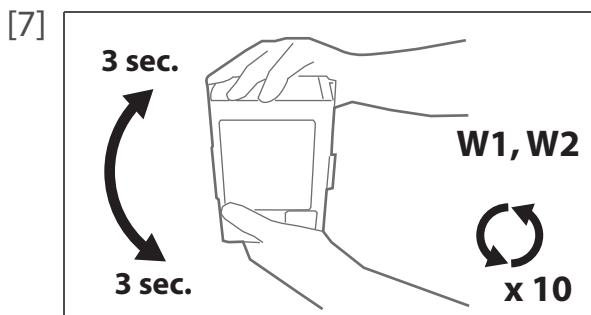
廃液ボトルから出ているチューブが途中で折れたりへこんだりしないように取り付けてください。
チューブに折れやへこみがあると廃液がプリンター内部に漏れる恐れがあります。



- ・ 左の画面が表示されますが、まだキーを押さないでください。

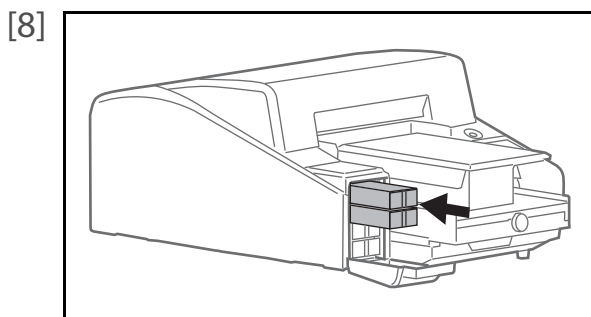


カートリッジカバーを開き、W1、W2 スロットの洗浄カートリッジを抜きます。



ホワイトのインクカートリッジをかくはんします。

- ・ 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- ・ 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- ・ 10 回繰り返します。

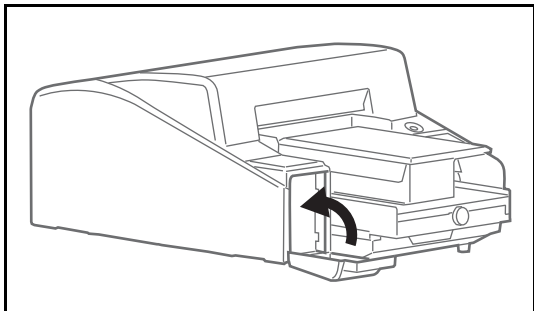


ホワイトのインクカートリッジをセットします。

Important!

- ・ ホワイトインクの W1 と W2 はカートリッジの形状が異なります。逆に取り付けようとすると故障の原因になります。
- ・ インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、3 時間以上放置してから使用してください。

[9]

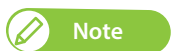


カートリッジカバーを閉じます。

[10]



「はい」を押し、インク充てんを開始します。



Note

充てん中に進捗状況をパーセントで表示します。

第5章 付録

困ったときは.....	138
警告メッセージ	138
通常使用時に発生するエラーメッセージと対処方法	139
通常のご使用では発生しないエラー	141
メッセージが出ないトラブル	142
お問い合わせ先	143
 本製品の仕様.....	 144
仕様一覧	144

困ったときは

ここでは本製品のトラブル対処方法について説明します。

警告メッセージ

警告メッセージの場合は、プリンターの動作が継続可能です。

表示	内容
廃液ボトルもうすぐ満タン	【原因】 廃液ボトルがもうすぐ満タンになります。 【対処方法】 満タンになる前に、廃液ボトルの廃インクを排出してください。 👉 「 廃液ボトルを空にする 」P.97
廃液受けもうすぐ満タン 満タンになるとプリンタが使用できなくなります	【原因】 廃液受けがもうすぐ満タンになります。 【対処方法】 満タンになる前に、サービス窓口までお問い合わせください。
フラッシングボックスもうすぐ満タン	【原因】 フラッシングボックスがもうすぐ満タンになります。 【対処方法】 満タンになる前に、フラッシングボックスを交換し、廃液カウンターをリセットしてください。 👉 「 フラッシングボックスの交換とカウンターの初期化 」P.116
インク残りわずか（[色名]）	【原因】 インクが残りわずかになりました（残量 20% 以下）。 ・ [色名] は対象のインクカートリッジの色名を示します。
クリーニング失敗 再実行してください	【原因】 インク残量が足りないなどの原因で、クリーニング動作が中断しました。 【対処方法】 中断したクリーニング動作をもう一度実行してください。初期充電後のクリーニング中に、このメッセージが表示された場合は、強力クリーニングを行ってください。 👉 「 クリーニングの手順 」P.29
室温を上げてください 印刷可能です	【原因】 異常な低温を検出しました。印刷は可能です。
室温を下げてください 印刷可能です	【原因】 異常な高温を検出しました。印刷は可能です。
（[部品名]）が寿命に達しました	【原因】 部品が寿命に達しました。 ・ [部品名] は対象の部品名を示します。 [PF Motor] [CR Motor] [Maintenance Unit] [Print Head Unit] [IH Assy(R)] [IH Assy(L upper)] [IH Assy(L lower)]（VJ-405GT のみ） 【対処方法】 サービス窓口までお問い合わせください。

通常使用時に発生するエラーメッセージと対処方法

本製品の動作中に、エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。



Note

エラーが発生すると本製品のサブ電源ボタンが高速で点滅します。


表示	内容
使用済みカートリッジ（[色名]）	【原因】使用済みのカートリッジがセットされています。 【対処方法】インクカートリッジを交換してください。 👉 「印刷中にインクがなくなったとき」P.54
インクエンド（[色名]）	【原因】カートリッジの残量が 0% になりました。 【対処方法】インクカートリッジを交換してください。
カートリッジカバーオープン	【原因】カートリッジカバーが開いています。 【対処方法】カートリッジカバーを閉じてください。
フラッシングボックス満タン フラッシングボックスを交換してください	【原因】フラッシングボックスが満タンになりました。 【対処方法】フラッシングボックスを交換し、廃液カウンターをリセットしてください。 👉 「フラッシングボックスの交換とカウンターの初期化」P.116
廃液受け満タン	【原因】廃液受けが満タンになりました。 【対処方法】 サービスマンによる交換が必要です。サービス窓口までお問い合わせください。
フロントカバーオープン	【原因】フロントカバーが開いています。 【対処方法】フロントカバーを閉じてください。
カートリッジを挿入して下さい	【原因】インクカートリッジがセットされていないカートリッジスロットがあります。 【対処方法】インクカートリッジをセットしてください。
廃液ボトル満タン 廃液ボトルを空にして下さい	【原因】廃液ボトルが満タンになりました。 【対処方法】廃液ボトルを空にして、廃液カウンターをリセットしてください。 👉 「廃液ボトルを空にする」P.97
周辺温度が低すぎます 再起動して下さい	【原因】異常な低温を検出しました。 【対処方法】プリンターを推奨環境温度内で慣らしてから再起動してください。 👉 「仕様一覧」P.144
周辺温度が高すぎます 再起動して下さい	【原因】異常な高温を検出しました。 【対処方法】プリンターを推奨環境温度内で慣らしてから再起動してください。 👉 「仕様一覧」P.144

表示	内容
非純正カートリッジが挿入されています 純正カートリッジに入れ替えて下さい	【原因】 MUTOH 純正でないカートリッジがセットされています。 【対処方法】 純正カートリッジをセットしてください。
カートリッジ組み合わせエラー カートリッジの種類を確認して下さい	【原因】 カートリッジ組み合わせエラーが発生しました。 【対処方法】 正しい組み合わせでインクカートリッジがセットされているか確認してください。
印刷に失敗しました。 イーサネットケーブルの接続を確認して下さい。	【原因】 印刷データが受信できませんでした。 【対処方法】 イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。
サービスコール:***	【原因】 エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 【対処方法】 1. サブ電源ボタンをオフします。しばらく待ってからサブ電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。 2. 数回試みても再発する場合は、番号を控えてサービス窓口までお問い合わせください。
重障害が発生しました プリンタを再起動して下さい エラーコード: PF MOTOR ERROR	【原因】 テーブルの制御に問題が発生し、停止しました。 【対処方法】 1. テーブルの移動経路に障害物がある場合は、取り除いてから再起動してください。 2. 障害物を取り除いた後も回復しない場合は、PF エンコーダーまたは PF モーターの故障が疑われますので、サービス窓口までお問い合わせください。
重障害が発生しました プリンタを再起動して下さい エラーコード: PF STOP FAILURE	
重障害が発生しました プリンタを再起動して下さい エラーコード: PF ENCODER CHECK TIMEOUT	
重障害が発生しました プリンタを再起動して下さい エラーコード: PF ENCODER CHECK ERROR	
重障害が発生しました プリンタを再起動して下さい エラーコード: PF OVERLOAD	
重障害が発生しました エラーコード: CR ENCODER ERROR キャリッジをキャップインさせないと、ノズルが詰まります。 「Cap in」キーをタップした後、プリンタを再起動して下さい。	【原因】 CR エンコーダーエラーが発生しました。 【対処方法】 1. キャリッジの移動経路に障害物がある場合は、取り除きます。 2. 再起動してエンコーダースケールとシャフトの清掃を行ってください。 3. フラッシングボックスの交換直後に発生した場合は、フラッシングボックスの取り付け不良の可能性があります。フラッシングボックスを取り付けなおしてください。 4. 再発する場合は、サービス窓口までお問い合わせください。 👉 「エンコーダースケールの清掃」P. 110 👉 「シャフトの清掃とグリスアップ」P. 113 👉 「フラッシングボックスの交換」P. 117

Note

- ・エラー表示の「色名」は対象のインクカートリッジの色名を示します。
- ・エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

通常のご使用では発生しないエラー

表示	内容
エンジン通信エラーが発生しました 通信を再試行しています この画面が表示され続ける場合は、プリンタを再起動して下さい	【原因】 プリンター起動時に、タッチパネルとプリンターエンジンの間で通信エラーが発生しました。 【対処方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 30 秒程度待機します。 2. 回復しない場合は、サブ電源ボタンをオフします。しばらく待ってからサブ電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。 3. それでも回復しない場合は、サービス窓口までお問い合わせください。
カラー設定エラー Engine バージョンを確認して下さい	【原因】 プリンター起動時に、プリンターとファームウェアの 4 色 / 5 色設定の不一致を検出しました。 【対処方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. ファームウェアのバージョンを確認し、機種にあったファームウェアがインストールされているかを確認してください。
カラー設定エラー Sub Control バージョンを確認して下さい	【対処方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. ファームウェアのバージョンを確認し、機種にあったファームウェアがインストールされているかを確認してください。  「ソフトウェアバージョンの表示」P.83 2. 問題がない場合は、サブ電源ボタンをオフします。しばらく待ってからサブ電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。 3. 再起動しても回復しないときは、サービス窓口までお問い合わせください。
サービスコール : ***	【原因】 プリンターエンジンにトラブルが発生しました。 【対処方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. サブ電源ボタンをオフします。しばらく待ってからサブ電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。 2. 数回試みても再発する場合は、番号を控えてサービス窓口までお問い合わせください。

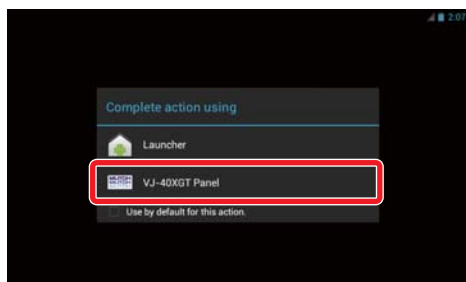


Note

エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

メッセージが出ないトラブル

現象	対応方法
サブ電源ボタンを押しても、プリンターが起動しない	<ol style="list-style-type: none">1. メイン電源スイッチを確認し、オフ側になっている場合はオン側に切り替えてください。2. オン側になっている場合は、5 秒ほど待ってからサブ電源ボタンを長押ししてください。
通常クリーニングを行っても、ノズル抜けが治らない	<ol style="list-style-type: none">1. 通常クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。2. 強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は「クリーニングワイパーとキャップの清掃」P. 101 や「プリントヘッド外周の清掃」P. 107 を行ってください。3. どうしてもノズル抜けが直らない場合は、微量充電を行ってください。 👉 「クリーニングの手順」P. 29
下図のような画面が表示された	「VJ-40XGT Panel」を選択してください。



お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : ☎ 0120-174911

FAX : ☎ 0120-184711

E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

本製品の仕様

仕様一覧

機種名	VJ-404GT/405GT	
印刷方式	オンデマンドピエゾ方式	
駆動方式	ファームウェアサーボ /DC モータ駆動	
メディアセット方式	前方よりセットおよび取り出し	
印刷モード	はやい	600 x 600 dpi：単方向、4 pass（VJ-405GT）／ 2 pass（VJ-404GT）
	きれい	600 x 1,200 dpi：単方向、8 pass（VJ-405GT）／ 4 pass（VJ-404GT）
	高精細	1,200 x 1,200 dpi：単方向、16 pass（VJ-405GT）／ 8 pass（VJ-404GT）
ヘッドギャップ調整	テーブル昇降ダイヤルにより、テーブル高さを変更可能、障害物センサーにて、印字物とヘッドの干渉を管理	
テーブル	テーブルサイズ	W429 mm x D600 mm
	テーブル昇降高さ	25 mm
インターフェース	LAN	10/100BASE-T
	印刷ポート	非公開（TCP9100 への印刷はできません）
インク	色	VJ-404GT：4 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー） VJ-405GT：5 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト）
	種類	200ml カートリッジ
廃液ボトル	容量 500ml、ユーザーによる廃インク排出を行う	
フラッシングボックス	容量 170ml、ユーザーによる定期部品交換を行う	
環境条件	動作環境	温度：20℃～32℃、湿度：40%～60%（結露なきこと）
	作画精度保証範囲	温度：22℃～30℃、湿度：40%～60%（結露なきこと）
	変化率	温度：1 時間あたり 2℃以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内
	プリンター保存環境	インク未充てん保存：6ヶ月以内 温度：-20℃～50℃、湿度：20%～80%（結露なきこと） ＊ただし 50℃環境下においては 5 日以内
		インク充てん保存：1 週間以内 温度：5℃～30℃、湿度：20%～60%（結露なきこと） ＊スリープモードによる常時通電が必要

インク保存環境		Black/Cyan/Magenta/Yellow/White（各 200ml） ・温度：5℃～35℃ ・湿度：結露なきこと 前処理液 ・温度：5℃～35℃ ・湿度：結露なきこと 洗浄液 ・温度：5℃～35℃ ・湿度：結露なきこと
電源	定格電圧	AC 100V - 120V
	電圧範囲	AC 90V - 132V
	入力周波数	50/ 60Hz ±1Hz
消費電力	電源オフ	9 W 以下
	待機時	29 W 以下
	スリープモード	17 W 以下
	オペレーション	130 W 以下
消費電流	100V ～ 120V	1.9 A 以下
	200V ～ 240V	1.3 A 以下
外形寸法	高さ	488 mm
	幅	817 mm
	奥行き	1,425 mm
質量	本体	82 kg

MUTOH